

大学等名	仙台白百合女子大学
プログラム名	数理・データサイエンス・AI教育プログラム

プログラムを構成する授業科目について

① 教育プログラムの修了要件

学部・学科によって、修了要件は相違しない

② 対象となる学部・学科名称

③ 修了要件

教養共通科目「情報科学」(選択:2単位)を修得すること。
 教養共通科目「AI・データサイエンス入門」(必修:2単位)及び基礎教育科目「情報リテラシー基礎」(必修:2単位)を修得すること。

必要最低科目数・単位数 + 2 科目 2 4 単位 履修必須の有無 令和8年度までに履修必須とする計画

④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
情報科学	2	○	○	○					
AI・データサイエンス入門	2	○	○	○					
情報リテラシー基礎	2	○	○						

⑤ 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
情報科学	2	○	○	○					
AI・データサイエンス入門	2	○	○	○					
情報リテラシー基礎	2	○		○					

⑥ 「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
情報科学	2	○	○	○					
AI・データサイエンス入門	2	○	○	○					

⑦ 「活用にあたっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
情報科学	2	○	○	○					
AI・データサイエンス入門	2	○	○	○					
情報リテラシー基礎	2	○	○	○					

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
情報科学	2	○	○	○	○						
AI・データサイエンス入門	2	○	○	○	○						
情報リテラシー基礎	2	○		○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	講義内容
(1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1 ・ビッグデータ、IoT、AI、ロボット 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第1回)、「情報リテラシー基礎」(第10回) ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第2回)、「情報リテラシー基礎」(第10回) ・人間の知的活動とAIの関係 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第1回)、「情報リテラシー基礎」(第10回)
	1-6 ・AI等を活用した新しいビジネスモデル(商品のレコメンデーションなど) 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第2回) ・AI最新技術の活用例(深層生成モデル、敵対的生成ネットワーク、強化学習、転移学習など) 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第3回)
(2) 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2 ・調査データ、実験データ 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第4回) ・1次データ、2次データ 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第4回) ・構造化データ、非構造化データ(文章、画像/動画、音声/音楽など) 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第5回) ・データのオープン化(オープンデータ) 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第5回)
	1-3 ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など) 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第5回)、「情報リテラシー基礎」(第10回) ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第5回)
(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4 ・データ可視化: 複合グラフ、2軸グラフ、関係性の可視化など 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第6回) ・非構造化データ処理: 言語処理、画像/動画処理、音声/音楽処理など 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第5回) ・特化型AIと汎用AI、今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第5回)
	1-5 ・データサイエンスのサイクル(課題抽出と定式化、データの取得・管理・加工など) 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第4回)

(4) 活用に当たつての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	<ul style="list-style-type: none"> ・ELSI(Ethical, Legal, Social Issues) 「情報科学」(第11回)「AI・データサイエンス入門」(第12回) ・個人情報保護、EU一般データ保護規則(GDPR)、忘れられる権利、オプトアウト 「情報科学」(第11回)「AI・データサイエンス入門」(第12回) ・データ倫理: データの捏造、改ざん、盗用、プライバシー保護 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第12回)、「情報リテラシー基礎」(第11回)
	3-2	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ: 機密性、完全性、可用性 「情報科学」(第11回)「AI・データサイエンス入門」(第12回)、「情報リテラシー基礎」(第11回) ・匿名加工情報、暗号化、パスワード 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第12回)、「情報リテラシー基礎」(第11回)
(5) 実データ・実課題 (学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	<ul style="list-style-type: none"> ・データの種類(量的変数、質的変数) 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第4回、第9～10回、第13～15回) ・データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値) 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第7回、第9～10回、第13～15回) ・代表値の性質の違い(実社会では平均値≠最頻値でないことが多い) 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第7回、第9～10回、第13～15回) ・データのばらつき(分散、標準偏差、偏差値) 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第8～10回、第13～15回) ・相関と因果(相関係数、擬似相関) 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第8～10回、第13～15回) ・母集団と標本抽出(国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出) 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第10回、第13～15回) ・統計情報の正しい理解(誇張表現に惑わされない) 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第5回)
	2-2	<ul style="list-style-type: none"> ・データ表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ) 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第6回、第9～10回、第13～15回)、「情報リテラシー基礎」(第8回) ・データの図表表現(チャート化) 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第6回、第9～10回、第13～15回) ・不適切なグラフ表現(チャートジャンク、不必要な視覚的要素) 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第6回、第9～10回、第13～15回)
	2-3	<ul style="list-style-type: none"> ・データの集計(和、平均) 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第6回、第9～10回、第13～15回)、「情報リテラシー基礎」(第7回) ・データの並び替え、ランキング 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第6回、第9～10回、第13～15回)、「情報リテラシー基礎」(第9回) ・データ解析ツール(スプレッドシート) 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第6回、第9～10回、第13～15回)、「情報リテラシー基礎」(第6～9回) ・表形式のデータ(csv) 「情報科学」「AI・データサイエンス入門」(第6回、第9～10回、第13～15回)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

1. 社会におけるAI・データ利活用の事例や、社会で起きている変化、AI活用領域について説明できる。 2. AI・データを活用するうえでのルールやモラル、個人情報を守るための注意点について説明できる。 3. 基本的な数学知識や統計学をデータ分析に活用できる。 4. 表計算ソフトを用いたデータの整理、加工、分析、可視化など適切なデータ分析ができる。

【参考】

⑫ 生成AIに関連する授業内容 ※該当がある場合に記載

教育プログラムを構成する科目に、「数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム改訂版」(2024年2月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム)において追加された生成AIに関連するスキルセットの内容を含む授業(授業内で活用事例などを取り上げる、実際に使用してみるなど)がある場合に、どの科目でどのような授業をどのように実施しているかを記載してください。

※本項目は各大学の実践例を参考に何うものであり、認定要件とはなりません。

講義内容
「情報科学」第16回の授業時に、生成AIの活用事例(要約・翻訳・資料の作成など)を解説し、また、利用にあたっての留意事項(誤情報の生成等)について説明した。 「AI・データサイエンス入門」(第2回、第12回)

科目名	AI・データサイエンス入門(子ども教育)		
開講年度学期	2024年度後期	配当学年	1年
ナンバリング		単位	2単位
時間	木曜日IV校時(14:40~16:10)	教室	122教室
教科書	「基礎からはじめるデータサイエンス」保本 正芳 編、noa出版		

1. 担当教員

担当教員	熊谷 健二、呂 光暁
研究室	熊谷：3号館3階 呂：5号館4階
オフィスアワー	熊谷：木曜日III校時(13:00~14:30) 呂：

2. 授業の目的

(1)授業の目的
Excelを使ったデータの整理、加工、分析、可視化などの演習を通して、データサイエンスに関する基本的な知識(統計学)と情報処理スキルを身につけることを目的とする。また、現在社会において起こっている変化や、AI・データ活用の事例、データセキュリティやプライバシーなどの重要な問題についても考察する。
(2)到達目標とディプロマポリシーとの関連
①社会におけるAI・データ活用の事例や、社会で起きている変化、AI活用領域について説明できる。 <学部DP2②③>
②AI・データを活用するうえでのモラルや、個人情報を守るための注意点について説明できる。 <学部DP4①②③④⑤>
③基本的な数学知識や統計学をデータ分析に活用できる。 <学部DP3②>
④Excelを用いたデータの整理、加工、分析、可視化など適切なデータ分析ができる。 <学部DP3②>

※各学科各学年のディプロマ・ポリシーはこちらのリンクからご確認ください。

【https://drive.google.com/file/d/1vMVUJoCFFsO-n6_ljtpbwYmSL2IAU5Q3/view?usp=drive_link】

※各学科各学年のカリキュラムマップはこちらのリンクからご確認ください。

【https://drive.google.com/file/d/1H_tCOiCeKmdQnNmr-Lh4INKo7mlB-jmt/view?usp=drive_link】

3. 授業の概要

本講義では、データサイエンスに必要な数学(統計学)とコンピュータを使ったデータ分析手法について、アクティブ・ラーニングを通して学習する。授業では企業の実データを用いた実習や、各学科の専門分野におけるAI・データ活用の事例、データ・AIを扱う上で注意すべき事項などについても学習する。授業は各自のノートパソコンを使用する。小テストやアンケート、課題提出にはUNIPAを利用する。この科目は本学の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の必修授業である。
--

4. 授業の受け方・勉強の仕方

(1)予習の仕方
前回までの授業の内容を事前に確認して授業に臨むこと。また、反転授業の場合は事前にビデオを見ておくこと。授業時に予習内容について指示する場合もある。
(2)授業の受け方
教科書、配布資料にそって授業を行う。Excelを使った演習も行う。
(3)復習の仕方
毎回の授業の内容を見直し、課題に取り組む。不明な箇所は教科書等で確認すること。それでも解決できない場合は直接質問に来るか、またはUNIPAの授業Q&Aを利用し質問すること。

5. 受講にあたってのルール

(1) 毎回各自のパソコンを持参すること。
(2) 私語や授業内容と関係のないコンピュータ利用を行っている場合は退室させる場合がある。

- (3) やむを得ない理由なく授業開始後30分以上遅れての出席は欠席とする。6回以上欠席の場合は不合格とする。
 (4) 課題等の提出は学修支援システムから行うこと。

6. 授業計画と「予習・復習」の内容及び必要な時間

回	テーマ	予習・復習	備考
第1回	オリエンテーション…授業の進め方の説明		
第2回	社会で起きている変化	テキスト p.1～p.18	
第3回	社会におけるAI・データ活用の事例 その1	配布資料1	
第4回	社会におけるAI・データ活用の事例 その2 データ活用を知る その1	配布資料1 テキスト p.19～p.34	
第5回	データ活用を知る その2	テキスト p.35～p.48	
第6回	Excelの復習（計算式・数式のコピー・相対参照・絶対参照・関数の使用・並べ替え・オートフィルター・グラフの作成）	テキスト p.90～p.105 テキスト p.111～p.117	
第7回	統計学の基礎 その1（標本調査・度数分布表・ヒストグラム・平均値・中央値・最頻値）	テキスト p.118～p.125	
第8回	統計学の基礎 その2（分散・標準偏差・正規分布・散布図・相関係数・回帰直線・回帰分析）	テキスト p.126～p.133 テキスト p.140～p.151	
第9回	データを分析する（事例「顧客分析」）	テキスト p.50～p.63	
第10回	データを分析する（事例「仕入れ計画」）	テキスト p.64～p.77	
第11回	企業の実データを用いた実習	配布資料2	
第12回	データ・AI活用における留意事項	配布資料3	
第13回	各学科の専門領域のデータを用いた演習 その1		
第14回	各学科の専門領域のデータを用いた演習 その2		
第15回	各学科の専門領域のデータを用いた演習 その3		
第16回	まとめ		
予習・復習	前の授業で伝えるキーワードを事前に調べてくること。反転授業の場合は事前にビデオを見ておくこと。復習では、次回の授業までに疑問点を調べておくこと。 目安の時間として、授業1コマにつき、予習120分、復習120分が必要。		

7. 評価方法（テスト、レポート、課題等へのフィードバック方法を含む）

到達目標と評価項目の関連

- (1) 受講態度（30%）…出席状況、授業への積極的な参加態度等を考慮する。
 <到達目標①②③④>
 (2) 課題（40%）…授業内容の確認のための課題
 <到達目標①②③④>
 (2) レポート（30%）
 <到達目標①②③④>

8. 参考図書・文献

9. 履修上の注意

- ・積み重ね教科なので、休まず積極的に参加すること。
- ・受講に際して、心配や不安がある場合は、必ず2回目の授業までに担当者に相談してください。事情によっては、レポートなどの代替課題を課すなどの、特別な配慮を行う場合があります。

科目名	AI・データサイエンス入門 (心理福祉)		
開講年度学期	2024年度後期	配当学年	1年
ナンバリング		単位	2単位
時間	月曜日Ⅲ校時 (13:00~14:30)	教室	122教室
教科書	「基礎からはじめるデータサイエンス」 保本 正芳 編、noa出版		

1. 担当教員

担当教員	熊谷 健二、結城 裕也
研究室	熊谷：3号館3階 結城：5号館4階
オフィスアワー	熊谷：木曜日Ⅲ校時 (13:00~14:30) 結城：月曜日Ⅱ校時 (10:40~12:10)

2. 授業の目的

(1)授業の目的
Excelを使ったデータの整理、加工、分析、可視化などの演習を通して、データサイエンスに関する基本的な知識（統計学）と情報処理スキルを身につけることを目的とする。また、現在社会において起こっている変化や、AI・データ活用の事例、データセキュリティやプライバシーなどの重要な問題についても考察する。
(2)到達目標とディプロマポリシーとの関連
①社会におけるAI・データ活用の事例や、社会で起きている変化、AI活用領域について説明できる。 <学部DP2②③>
②AI・データを活用するうえでのモラルや、個人情報を守るための注意点について説明できる。 <学部DP4①②③④⑤>
③基本的な数学知識や統計学をデータ分析に活用できる。 <学部DP3②>
④Excelを用いたデータの整理、加工、分析、可視化など適切なデータ分析ができる。 <学部DP3②>

※各学科各学年のディプロマ・ポリシーはこちらのリンクからご確認ください。

【https://drive.google.com/file/d/1vMVUJoCFFsO-n6_ljtpbwYmSL2IAU5Q3/view?usp=drive_link】

※各学科各学年のカリキュラムマップはこちらのリンクからご確認ください。

【https://drive.google.com/file/d/1H_tCOiCeKmdQnNmr-Lh4INKo7mlB-jmt/view?usp=drive_link】

3. 授業の概要

本講義では、データサイエンスに必要な数学（統計学）とコンピュータを使ったデータ分析手法について、アクティブ・ラーニングを通して学習する。授業では企業の実データを用いた実習や、各学科の専門分野におけるAI・データ活用の事例、データ・AIを扱う上で注意すべき事項などについても学習する。授業は各自のノートパソコンを使用する。小テストやアンケート、課題提出にはUNIPAを利用する。この科目は本学の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の必修授業である。
--

4. 授業の受け方・勉強の仕方

(1)予習の仕方
前回までの授業の内容を事前に確認して授業に臨むこと。また、反転授業の場合は事前にビデオを見ておくこと。授業時に予習内容について指示する場合もある。
(2)授業の受け方
教科書、配布資料にそって授業を行う。Excelを使った演習も行う。
(3)復習の仕方
毎回の授業の内容を見直し、課題に取り組む。不明な箇所は教科書等で確認すること。それでも解決できない場合は直接質問に来るか、またはUNIPAの授業Q&Aを利用し質問すること。

5. 受講にあたってのルール

(1) 毎回各自のパソコンを持参すること。
(2) 私語や授業内容と関係のないコンピュータ利用を行っている場合は退室させる場合がある。

- (3) やむを得ない理由なく授業開始後30分以上遅れての出席は欠席とする。6回以上欠席の場合は不合格とする。
 (4) 課題等の提出は学修支援システムから行うこと。

6. 授業計画と「予習・復習」の内容及び必要な時間

回	テーマ	予習・復習	備考
第1回	オリエンテーション…授業の進め方の説明		
第2回	社会で起きている変化	テキスト p.1～p.18	
第3回	社会におけるAI・データ活用の事例 その1	配布資料1	
第4回	社会におけるAI・データ活用の事例 その2 データ活用を知る その1	配布資料1 テキスト p.19～p.34	
第5回	データ活用を知る その2	テキスト p.35～p.48	
第6回	Excelの復習（計算式・数式のコピー・相対参照・絶対参照・関数の使用・並べ替え・オートフィルター・グラフの作成）	テキスト p.90～p.105 テキスト p.111～p.117	
第7回	統計学の基礎 その1（標本調査・度数分布表・ヒストグラム・平均値・中央値・最頻値）	テキスト p.118～p.125	
第8回	統計学の基礎 その2（分散・標準偏差・正規分布・散布図・相関係数・回帰直線・回帰分析）	テキスト p.126～p.133 テキスト p.140～p.151	
第9回	データを分析する（事例「顧客分析」）	テキスト p.50～p.63	
第10回	データを分析する（事例「仕入れ計画」）	テキスト p.64～p.77	
第11回	企業の実データを用いた実習	配布資料2	
第12回	データ・AI活用における留意事項	配布資料3	
第13回	各学科の専門領域のデータを用いた演習 その1		
第14回	各学科の専門領域のデータを用いた演習 その2		
第15回	各学科の専門領域のデータを用いた演習 その3		
第16回	まとめ		
予習・復習	前の授業で伝えるキーワードを事前に調べてくること。反転授業の場合は事前にビデオを見ておくこと。復習では、次回の授業までに疑問点を調べておくこと。 目安の時間として、授業1コマにつき、予習120分、復習120分が必要。		

7. 評価方法（テスト、レポート、課題等へのフィードバック方法を含む）

到達目標と評価項目の関連

- (1) 受講態度（30%）…出席状況、授業への積極的な参加態度等を考慮する。
 <到達目標①②③④>
 (2) 課題（40%）…授業内容の確認のための課題
 <到達目標①②③④>
 (2) レポート（30%）
 <到達目標①②③④>

8. 参考図書・文献

9. 履修上の注意

- ・積み重ね教科なので、休まず積極的に参加すること。
- ・受講に際して、心配や不安なことがある場合は、必ず2回目の授業までに担当者に相談してください。事情によっては、レポートなどの代替課題を課すなどの、特別な配慮を行う場合があります。

科目名	AI・データサイエンス入門 (健康栄養)		
開講年度学期	2024年度後期	配当学年	1年
ナンバリング		単位	2単位
時間	水曜日Ⅲ校時 (13:00~14:30)	教室	122教室
教科書	「基礎からはじめるデータサイエンス」 保本 正芳 編、noa出版		

1. 担当教員

担当教員	熊谷 健二、佐々木 裕子
研究室	熊谷：3号館3階 佐々木裕子：1号館6階
オフィスアワー	熊谷：木曜日Ⅲ校時 (13:00~14:30) 佐々木裕子：

2. 授業の目的

(1)授業の目的
Excelを使ったデータの整理、加工、分析、可視化などの演習を通して、データサイエンスに関する基本的な知識（統計学）と情報処理スキルを身につけることを目的とする。また、現在社会において起こっている変化や、AI・データ活用の事例、データセキュリティやプライバシーなどの重要な問題についても考察する。
(2)到達目標とディプロマポリシーとの関連
①社会におけるAI・データ活用の事例や、社会で起きている変化、AI活用領域について説明できる。 <学部DP2②③>
②AI・データを活用するうえでのモラルや、個人情報を守るための注意点について説明できる。 <学部DP4①②③④⑤>
③基本的な数学知識や統計学をデータ分析に活用できる。 <学部DP3②>
④Excelを用いたデータの整理、加工、分析、可視化など適切なデータ分析ができる。 <学部DP3②>

※各学科各学年のディプロマ・ポリシーはこちらのリンクからご確認ください。

【https://drive.google.com/file/d/1vMVUJoCFFsO-n6_ljtpbwYmSL2IAU5Q3/view?usp=drive_link】

※各学科各学年のカリキュラムマップはこちらのリンクからご確認ください。

【https://drive.google.com/file/d/1H_tCOiCeKmdQnNmr-Lh4INKo7mlB-jmt/view?usp=drive_link】

3. 授業の概要

本講義では、データサイエンスに必要な数学（統計学）とコンピュータを使ったデータ分析手法について、アクティブ・ラーニングを通して学習する。授業では企業の実データを用いた実習や、各学科の専門分野におけるAI・データ活用の事例、データ・AIを扱う上で注意すべき事項などについても学習する。授業は各自のノートパソコンを使用する。小テストやアンケート、課題提出にはUNIPAを利用する。この科目は本学の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の必修授業である。
--

4. 授業の受け方・勉強の仕方

(1)予習の仕方
前回までの授業の内容を事前に確認して授業に臨むこと。また、反転授業の場合は事前にビデオを見ておくこと。授業時に予習内容について指示する場合もある。
(2)授業の受け方
教科書、配布資料にそって授業を行う。Excelを使った演習も行う。
(3)復習の仕方
毎回の授業の内容を見直し、課題に取り組む。不明な箇所は教科書等で確認すること。それでも解決できない場合は直接質問に来るか、またはUNIPAの授業Q&Aを利用し質問すること。

5. 受講にあたってのルール

(1) 毎回各自のパソコンを持参すること。
(2) 私語や授業内容と関係のないコンピュータ利用を行っている場合は退室させる場合がある。

- (3) やむを得ない理由なく授業開始後30分以上遅れての出席は欠席とする。6回以上欠席の場合は不合格とする。
 (4) 課題等の提出は学修支援システムから行うこと。

6. 授業計画と「予習・復習」の内容及び必要な時間

回	テーマ	予習・復習	備考
第1回	オリエンテーション…授業の進め方の説明		
第2回	社会で起きている変化	テキスト p.1～p.18	
第3回	社会におけるAI・データ活用の事例 その1	配布資料1	
第4回	社会におけるAI・データ活用の事例 その2 データ活用を知る その1	配布資料1 テキスト p.19～p.34	
第5回	データ活用を知る その2	テキスト p.35～p.48	
第6回	Excelの復習（計算式・数式のコピー・相対参照・絶対参照・関数の使用・並べ替え・オートフィルター・グラフの作成）	テキスト p.90～p.105 テキスト p.111～p.117	
第7回	統計学の基礎 その1（標本調査・度数分布表・ヒストグラム・平均値・中央値・最頻値）	テキスト p.118～p.125	
第8回	統計学の基礎 その2（分散・標準偏差・正規分布・散布図・相関係数・回帰直線・回帰分析）	テキスト p.126～p.133 テキスト p.140～p.151	
第9回	データを分析する（事例「顧客分析」）	テキスト p.50～p.63	
第10回	データを分析する（事例「仕入れ計画」）	テキスト p.64～p.77	
第11回	企業の実データを用いた実習	配布資料2	
第12回	データ・AI活用における留意事項	配布資料3	
第13回	各学科の専門領域のデータを用いた演習 その1		
第14回	各学科の専門領域のデータを用いた演習 その2		
第15回	各学科の専門領域のデータを用いた演習 その3		
第16回	まとめ		
予習・復習	前の授業で伝えるキーワードを事前に調べてくること。反転授業の場合は事前にビデオを見ておくこと。復習では、次回の授業までに疑問点を調べておくこと。 目安の時間として、授業1コマにつき、予習120分、復習120分が必要。		

7. 評価方法（テスト、レポート、課題等へのフィードバック方法を含む）

到達目標と評価項目の関連

- (1) 受講態度（30%）…出席状況、授業への積極的な参加態度等を考慮する。
 <到達目標①②③④>
 (2) 課題（40%）…授業内容の確認のための課題
 <到達目標①②③④>
 (2) レポート（30%）
 <到達目標①②③④>

8. 参考図書・文献

9. 履修上の注意

- ・積み重ね教科なので、休まず積極的に参加すること。
- ・受講に際して、心配や不安がある場合は、必ず2回目の授業までに担当者に相談してください。事情によっては、レポートなどの代替課題を課すなどの、特別な配慮を行う場合があります。

科目名	A I ・データサイエンス入門 (G S)		
開講年度学期	2024年度後期	配当学年	1年
ナンバリング		単位	2単位
時間	火曜日IV校時 (14:40~16:10)	教室	122教室
教科書	「基礎からはじめるデータサイエンス」 保本 正芳 編、noa出版		

1. 担当教員

担当教員	熊谷 健二
研究室	熊谷：3号館3階
オフィスアワー	熊谷：木曜日III校時 (13:00~14:30)

2. 授業の目的

(1)授業の目的
Excelを使ったデータの整理、加工、分析、可視化などの演習を通して、データサイエンスに関する基本的な知識（統計学）と情報処理スキルを身につけることを目的とする。また、現在社会において起こっている変化や、AI・データ活用の事例、データセキュリティやプライバシーなどの重要な問題についても考察する。
(2)到達目標とディプロマポリシーとの関連
①社会におけるAI・データ活用の事例や、社会で起きている変化、AI活用領域について説明できる。 <学部DP2②③>
②AI・データを活用するうえでのモラルや、個人情報を守るための注意点について説明できる。 <学部DP4①②③④⑤>
③基本的な数学知識や統計学をデータ分析に活用できる。 <学部DP3②>
④Excelを用いたデータの整理、加工、分析、可視化など適切なデータ分析ができる。 <学部DP3②>

※各学科各学年のディプロマ・ポリシーはこちらのリンクからご確認ください。

【https://drive.google.com/file/d/1vMVIJoCFFsO-n6_ljtpbwYmSL2IAU5Q3/view?usp=drive_link】

※各学科各学年のカリキュラムマップはこちらのリンクからご確認ください。

【https://drive.google.com/file/d/1H_tCOiCeKmdQnNmr-Lh4INKo7mlB-jmt/view?usp=drive_link】

3. 授業の概要

本講義では、データサイエンスに必要な数学（統計学）とコンピュータを使ったデータ分析手法について、アクティブ・ラーニングを通して学習する。授業では企業の実データを用いた実習や、各学科の専門分野におけるAI・データ活用の事例、データ・AIを扱う上で注意すべき事項などについても学習する。授業は各自のノートパソコンを使用する。小テストやアンケート、課題提出にはUNIPAを利用する。この科目は本学の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の必修授業である。
--

4. 授業の受け方・勉強の仕方

(1)予習の仕方
前回までの授業の内容を事前に確認して授業に臨むこと。また、反転授業の場合は事前にビデオを見ておくこと。授業時に予習内容について指示する場合もある。
(2)授業の受け方
教科書、配布資料にそって授業を行う。Excelを使った演習も行う。
(3)復習の仕方
毎回の授業の内容を見直し、課題に取り組む。不明な箇所は教科書等で確認すること。それでも解決できない場合は直接質問に来るか、またはUNIPAの授業Q&Aを利用し質問すること。

5. 受講にあたってのルール

(1) 毎回各自のパソコンを持参すること。
(2) 私語や授業内容と関係のないコンピュータ利用を行っている場合は退室させる場合がある。
(3) やむを得ない理由なく授業開始後30分以上遅れての出席は欠席とする。6回以上欠席の場合は不合格とする。
(4) 課題等の提出は学修支援システムから行うこと。

6. 授業計画と「予習・復習」の内容及び必要な時間

回	テーマ	予習・復習	備考
第1回	オリエンテーション…授業の進め方の説明		
第2回	社会で起きている変化	テキスト p.1～p.18	
第3回	社会におけるAI・データ活用の事例 その1	配布資料1	
第4回	社会におけるAI・データ活用の事例 その2 データ活用を知る その1	配布資料1 テキスト p.19～p.34	
第5回	データ活用を知る その2	テキスト p.35～p.48	
第6回	Excelの復習（計算式・数式のコピー・相対参照・絶対参照・関数の使用・並べ替え・オートフィルター・グラフの作成）	テキスト p.90～p.105 テキスト p.111～p.117	
第7回	統計学の基礎 その1（標本調査・度数分布表・ヒストグラム・平均値・中央値・最頻値）	テキスト p.118～p.125	
第8回	統計学の基礎 その2（分散・標準偏差・正規分布・散布図・相関係数・回帰直線・回帰分析）	テキスト p.126～p.133 テキスト p.140～p.151	
第9回	データを分析する（事例「顧客分析」）	テキスト p.50～p.63	
第10回	データを分析する（事例「仕入れ計画」）	テキスト p.64～p.77	
第11回	企業の実データを用いた実習	配布資料2	
第12回	データ・AI活用における留意事項	配布資料3	
第13回	各学科の専門領域のデータを用いた演習 その1		
第14回	各学科の専門領域のデータを用いた演習 その2		
第15回	各学科の専門領域のデータを用いた演習 その3		
第16回	まとめ		
予習・復習	前の授業で伝えるキーワードを事前に調べてくること。反転授業の場合は事前にビデオを見ておくこと。復習では、次回の授業までに疑問点を調べておくこと。 目安の時間として、授業1コマにつき、予習120分、復習120分が必要。		

7. 評価方法（テスト、レポート、課題等へのフィードバック方法を含む）

到達目標と評価項目の関連

- (1) 受講態度 (30%) …出席状況、授業への積極的な参加態度等を考慮する。
<到達目標①②③④>
- (2) 課題 (40%) …授業内容の確認のための課題
<到達目標①②③④>
- (2) レポート (30%)
<到達目標①②③④>

8. 参考図書・文献

9. 履修上の注意

- ・積み重ね教科なので、休まず積極的に参加すること。
- ・受講に際して、心配や不安なことがある場合は、必ず2回目の授業までに担当者に相談してください。事情によっては、レポートなどの代替課題を課すなどの、特別な配慮を行う場合があります。

科目名	情報リテラシー基礎(子ども教育)		
開講年度学期	2024年度前期	配当学年	1年
ナンバリング		単位	2単位
時間	月曜5	教室	5号館コンピュータ演習室
教科書	実践ドリルで学ぶOffice活用術		

1. 担当教員

担当教員	初山 高仁
研究室	非常勤講師ですが、非常勤講師室にはほぼおりません。
オフィスアワー	月曜の3・4・5校時の前後に5号館コンピュータ演習室にあります。

2. 授業の目的

(1)授業の目的
社会人に必須の知識となりつつあるデータサイエンスを学ぶためにはコンピュータの利用能力を身につけることが不可欠です。この授業では基礎的なPC利用能力を身につけることを目的とします。
(2)到達目標とディプロマポリシーとの関連
到達目標 ① 現代の社会におけるデータサイエンスの重要性について理解する。 ② 情報技術の普及した社会で生活するための基本的な知識や技能を身につける。 ③ 他の科目でも必要とされるような文章作成や数値処理の技能を身につける。
ディプロマポリシーとの関連 人間学部のディプロマポリシー「1. 建学の精神に則り、キリスト教(カトリック)について理解しており、その精神に基づいた世界観や人間観及び知識・能力を身に着けていることを学位授与の条件とする。」に基づき、特にコンピュータの基本的使用法の知識の獲得を目指す科目です。

※各学科各学年のディプロマ・ポリシーはこちらのリンクからご確認ください。

【https://drive.google.com/file/d/1vMVUJoCFFsO-n6_ljtpbwYmSL2IAU5Q3/view?usp=drive_link】

※各学科各学年のカリキュラムマップはこちらのリンクからご確認ください。

【https://drive.google.com/file/d/1H_tCOiCeKmdQnNmr-Lh4lNKo7mlB-jmt/view?usp=drive_link】

3. 授業の概要

すべての回で実際にコンピュータを用いた実習を行い、社会人として必要とされるデータサイエンスの基礎的スキルを身に着けます。Wordではビジネス文書の作成や作表の仕方、図形の配置について、Excelでは関数の使用、グラフの作成、データベースの使用について、PowerPointでは簡単なプレゼンの作成法について学びます。授業は一方的ではなくPBL(問題解決型学習)によるアクティブ・ラーニングの形式で展開されます。UNIPAで資料の掲示や質問の受付を行う双方向型の授業です。この科目は本学の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の必修科目です。
--

4. 授業の受け方・勉強の仕方

(1)予習の仕方
日常的にPCを積極的に使うことを予習と見なします。日頃からタイピング練習を行い、授業内で入力の流れがないようにしてください。
(2)授業の受け方
授業は実習の形式で行われます。教員による指示のもとで作業内容を習い、その後に各自で課題を行うという形式になります。
(3)復習の仕方
予習よりも復習を重視します。授業で用いるファイルはインターネット上で公開されておりますので、授業内で行った演習を繰り返し行い、知識の定着を行ってください。1日10分のタイピング練習(週で70分)を復習と見なします。

5. 受講にあたってのルール

遅刻や欠席はできるだけしないようにしてください。常にタイピング能力の向上を意識してください。毎回ノートパソコンを持参すること。

6. 授業計画と「予習・復習」の内容及び必要な時間

回	テーマ	予習・復習	備考
---	-----	-------	----

第1回	授業概要の説明 タイピング練習の基礎	タイピングの復習	
第2回	インターネットによる情報収集	条件検索の復習	
第3回	Wordによる文章作成の基礎	§ 1 Step1の復習	
第4回	Wordによるビジネス文書の作成	§ 1 Step1の復習	
第5回	Wordによる表の作成	§ 1 Step2の復習	
第6回	Wordによる図画の処理	§ 1 Step3の復習	
第7回	Wordの総合演習	Drillの演習	
第8回	Excelの基本操作	§ 2 Step1の復習	
第9回	Excelの関数の利用 1	§ 2 Step2の復習	
第10回	Excelの関数の利用 2	§ 2 Step2の復習	
第11回	Excelによるグラフの作成	§ 2 Step3の復習	
第12回	Excelによるデータベースの利用	§ 2 Step4の復習	
第13回	Excelの総合演習	Drillの演習	
第14回	PowerPointの基本操作	§ 4 Step2の復習	
第15回	PowerPointによるプレゼンの作成	最終課題の作成	
第16回			
予習・復習	予習よりも復習を行うようにしてください。特にタイピングの練習を忘れないようにしてください。毎日10分（毎週70分）のタイピング練習を行ってください。タイピングが速いと授業の理解がしやすいので予習をしたことにもなります。		

7. 評価方法（テスト、レポート、課題等へのフィードバック方法を含む）

到達目標と評価項目の関連

- (1) 受講姿勢（70%）…授業参加と授業内課題の提出状況などを評価します。出席したことではなく課題を行ったことが評価されます。課題の完成度が低い場合には再提出を指示することがあります。
- (2) タイピング能力（30%）…授業時間外での練習の成果をタイピングの速さで測ります。

8. 参考図書・文献

9. 履修上の注意

- (1) 授業の前提とされる知識や資格などは特にありません。
- (2) 欠席や遅刻をしないようにしてください。
- (3) 欠席届はUNIPAのQ&Aへの投稿でよく、紙で提出する必要はありません。
- (4) 特別な配慮が必要な場合には申し出てください。状況の許す範囲で遠隔授業にも対応します。できるだけ前日までにUNIPAのQ&Aで連絡をしてください。
- (5) 災害などで対面授業の実施が困難な場合は遠隔授業を行う予定です。

科目名	情報リテラシー基礎 (心理福祉)		
開講年度学期	2024年度前期	配当学年	1年
ナンバリング		単位	2単位
時間	月曜4	教室	5号館コンピュータ演習室
教科書	実践ドリルで学ぶOffice活用術		

1. 担当教員

担当教員	初山 高仁
研究室	非常勤講師ですが、非常勤講師室にはほぼおりません。
オフィスアワー	月曜の3・4・5校時の前後に5号館コンピュータ演習室にあります。

2. 授業の目的

(1)授業の目的
社会人に必須の知識となりつつあるデータサイエンスを学ぶためにはコンピュータの利用能力を身につけることが不可欠です。この授業では基礎的なPC利用能力を身につけることを目的とします。
(2)到達目標とディプロマポリシーとの関連
到達目標 ① 現代の社会におけるデータサイエンスの重要性について理解する。 ② 情報技術の普及した社会で生活するための基本的な知識や技能を身につける。 ③ 他の科目でも必要とされるような文章作成や数値処理の技能を身につける。
ディプロマポリシーとの関連 人間学部のディプロマポリシー「1. 建学の精神に則り、キリスト教（カトリック）について理解しており、その精神に基づいた世界観や人間観及び知識・能力を身に着けていることを学位授与の条件とする。」に基づき、特にコンピュータの基本的使用法の知識の獲得を目指す科目です。

※各学科各学年のディプロマ・ポリシーはこちらのリンクからご確認ください。

【https://drive.google.com/file/d/1vMVUJoCFFsO-n6_ljtpbwYmSL2IAU5Q3/view?usp=drive_link】

※各学科各学年のカリキュラムマップはこちらのリンクからご確認ください。

【https://drive.google.com/file/d/1H_tCOiCeKmdQnNmr-Lh4lNKo7mlB-jmt/view?usp=drive_link】

3. 授業の概要

すべての回で実際にコンピュータを用いた実習を行い、社会人として必要とされるデータサイエンスの基礎的スキルを身に着けます。Wordではビジネス文書の作成や作表の仕方、図形の配置について、Excelでは関数の使用、グラフの作成、データベースの使用について、PowerPointでは簡単なプレゼンの作成法について学びます。授業は一方的ではなくPBL（問題解決型学習）によるアクティブ・ラーニングの形式で展開されます。UNIPAで資料の掲示や質問の受付を行う双方向型の授業です。この科目は本学の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の必修科目です。
--

4. 授業の受け方・勉強の仕方

(1)予習の仕方
日常的にPCを積極的に使うことを予習と見なします。日頃からタイピング練習を行い、授業内で入力の手遅れがないようにしてください。
(2)授業の受け方
授業は実習の形式で行われます。教員による指示のもとで作業内容を習い、その後に各自で課題を行うという形式になります。
(3)復習の仕方
予習よりも復習を重視します。授業で用いるファイルはインターネット上で公開されておりますので、授業内で行った演習を繰り返し行い、知識の定着を行ってください。1日10分のタイピング練習（週で70分）を復習と見なします。

5. 受講にあたってのルール

遅刻や欠席はできるだけしないようにしてください。常にタイピング能力の向上を意識してください。毎回ノートパソコンを持参すること。

6. 授業計画と「予習・復習」の内容及び必要な時間

回	テーマ	予習・復習	備考
---	-----	-------	----

第1回	授業概要の説明 タイピング練習の基礎	タイピングの復習	
第2回	インターネットによる情報収集	条件検索の復習	
第3回	Wordによる文章作成の基礎	§ 1 Step1の復習	
第4回	Wordによるビジネス文書の作成	§ 1 Step1の復習	
第5回	Wordによる表の作成	§ 1 Step2の復習	
第6回	Wordによる図画の処理	§ 1 Step3の復習	
第7回	Wordの総合演習	Drillの演習	
第8回	Excelの基本操作	§ 2 Step1の復習	
第9回	Excelの関数の利用 1	§ 2 Step2の復習	
第10回	Excelの関数の利用 2	§ 2 Step2の復習	
第11回	Excelによるグラフの作成	§ 2 Step3の復習	
第12回	Excelによるデータベースの利用	§ 2 Step4の復習	
第13回	Excelの総合演習	Drillの演習	
第14回	PowerPointの基本操作	§ 4 Step2の復習	
第15回	PowerPointによるプレゼンの作成	最終課題の作成	
第16回			
予習・復習	予習よりも復習を行うようにしてください。特にタイピングの練習を忘れないようにしてください。毎日10分（毎週70分）のタイピング練習を行ってください。タイピングが速いと授業の理解がしやすいので予習をしたことにもなります。		

7. 評価方法（テスト、レポート、課題等へのフィードバック方法を含む）

到達目標と評価項目の関連

- (1) 受講姿勢（70%）…授業参加と授業内課題の提出状況などを評価します。出席したことではなく課題を行ったことが評価されます。課題の完成度が低い場合には再提出を指示することがあります。
- (2) タイピング能力（30%）…授業時間外での練習の成果をタイピングの速さで測ります。

8. 参考図書・文献

9. 履修上の注意

- (1) 授業の前提とされる知識や資格などは特にありません。
- (2) 欠席や遅刻をしないようにしてください。
- (3) 欠席届はUNIPAのQ&Aへの投稿でよく、紙で提出する必要はありません。
- (4) 特別な配慮が必要な場合には申し出てください。状況の許す範囲で遠隔授業にも対応します。できるだけ前日までにUNIPAのQ&Aで連絡をしてください。
- (5) 災害などで対面授業の実施が困難な場合は遠隔授業を行う予定です。

科目名	情報リテラシー基礎 (健康栄養)		
開講年度学期	2024年度前期	配当学年	1年
ナンバリング		単位	2単位
時間	月曜3	教室	5号館コンピュータ演習室
教科書	実践ドリルで学ぶOffice活用術		

1. 担当教員

担当教員	初山 高仁
研究室	非常勤講師ですが、非常勤講師室にはほぼおりません。
オフィスアワー	月曜の3・4・5校時の前後に5号館コンピュータ演習室にあります。

2. 授業の目的

(1)授業の目的
社会人に必須の知識となりつつあるデータサイエンスを学ぶためにはコンピュータの利用能力を身につけることが不可欠です。この授業では基礎的なPC利用能力を身につけることを目的とします。
(2)到達目標とディプロマポリシーとの関連
到達目標 ① 現代の社会におけるデータサイエンスの重要性について理解する。 ② 情報技術の普及した社会で生活するための基本的な知識や技能を身につける。 ③ 他の科目でも必要とされるような文章作成や数値処理の技能を身につける。
ディプロマポリシーとの関連 人間学部のディプロマポリシー「1. 建学の精神に則り、キリスト教（カトリック）について理解しており、その精神に基づいた世界観や人間観及び知識・能力を身に着けていることを学位授与の条件とする。」に基づき、特にコンピュータの基本的使用法の知識の獲得を目指す科目です。

※各学科各学年のディプロマ・ポリシーはこちらのリンクからご確認ください。

【https://drive.google.com/file/d/1vMVUJoCFFsO-n6_ljtpbwYmSL2IAU5Q3/view?usp=drive_link】

※各学科各学年のカリキュラムマップはこちらのリンクからご確認ください。

【https://drive.google.com/file/d/1H_tCOiCeKmdQnNmr-Lh4lNKo7mlB-jmt/view?usp=drive_link】

3. 授業の概要

すべての回で実際にコンピュータを用いた実習を行い、社会人として必要とされるデータサイエンスの基礎的スキルを身に着けます。Wordではビジネス文書の作成や作表の仕方、図形の配置について、Excelでは関数の使用、グラフの作成、データベースの使用について、PowerPointでは簡単なプレゼンの作成法について学びます。授業は一方的ではなくPBL（問題解決型学習）によるアクティブ・ラーニングの形式で展開されます。UNIPAで資料の掲示や質問の受付を行う双方向型の授業です。この科目は本学の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の必修科目です。
--

4. 授業の受け方・勉強の仕方

(1)予習の仕方
日常的にPCを積極的に使うことを予習と見なします。日頃からタイピング練習を行い、授業内で入力の流れがないようにしてください。
(2)授業の受け方
授業は実習の形式で行われます。教員による指示のもとで作業内容を習い、その後に各自で課題を行うという形式になります。
(3)復習の仕方
予習よりも復習を重視します。授業で用いるファイルはインターネット上で公開されておりますので、授業内で行った演習を繰り返し行い、知識の定着を行ってください。1日10分のタイピング練習（週で70分）を復習と見なします。

5. 受講にあたってのルール

遅刻や欠席はできるだけしないようにしてください。常にタイピング能力の向上を意識してください。毎回ノートパソコンを持参すること。

6. 授業計画と「予習・復習」の内容及び必要な時間

回	テーマ	予習・復習	備考
---	-----	-------	----

第1回	授業概要の説明 タイピング練習の基礎	タイピングの復習	
第2回	インターネットによる情報収集	条件検索の復習	
第3回	Wordによる文章作成の基礎	§ 1 Step1の復習	
第4回	Wordによるビジネス文書の作成	§ 1 Step1の復習	
第5回	Wordによる表の作成	§ 1 Step2の復習	
第6回	Wordによる図画の処理	§ 1 Step3の復習	
第7回	Wordの総合演習	Drillの演習	
第8回	Excelの基本操作	§ 2 Step1の復習	
第9回	Excelの関数の利用 1	§ 2 Step2の復習	
第10回	Excelの関数の利用 2	§ 2 Step2の復習	
第11回	Excelによるグラフの作成	§ 2 Step3の復習	
第12回	Excelによるデータベースの利用	§ 2 Step4の復習	
第13回	Excelの総合演習	Drillの演習	
第14回	PowerPointの基本操作	§ 4 Step2の復習	
第15回	PowerPointによるプレゼンの作成	最終課題の作成	
第16回			
予習・復習	予習よりも復習を行うようにしてください。特にタイピングの練習を忘れないようにしてください。毎日10分（毎週70分）のタイピング練習を行ってください。タイピングが速いと授業の理解がしやすいので予習をしたことにもなります。		

7. 評価方法（テスト、レポート、課題等へのフィードバック方法を含む）

到達目標と評価項目の関連

- (1) 受講姿勢（70%）…授業参加と授業内課題の提出状況などを評価します。出席したことではなく課題を行ったことが評価されます。課題の完成度が低い場合には再提出を指示することがあります。
- (2) タイピング能力（30%）…授業時間外での練習の成果をタイピングの速さで測ります。

8. 参考図書・文献

9. 履修上の注意

- (1) 授業の前提とされる知識や資格などは特にありません。
- (2) 欠席や遅刻をしないようにしてください。
- (3) 欠席届はUNIPAのQ&Aへの投稿でよく、紙で提出する必要はありません。
- (4) 特別な配慮が必要な場合には申し出てください。状況の許す範囲で遠隔授業にも対応します。できるだけ前日までにUNIPAのQ&Aで連絡をしてください。
- (5) 災害などで対面授業の実施が困難な場合は遠隔授業を行う予定です。

科目名	情報リテラシー基礎 (G S)		
開講年度学期	2024年度前期	配当学年	1年
ナンバリング		単位	2単位
時間	水曜日 II 校時 (10:40~12:10)	教室	コンピュータ演習室 I
教科書	「情報リテラシー 入門編 Windows10, Office2019対応」 FOM出版		

1. 担当教員

担当教員	熊谷 健二
研究室	3号館3階
オフィスアワー	月曜日 III 校時 (13:00~14:30)

2. 授業の目的

(1)授業の目的
情報システム機器を用いて情報を適切に処理し、さらに活用できる能力（コンピュータリテラシ）を身につける事を目的とする。
(2)到達目標とディプロマポリシーとの関連
① コンピュータを使った情報処理に必要な基本的な技術を身につける。 <学部DP3②>
② 情報社会で生き抜くために必要な基本的なモラルとマナーを身につける。 <学部DP4①②③④⑤>
③ 身につけた知識と技術を、他の科目でも活かすことができるようになる。 <学部DP5①②③>

※各学科各学年のディプロマ・ポリシーはこちらのリンクからご確認ください。

【https://drive.google.com/file/d/1vMVIJoCFFsO-n6_ljtpbwYmSL2IAU5Q3/view?usp=drive_link】

※各学科各学年のカリキュラムマップはこちらのリンクからご確認ください。

【https://drive.google.com/file/d/1H_tCOiCeKmdQnNmr-Lh4INKo7mlB-jmt/view?usp=drive_link】

3. 授業の概要

本授業では、キーボード・マウス操作、日本語入力（タイピング）から始め、ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの基本操作を学習する。さらに、WWWや電子メールを含むインターネットの活用方法、およびモラルとマナーについても学ぶ。また、後期から始まるデータサイエンス教育に繋がる内容も取り扱う。授業では、基本操作をマスターした後、身につけた操作を主体的に活用することで深い学びへとつなげる（アクティブラーニング）。小テストやアンケート、課題提出にはUNIPAを使用する。この科目は本学の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の必修科目である。また、この科目は一般企業で研究開発の実務経験を持つ教員が担当する。

4. 授業の受け方・勉強の仕方

(1)予習の仕方
前回までの授業の内容を事前に確認して授業に臨むこと。また、授業時に予習内容について指示する場合がある。
(2)授業の受け方
持参のノートパソコンを使用して、授業のコース上に掲載している教材および教科書にそってパソコン操作を練習し、その後応用問題や課題の問題を作成する。
(3)復習の仕方
毎回の授業の内容を見直し、課題に取り組む。不明な箇所は教科書等で確認すること。それでも解決できない場合は直接質問に来るか、またはUNIPAの授業Q&Aを利用し質問すること。

5. 受講にあたってのルール

(1) 毎回ノートパソコンを持参すること。
(2) 私語や授業内容と関係のないコンピュータ利用を行っている場合は退室させる場合がある。
(3) やむを得ない理由なく授業開始後30分以上遅れての出席は欠席とする。6回以上欠席の場合は不合格とする。
(4) 課題等の提出は学修支援システムUNIPAから行うこと。

6. 授業計画と「予習・復習」の内容及び必要な時間

回	テーマ	予習・復習	備考
第1回	オリエンテーション…授業の進め方の説明		
第2回	情報機器の操作、日本語入力	Windows STEP1 - 7 タイピング練習	
第3回	Wordの操作 基本的な文書の作成、図や表の挿入	Word STEP1, 2, 3	
第4回	Wordの操作 表現力をアップする機能の利用	Word STEP5	
第5回	情報モラルと情報セキュリティ	Lesson	
第6回	Excelの操作 表の作成	Excel STEP1, 2, 3	
第7回	Excelの操作 計算の仕方	Excel STEP4, 5	
第8回	Excelの操作 グラフの作成	Excel STEP6	
第9回	Excelの操作 データベース機能	Excel STEP7	
第10回	データサイエンスの基礎		
第11回	データ・AI活用における留意事項		
第12回	PowerPointの操作 スライドの作成、写真、図形、表、グラフの挿入	PowerPoint STEP1, 2, 3, 4	
第13回	PowerPointの操作 アニメーションの設定	PowerPoint STEP5	
第14回	PowerPointの操作 プレゼンテーションの練習	PowerPoint STEP6	
第15回	まとめ、タイピングテスト		
第16回			
予習・復習	前の授業で伝えるキーワードを事前に調べてくること。復習では、その日のうちに疑問点を調べておくこと。目安の時間として、授業1コマにつき、予習120分、復習120分が必要。		

7. 評価方法（テスト、レポート、課題等へのフィードバック方法を含む）

到達目標と評価項目の関連

- (1) 受講態度（20%）…出席状況、授業への積極的な参加態度等を考慮する。
 <到達目標①②③>
 (2) タイピングテスト（20%）
 <到達目標①③>
 (2) 課題（60%）…授業内容の確認のための課題
 <到達目標①②③>

8. 参考図書・文献

9. 履修上の注意

- ・積み重ね教科なので、休まず積極的に参加すること。
- ・受講に際して、心配や不安がある場合は、必ず2回目の授業までに担当者に相談してください。事情によっては、レポートなどの代替課題を課すなどの、特別な配慮を行う場合があります。

カリキュラムマップ（2024年度入学生～2021年度入学生） 目次

p.1	目次
p.2-5	2024年度入学生 学部共通科目
p.6-9	2024年度入学生 子ども教育学科専門科目
p.10-14	2024年度入学生 心理福祉学科専門科目
p.15-17	2024年度入学生 健康栄養学科専門科目
p.18-21	2024年度入学生 グローバル・スタディーズ学科専門科目
p.22-24	2023年度入学生 学部共通科目
p.25-28	2023年度入学生 子ども教育学科専門科目
p.29-33	2023年度入学生 心理福祉学科専門科目
p.34-36	2023年度入学生 健康栄養学科専門科目
p.37-40	2023年度入学生 グローバル・スタディーズ学科専門科目
p.41-42	2022年度入学生 学部共通科目
p.43-44	2022年度入学生 人間発達学科専門科目
p.45-46	2022年度入学生 心理福祉学科専門科目
p.47	2022年度入学生 健康栄養学科専門科目
p.48-50	2022年度入学生 グローバル・スタディーズ学科専門科目
p.51-52	2021年度入学生 学部共通科目
p.53-54	2021年度入学生 人間発達学科専門科目
p.55-56	2021年度入学生 心理福祉学科専門科目
p.57	2021年度入学生 健康栄養学科専門科目
p.58-60	2021年度入学生 グローバル・スタディーズ学科専門科目

【人間学部】ディプロマ・ポリシー

DP1〈建学の精神の理解〉 イエス・キリストによる福音と、その福音的価値観に基づく「人間の尊厳」について理解する。現代社会の諸問題をキリスト教の精神に照らして総合的に理解し、その解決に向けて具体的行動を起こすことができる。

- ① キリスト教的人間観・世界観の理解
- ② キリスト教の精神に基づく現代社会の諸問題の理解
- ③ 課題解決に向けた具体的行動

DP2〈普遍的知識と教養〉 人間や社会、自然、環境に関する幅広い教養、自国と異文化への理解、女性が自律的に生きるための素地を身につけている。

- ① 人間に関する幅広い教養
- ② 社会に関する幅広い教養
- ③ 自然・環境に関する幅広い教養
- ④ 自国と異文化への理解
- ⑤ 女性が自律的に生きるための素地

DP3〈汎用的知識と技術〉 社会人・職業人にとって必要な言語力、コミュニケーション・スキル、情報を扱う技術、キャリア形成に資する知識を身につけている。

- ① 日本語および外国語でのコミュニケーション・スキル
- ② 情報処理能力
- ③ キャリア形成のための知識

DP4〈態度・志向性〉 多様な人々と対話し、協働し、社会に貢献するために自分自身で考え、積極的に行動することができる。

- ① 多様な人々と対話し、協働する力
- ② 社会に貢献するために自分自身で考え、積極的に行動する力
- ③ 自律性・主体性
- ④ 自分と異なる他者への共感力
- ⑤ 人間への関心

DP5〈統合的な学習経験と創造的思考力〉 獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた課題を掘り下げ、調査、研究して課題を解決することができる。

- ① 知識・技能・態度の総合的な活用力
- ② 創造的思考力
- ③ 課題発見・解決力

授業科目	学科				DP1					DP2					DP3			DP4					DP5		
	子	心	健	G	①	②	③	①	②	③	④	⑤	①	②	③	①	②	③	④	⑤	①	②	③		
キリスト教学ⅠA	○	○	○	○	◎	○	○												○						
キリスト教学ⅠB	○	○	○	○	◎	○	○												○						
キリスト教学Ⅱ	○	○	○	○	◎	○	○												○						
人間論	○	○	○	○	○	◎	○	○												○					
英語Ⅰ	○	○	○							○		◎													
英語Ⅱ	○	○	○							○		◎													
オーラル・コミュニケーションⅠ	○	○	○							○		◎													
オーラル・コミュニケーションⅡ	○	○	○							○		◎													
フランス語ⅠA	○	○	○	○						○		◎													
フランス語ⅠB	○	○	○	○						○		◎													
フランス語ⅡA	○	○	○	○						○		◎													
フランス語ⅡB	○	○	○	○						○		◎													
ドイツ語ⅠA	○	○	○	○						○		◎													
ドイツ語ⅠB	○	○	○	○						○		◎													
ドイツ語ⅡA	○	○	○	○						○		◎													
ドイツ語ⅡB	○	○	○	○						○		◎													
スペイン語ⅠA	○	○	○	○						○		◎													
スペイン語ⅠB	○	○	○	○						○		◎													
スペイン語ⅡA	○	○	○	○						○		◎													
スペイン語ⅡB	○	○	○	○						○		◎													
中国語ⅠA	○	○	○	○						○		◎													
中国語ⅠB	○	○	○	○						○		◎													
中国語ⅡA	○	○	○	○						○		◎													
中国語ⅡB	○	○	○	○						○		◎													
韓国語ⅠA	○	○	○	○						○		◎													
韓国語ⅠB	○	○	○	○						○		◎													
韓国語ⅡA	○	○	○	○						○		◎													
共通基礎演習	○	○	○	○											◎	○	○	○	○	○	○	○	○		
日本語表現Ⅰ	○	○	○	○						○		◎													
日本語表現Ⅱ	○	○	○	○						○		◎													
キャリア・デザインⅠ	○	○	○	○											◎		○								
キャリア・デザインⅡ	○	○	○	○											◎		○								
キャリア・デザインⅢ	○	○	○	○											○	○	◎	○			○	○	○		
哲学（東洋哲学を含む）	○	○	○	○						◎	○														
文学	○	○	○	○						◎		○													
宗教と文学	○	○	○	○	○					◎		○													
宗教と音楽	○	○	○	○	○					◎		○													
宗教と美術	○	○	○	○	○					◎		○													
宗教学	○	○	○	○	○					◎		○													
日本史Ⅰ	○	○	○	○						◎	○	○													
日本史Ⅱ		○	○	○						◎	○	○													
外国史Ⅰ	○	○	○	○						◎	○	○													
外国史Ⅱ		○	○	○						◎	○	○													
心理学概論 ※	○		○	○						◎	○								○	○					
子どもの心理 ※			○							◎	○								○	○					
子ども論 ※			○							◎	○	○							○	○					
児童文化論 ※			○							◎		○							○	○					
情報社会と倫理 ※	○									○					◎				○						
コミュニケーション論 ※	○		○							○					◎				○	○					
食文化論			○	○						○		◎													
食と健康の英語			○									◎													

授業科目	学科				DP1			DP2					DP3			DP4					DP5		
	子	心	健	G	①	②	③	①	②	③	④	⑤	①	②	③	①	②	③	④	⑤	①	②	③
ジェンダー論	○	○	○	○				○	○			◎			○	○	○	○	○				
経済学	○	○	○	○					◎			○											
国際関係論 ※	○	○	○						◎		○				○								
社会福祉学	○		○	○				○	◎						○			○	○				
法学	○	○	○	○					◎														
日本国憲法	○	○	○	○					◎														
教育学概論 ※		○	○	○				○	◎											○			
社会学概論				○				○	◎		○												
社会学 ※	○		○					○	◎		○												
政治学		○		○					◎														
消費生活論			○						◎		○												
環境科学	○	○	○	○				○	◎						○								
健康科学	○	○	○	○				○	◎		○												
数学	○	○	○	○					◎			○											
統計学	○	○	○	○					◎			○											
生命科学	○	○	○	○				○	◎														
A I ・ データサイエンス入門	○	○	○	○									◎	○									
自然地理学				○				○	○	◎													
情報リテラシー基礎	○	○	○	○									◎	○									
プログラミング入門	○	○	○	○									◎	○									
情報処理 II	○	○	○	○									◎	○								○	
健康とスポーツA	○	○	○	○				○						○		◎							
健康とスポーツB	○	○	○	○				○						○		◎							

授業科目	学科				DP1			DP2					DP3			DP4					DP5		
	子	心	健	G	①	②	③	①	②	③	④	⑤	①	②	③	①	②	③	④	⑤	①	②	③
子ども教育入門	○														◎	○	○	○	○				
子ども教育基礎演習 I ※	○														○	◎	○	○	○	○	○	○	○
子ども教育基礎演習 II ※	○														○	◎	○	○	○	○	○	○	○
子ども教育総合演習 I ※	○																				◎	○	○
子ども教育総合演習 II ※	○																				◎	○	○
子ども教育総合演習 III ※	○																				○	◎	○
子ども教育総合演習 IV ※	○																				○	◎	○
心理福祉基礎演習 I		○													◎	○	○	○	○				
心理福祉基礎演習 II		○													○	◎	○	○	○	○	○	○	○
心理福祉基礎演習 III		○													○	◎	○	○	○	○	○	○	○
心理福祉専門演習 I ※		○																			◎	○	○
心理福祉専門演習 II ※		○																			◎	○	○
心理福祉専門演習 III ※		○																			○	◎	○
心理福祉専門演習 IV ※		○																			○	◎	○
健康栄養基礎演習			○												○	◎	○	○	○	○	○	○	○
健康栄養研究法 I ※			○												○	○	○				◎	○	
健康栄養研究法 II ※			○												○	○	○				○	◎	○
グローバル・スタディーズ基礎演習				○																	◎	○	○
グローバル・スタディーズ総合演習 I ※				○																	○	◎	○
グローバル・スタディーズ総合演習 II ※				○																	○	◎	○
グローバル・スタディーズ総合演習 III ※				○																	○	◎	○
グローバル・スタディーズ総合演習 IV ※				○																	○	◎	○
卒業研究	○	○	○	○																	○	○	◎
保育表現演習	○																				◎	○	○
保育・教職実践演習 (幼稚園)	○																				◎	○	○

2024年度入学生 子ども教育学科 カリキュラム・マップ

【子ども教育学科】ディプロマ・ポリシー

DP1教育に関する様々な専門領域の学修を通じて、人間科学としての教育学の基礎を身につけている。（学校教育コース）

① 人間科学としての教育学の基礎

DP2小学校教諭・中学校教諭（英語）を目指す学生は、児童・生徒の成長・発達を支援する専門職として必要な知識・技能を身につけている。特に現代社会で不可欠なグローバルな視点を持ち、教育に携わる立場として十分な英語力を備えている。（学校教育コース）

① 児童・生徒の成長・発達の支援のための専門的知識と技能

② グローバルな視点と英語力

DP3社会人として必要なコミュニケーション能力、および職業人として必要な使命感や責任感を身につけ、実践できる能力がある。（学校教育コース）

① コミュニケーション能力

② 使命感と責任感に基づく実践力

DP4教育者の資質として必要な、子どもへの豊かな愛情とヒューマンイズムの精神を身につけ、それを発揮する力を備えている。（学校教育コース）

① 子どもへの豊かな愛情とヒューマンイズムの精神

② 総合的な活用力

DP5保育・幼児教育に関する専門領域の学修を通じて、人間科学としての保育学・幼児教育学の基礎を身につけている。（幼児教育コース）

① 人間科学としての保育学・幼児教育学の基礎

DP6保育士・幼稚園教諭を目指す学生は、子どもの成長・発達を支援する専門職として必要な知識・技能を身につけている。また、グローバルな視点を持ち、幼児英語教育に対応できる英語力を身につけている。（幼児教育コース）

① 子どもの成長・発達の支援のための専門的知識と技能

② グローバルな視点と英語力

DP7社会人として必要なコミュニケーション能力、および職業人として必要な使命感や責任感を身につけ、実践できる能力がある。（幼児教育コース）

① コミュニケーション能力

② 使命感と責任感に基づく実践力

DP8保育者、幼児教育者の資質として必要な、子どもへの豊かな愛情とヒューマンイズムの精神を身につけ、それを発揮する力を備えている。（幼児教育コース）

① 子どもへの豊かな愛情とヒューマンイズムの精神

② 総合的な活用力

授業科目	学校 教育	幼児 教育	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8
教育学概論 ※	○	○	◎	○		○	◎	○		○
保育学概論	○	○	◎	○		○	◎	○		○
子ども教育基礎演習Ⅰ ※	○	○	○		◎	○	○		◎	○
子ども教育基礎演習Ⅱ ※	○	○	○		◎	○	○		◎	○
子ども教育総合演習Ⅰ ※	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎
子ども教育総合演習Ⅱ ※	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎
子ども教育総合演習Ⅲ ※	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎
子ども教育総合演習Ⅳ ※	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎
卒業研究	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎	○
学校教育基礎演習A	○		○	○	◎	○				
学校教育基礎演習B	○		○	○	◎	○				
幼児教育基礎演習A		○					○	○	◎	○
幼児教育基礎演習B		○					○	○	◎	○
保育者論	○	○	○	◎	○	○	○	◎	○	○
教職論 ※	○		○	◎	○	○				
教育・学校心理学 ※	○	○	◎	○		○	◎	○		○
教育行政学 ※	○	○	◎	○		○	◎	○		○
特別支援教育論 ※	○	○	◎	○		○	◎	○		○
教育課程論 ※	○	○	◎	○		○	◎	○		○
教育方法論 ※	○	○	◎	○		○	◎	○		○
子どもの理解と援助		○					○	◎		○
教育とICT活用	○		○	◎		○				
生徒指導・進路指導論 ※	○		◎	○		○				
教育相談 ※	○		◎	○		○				
初等教科教育法（国語）	○		○	◎						
初等教科教育法（社会）	○		○	◎						
初等教科教育法（算数）	○		○	◎						
初等教科教育法（理科）	○		○	◎						
初等教科教育法（生活）	○		○	◎						
初等教科教育法（音楽）	○		○	◎						
初等教科教育法（図画工作）	○		○	◎						
初等教科教育法（家庭）	○		○	◎						
初等教科教育法（体育）	○		○	◎						
初等教科教育法（英語）	○		○	◎						
道徳教育の指導法 ※	○		○	◎						
総合的な学習の時間の指導法 ※	○		○	◎						
特別活動の指導法 ※	○		○	◎						
中等英語教育法Ⅰ ※	○		○	◎						
中等英語教育法Ⅱ ※	○		○	◎						
中等英語教育法Ⅲ ※	○		○	◎						
中等英語教育法Ⅳ ※	○		○	◎						
保育内容総論		○					○	◎		
保育内容（健康）		○					○	◎		
保育内容（人間関係）		○					○	◎		
保育内容（環境）		○					○	◎		
保育内容（言葉）		○					○	◎		
保育内容（表現（音楽））		○					○	◎		
保育内容（表現（造形））		○					○	◎		
保育内容（表現（身体））		○					○	◎		
指導法の研究		○					○	◎		
子どもと健康		○					○	◎		

授業科目	学校 教育	幼児 教育	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8
子どもと人間関係		○					○	◎		
子どもと環境		○					○	◎		
子どもと言葉		○					○	◎		
子どもと音楽		○					○	◎		
子どもと造形		○					○	◎		
教育実習の事前事後指導（小・中）A	○		○	○	◎	○				
教育実習の事前事後指導（小・中）B	○		○	○	◎	○				
教育実習（小・中）	○		○	○	◎	○				
教職実践演習（小・中）	○		○	○	◎	○				
教育実習の事前事後指導（幼稚園）A		○					○	○	◎	○
教育実習の事前事後指導（幼稚園）B		○					○	○	◎	○
教育実習（幼稚園）		○					○	○	◎	○
保育・教職実践演習（幼稚園）		○					○	○	◎	○
小学校国語	○		○	◎						
小学校社会	○		○	◎						
小学校算数	○		○	◎						
小学校理科	○		○	◎						
小学校生活	○		○	◎						
小学校音楽	○		○	◎						
ピアノⅠA	○	○	○	◎			○	◎		
ピアノⅠB	○	○	○	◎			○	◎		
ピアノⅡ	○	○	○	◎			○	◎		
声楽・器楽	○	○	○	◎			○	◎		
ピアノ入門A	○	○	○	◎			○	◎		
ピアノ入門B	○	○	○	◎			○	◎		
音楽入門	○	○	○	◎			○	◎		
造形入門	○	○	○	◎			○	◎		
小学校図画工作	○		○	◎						
小学校家庭	○		○	◎						
小学校体育	○		○	◎						
小学校英語	○		○	◎						
English Pronunciation ※	○		○	◎						
English Grammar	○		○	◎						
English Linguistics	○		○	◎						
イギリスの文学 ※	○		○	◎						
アメリカの文学 ※	○		○	◎						
英作文Ⅰ	○		○	◎						
英文講読Ⅰ	○		○	◎						
英会話Ⅰ	○		○	◎						
英作文Ⅱ	○		○	◎						
英文講読Ⅱ	○		○	◎						
英会話Ⅱ	○		○	◎						
比較文化論 ※	○		○	◎						
子ども家庭福祉		○					○	◎	○	○
社会的養護Ⅰ		○					○	◎	○	○
保育の心理学		○					○	◎	○	○
子ども家庭支援の心理学		○					○	◎	○	○
子どもの保健		○					○	◎	○	○
子どもの健康と安全		○					○	◎	○	○
子どもの食と栄養		○					○	◎	○	○
保育の計画と評価		○					○	◎	○	○

授業科目	学校 教育	幼児 教育	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8
乳児保育Ⅰ		○					○	◎	○	○
乳児保育Ⅱ		○					○	◎	○	○
障害児保育演習		○					○	◎	○	○
社会的養護Ⅱ		○					○	◎	○	○
子ども家庭支援論		○					○	◎	○	○
子育て支援		○					○	◎	○	○
保育実習Ⅰ		○					○	○	◎	○
保育実習指導ⅠA		○					○	○	◎	○
保育実習指導ⅠB		○					○	○	◎	○
保育実習Ⅱ		○					○	○	◎	○
保育実習指導Ⅱ		○					○	○	◎	○
子ども論 ※	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎
発達障害論 ※	○	○	○	◎	○	○	○	◎	○	○
教科教育研究演習	○		○	◎						
教科教育実践演習	○		○	◎						
保育表現演習		○					○	◎	○	○
子どもの食と栄養実習		○					○	◎	○	○
幼保こ小一貫教育論	○	○	○	◎	○	○	○	◎	○	○
小中一貫教育論	○		○	◎	○	○				
現代教育課題研究Ⅰ	○		○	◎						
現代教育課題研究Ⅱ	○		○	◎						
教育評価の理論と方法	○		○	◎						
プログラミング教育基礎演習	○	○	○	◎			○	◎		
障害者・障害児心理学 ※	○	○	○	◎		○	○	◎		○
発達心理学 ※	○	○		◎		○		◎		○
子どもの心理 ※	○	○		◎		○		◎		○
児童文学論 ※	○	○	◎	○			◎	○		
児童文化論 ※	○	○	◎	○			◎	○		
子どもと絵本	○	○		◎	○	○		◎	○	○
人権と教育	○	○		○	○	◎		○	○	◎
地域保育演習		○						○	◎	○
レクリエーション論 ※		○						◎	○	○
レクリエーション実習 ※		○						○	◎	○
英語発音入門		○					○	◎		
Listening Comprehension	○	○	○	◎			○	◎		
児童英語概論	○	○	○	◎			○	◎		
児童英語教授法演習	○	○	○	◎			○	◎		
STEP Preparation ※	○	○	○	◎			○	◎		
TOEIC Preparation I	○	○	○	◎			○	◎		
TOEIC Preparation II	○	○	○	◎			○	◎		
学校と地域社会教育実習	○		○	○	◎	○				
子どもと地域文化実習	○		○	○	◎	○				
児童英語海外教育研修	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎	○
比較教育体験実習	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎	○

2024年度入学生 心理福祉学科 カリキュラム・マップ

【心理福祉学科】ディプロマ・ポリシー

DP1 〈統合的な学習経験と創造的思考〉 人間と社会に対する関心と理解のもと、心理・福祉の専門性を以って人間と社会の課題を解決し、よりよい未来を創造する力を身につけている。

(学科共通)

- ① 人間と社会に対する関心と理解
- ② 人間や社会の課題を解決する力
- ③ 未来を切り開く創造力

DP2 〈汎用的知識と技術〉 他者との関わり合いの中で、自己と他者の力を互いに引き出し合いながら協調・協働する能力を身につけている。(学科共通)

- ① 自己の力を引き出す能力
- ② 他者と協調・協働する能力

DP3 〈態度・志向性〉 心理学・社会福祉学を学ぶことを通して、多様な価値観を理解し、物事を客観的にとらえる態度と人に対する倫理的配慮を身につけている(学科共通)

- ① 多様な価値観の理解
- ② 客観的態度
- ③ 倫理的配慮

DP4 〈専門的知識と技術〉 心理学の多様な視点(生理・認知・社会)から、人の心のはたらきと行動を科学的に理解するための知識を身につけ、現代社会の様々な問題にそれらを応用することができる。(心理コース)

- ① 心理学の様々な領域の専門的知識
- ② 心理学の多様な視点
- ③ 心理学的知識の応用力

DP5 〈汎用的知識と技術〉 人間理解のための科学的な研究の方法や結果の解釈の方法を身につけ、その内容を適切に報告したり議論したりすることができる。(心理コース)

- ① 基本的な科学的研究法
- ② 統計の技術
- ③ レポートにまとめる力
- ④ 科学的なプレゼンテーション・コミュニケーション能力

DP6 〈汎用的知識と技術〉 社会の安定と個人の幸福とは何かを追求するために必要となる、社会福祉に関連する総合的な知識と論理的な思考と考察を行う技術を身につけている。(福祉コース・一般)

- ① 社会福祉に関する総合的な知識
- ② 量的研究法と質的研究法に関する基礎知識

③ プレゼンテーションと論文を書く力

DP7〈専門的知識と技術〉 社会福祉学の専門的な知識を踏まえ、マイクロ・メゾ・マクロレベルのソーシャルワークの展開ができる態度と能力を身につけている。（福祉コース・専門）

① 社会福祉学に関する総合的な理解と専門知識の習得

② ソーシャルワークに関する総合的な理解（理論と技術と価値）と実践能力

授業科目	DP1			DP2		DP3			DP4			DP5				DP6			DP7		
	①	②	③	①	②	①	②	③	①	②	③	①	②	③	④	①	②	③	①	②	
心理福祉入門	◎					○			○							○					
心理福祉専門演習Ⅰ ※		◎														○			○		
心理福祉専門演習Ⅱ ※		◎														○			○		
心理福祉専門演習Ⅲ ※		◎														○			○		
心理福祉専門演習Ⅳ ※			◎													○			○		
卒業研究			◎													○			○		
心理学概論 ※	○					○			◎	○											
心理学基礎論	○					○			○	◎											
社会福祉の原理と政策Ⅰ	○					○												◎			
社会福祉の原理と政策Ⅱ	○																	◎			
心理学統計法Ⅰ						○						○	◎								
心理学統計法Ⅱ						○						○	◎								
心理調査概論												◎	○								
心理学研究法A(観察法・実験法)												◎	○	○	○						
心理学研究法B(調査法・面接法)												◎	○	○	○						
心理的アセスメント						○	○	○	◎	○											
心理学基礎演習Ⅰ(論文講読)									○	◎			○	○							
心理学基礎演習Ⅱ(英文講読)													○	◎							
心理学実験Ⅰ												◎	○	○							
心理学実験Ⅱ												◎	○	○							
心理査定実習						○	○	○	○	○	◎	○		○	○						
公認心理師の職責	○								◎	○	○										
知覚・認知心理学	○								◎	○	○										
学習・言語心理学	○								◎	○	○										
神経・生理心理学Ⅰ	○								◎	○	○										
神経・生理心理学Ⅱ	○								◎	○	○										
発達心理学 ※	○								◎	○	○										
子どもの心理 ※	○								◎	○	○										
青年・成人の心理	○								◎	○	○										
高齢者の心理と支援	○								◎	○	○										
教育・学校心理学 ※	○								◎	○	○										
臨床心理学概論	○								◎	○	○										
感情・人格心理学	○								◎	○	○										
健康・医療心理学	○								◎	○	○										
心理学的支援法(講義)									○	○	◎			○	○						
心理学的支援法(演習)									○	○	◎			○	○						
障害者・障害児心理学 ※	○								◎	○	○										
福祉心理学	○								◎	○	○										
司法・犯罪心理学	○								◎	○	○										
社会・集団・家族心理学A(社会心理学)	○								◎	○	○										
社会・集団・家族心理学B(家族心理学)	○								◎	○	○										
産業・組織心理学	○								◎	○	○										
生活と健康A		◎				○															
生活と健康B		◎				○															
生活と健康C	○	◎																			
生活と健康D		◎				○															
コミュニケーション論 ※	○			◎	○																
心理演習Ⅰ		○				○	○	○	○	○	◎			○	○						
心理演習Ⅱ		○				○	○	○	○	○	◎			○	○						
心理実習			○			○	○	○	○	○	◎			○	○						
社会保障Ⅰ	○																	◎			○

授業科目	DP1			DP2		DP3			DP4			DP5				DP6			DP7	
	①	②	③	①	②	①	②	③	①	②	③	①	②	③	④	①	②	③	①	②
社会保障Ⅱ	○															◎			○	
地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	○															◎			○	
地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	○															◎			○	
ソーシャルワークの基盤と専門職						○										○			◎	○
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)						○										○			○	◎
精神保健福祉の原理Ⅰ	○					○										◎			○	
精神保健福祉の原理Ⅱ	○					○										◎			○	
児童・家庭福祉		○				○										◎			○	
高齢者福祉		○				○										◎			○	
貧困に対する支援		○				○										◎			○	
障害者福祉		○				○										◎			○	
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ																○			◎	○
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ																○			◎	○
ソーシャルワーク論Ⅰ																○			◎	○
ソーシャルワーク論Ⅱ																○			◎	○
ソーシャルワークの理論と方法(専門)A																○			◎	○
ソーシャルワークの理論と方法(専門)B																○			◎	○
権利擁護を支える法制度	○															○			◎	
保健医療と福祉	○															○			◎	
社会調査論	○							○									◎			
福祉サービスの組織と経営	○															○			◎	
刑事司法と福祉	○															○			◎	
ソーシャルワーク演習		○				○	○	○								◎		○	○	○
ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ		○				○	○	○										○	○	◎
ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ		○				○	○	○										○	○	◎
ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ		○				○	○	○										○	○	◎
社会福祉援助技術実習			○			○	○	○										○	○	◎
社会福祉援助技術実習指導Ⅰ			○			○	○	○										○	○	◎
社会福祉援助技術実習指導Ⅱ			○			○	○	○										○	○	◎
現代の精神保健の課題と支援Ⅰ		○														○			◎	
現代の精神保健の課題と支援Ⅱ		○														○			◎	
精神疾患とその治療Ⅰ	○	◎				○										○			○	
精神疾患とその治療Ⅱ	○	◎				○										○			○	
精神障害リハビリテーション論	○															○			◎	
精神保健福祉制度論		○														○			◎	
精神保健福祉援助演習(基礎)		○				○	○	○								○		○	○	◎
精神保健福祉援助演習Ⅰ		○				○	○	○								○		○	○	◎
精神保健福祉援助演習Ⅱ		○				○	○	○								○		○	○	◎
精神保健福祉援助実習			○			○	○	○								○		○	○	◎
精神保健福祉援助実習指導Ⅰ			○			○	○	○					○			○		○	○	◎
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ			○			○	○	○					○			○		○	○	◎
人体の構造と機能及び疾病	◎								○							○				
社会学 ※	◎					○														
関係行政論	◎								○	○										
社会福祉研究法								○	○									◎	○	
社会福祉研究法演習								○	○									○	◎	
専門職連携セミナー		◎	○	○	○	○					○									○
コミュニケーション演習				○	◎	○														
レクリエーション論 ※		◎		○	○															
レクリエーション演習		◎		○	○															
レクリエーション実習 ※		○	◎	○	○															

授業科目	DP1			DP2		DP3			DP4			DP5				DP6			DP7		
	①	②	③	①	②	①	②	③	①	②	③	①	②	③	④	①	②	③	①	②	
質的調査法		◎													○	○		○	○		
社会調査実習		◎													○	○		○	○		
国際福祉論 I																		◎			○
国際福祉論 II																		◎			○
心理福祉国際体験実習	○				◎	○															
国際福祉フィールドワーク		○	○		◎	○											○				
国際協力・援助論 ※	○	◎				○															
国際経済開発論 ※	○	◎				○															
国際経済学 ※	◎	○				○															
発達障害論 ※	○	○				○			◎	○	○										
社会病理学 ※	◎	○				○															

授業科目	DP1			DP2		DP3			DP4			DP5				DP6			DP7		
	①	②	③	①	②	①	②	③	①	②	③	①	②	③	④	①	②	③	①	②	
教職論 ※	◎																				
教育行政学 ※	◎																				
特別支援教育論 ※	○	◎				○					○										
中等社会教育法Ⅲ（社会・公民） ※	○	◎									○										
中等社会教育法Ⅳ（社会・公民） ※	○	◎									○										
教育課程論 ※	◎																				
特別活動の指導法 ※	○	◎																			
総合的な学習の時間の指導法 ※	○	◎																			
教育相談 ※	○	◎				○					○										
教育方法論 ※	○	◎									○										
生徒指導・進路指導論 ※	○	◎				○					○										
教育実習の事前事後指導 ※			◎			○	○				○										
教育実習Ⅱ ※			◎			○	○				○										
教職実践演習（中・高） ※			◎																		

2024年度入学生 健康栄養学科 カリキュラム・マップ

【健康栄養学科】ディプロマ・ポリシー

DP1 〈汎用的知識と技術〉 人間の食行動と食環境を把握しエビデンスに基づく基準に照らして、健康・栄養課題への支援や対策の実践的方法の基礎を身に付ける。

- ①多様な価値観や社会の構造を理解し、円滑なコミュニケーションを図れる。
- ②健康・栄養に関わる社会制度や法規を理解し、公衆栄養活動の実践ができる。
- ③健常者、傷病者、要介護者、障がい者等に対する栄養管理の実践ができる。

DP2 〈専門的知識と技術〉 健康や食に関する多種の専門分野から得意分野を併せ持った管理栄養士としての自覚を持つことができる。

- ①管理栄養士としての基本的な資質・能力を身につけている。
- ②栄養管理の実践のために必要な基礎科学を身につけている。
- ③社会環境における集団の栄養管理に必要な疫学の知識・技術を身につけている。

DP3 〈態度・志向性〉 ヒューマニズムと倫理観を持って社会に貢献し、人々との信頼関係（または、良好な人間関係）を築く素養を身に付ける。

- ①管理栄養士に求められる倫理観や使命感について理解している。
- ②人々のQOL向上をめざし、健康の維持・増進、疾病の予防・治療に貢献する意欲がある。
- ③主体性を持って多様な人々と協働して学べる態度を身につけている。
- ④様々な問題に対して、正しい判断ができ、責任ある行動をとることができる。

DP4 〈統合的な学習経験と創造的思考〉 人の健康と栄養および出兵の成り立ちに関する専門基礎知識を身に付けている。

- ①大学で学んだことを総合的に活用し、様々な問題点を把握し、その解決法を創造できる。
- ②栄養の専門職として誇りを持ち、生涯にわたり学び続ける意欲・計画を持っている。
- ③自らが生涯に渡って取り組みたい栄養学的研究テーマをもっている。

授業科目	DP1			DP2			DP3				DP4		
	①	②	③	①	②	③	①	②	③	④	①	②	③
健康栄養論				○			◎						
健康栄養研究法Ⅰ ※											○	○	◎
健康栄養研究法Ⅱ ※											○	○	◎
卒業研究											○	○	◎
管理栄養演習Ⅰ											◎	○	○
管理栄養演習Ⅱ											◎	○	○
管理栄養演習Ⅲ											◎	○	○
栄養疫学		○				○		◎					
栄養と身体活動		○				○		◎					
公衆衛生学		◎				○		○					
衛生法規		◎				○		○					
健康管理概論		◎				○		○					
社会保障論		◎				○		○					
有機化学				○	◎								
生化学Ⅰ				○	◎								
生化学Ⅱ				○	◎								
生化学実験				○	◎								
微生物学				○	◎								
解剖生理学Ⅰ				◎				○					
解剖生理学Ⅱ				◎				○					
解剖生理学実験Ⅰ				◎				○					
解剖生理学実験Ⅱ				◎				○					
病気と栄養Ⅰ				◎				○					
病気と栄養Ⅱ				◎				○					
食品学Ⅰ				○	◎								
食品学Ⅱ				○	◎								
食品機能論				○	◎								
食品学実験Ⅰ				○	◎								
食品学実験Ⅱ				○	◎								
食品加工学				○	◎								
食品加工学実習				○	◎								
食品衛生学				○	◎								
食品衛生学実験				○	◎								
食事設計論					○			◎	○				
調理科学					○			◎	○				
調理学実習Ⅰ					○			◎	○				
調理学実習Ⅱ					○			◎	○				
調理学実験					○			◎	○				
基礎栄養学				○	○								
基礎栄養学実験				○	○								
応用栄養学Ⅰ			◎		○								
応用栄養学Ⅱ			◎		○								
応用栄養学実習			◎		○								
スポーツ科学と栄養			◎		○								
栄養教育論Ⅰ	◎			○		○							
栄養教育論Ⅱ	◎			○		○							
栄養教育論実習	◎			○		○							
栄養カウンセリング論	◎			○		○							
臨床栄養学Ⅰ			○		○							◎	
臨床栄養学Ⅱ			○		○							◎	
臨床栄養学実習Ⅰ			○		○							◎	

授業科目	DP1			DP2			DP3				DP4		
	①	②	③	①	②	③	①	②	③	④	①	②	③
臨床栄養学実習Ⅱ			○		○					◎			
栄養アセスメント			○		○					◎			
栄養療法			○		○					◎			
公衆栄養学Ⅰ		○				◎		○					
公衆栄養学Ⅱ		○				◎		○					
公衆栄養学実習		○				◎		○					
給食経営管理Ⅰ								○	◎	○			
給食経営管理Ⅱ								○	◎	○			
給食経営管理実習								○	◎	○			
総合演習Ⅰ											○	◎	○
総合演習Ⅱ											○	◎	○
臨地実習指導（給食経営管理論）	○			○					◎	○			
臨地実習指導（臨床栄養学）	○			○					◎	○			
臨地実習指導（公衆栄養学）	○			○					◎	○			
給食経営管理論臨地実習Ⅰ	○			○					○	◎			
給食経営管理論臨地実習Ⅱ	○			○					○	◎			
臨床栄養学臨地実習Ⅰ	○			○					○	◎			
臨床栄養学臨地実習Ⅱ	○			○					○	◎			
公衆栄養学臨地実習	○			○					○	◎			
食事介助演習			◎	○									
食品開発論				○	◎								
フードシステム論				○	◎								
フードコーディネーター論				○	◎								
フードスペシャリスト論				○	◎								
食品の官能評価・鑑別論				○	◎								
学校栄養教育論	○						◎			○			
学校栄養教育法	○						◎			○			

授業科目	DP1			DP2			DP3				DP4		
	①	②	③	①	②	③	①	②	③	④	①	②	③
教職論							○				◎		
教育・学校心理学	○			◎			○						
教育行政学		◎					○						
特別支援教育論			◎				○						
教育課程論						◎	○						
道徳教育の指導法				◎			○						
特別活動の指導法			○				○		◎				
総合的な学習の時間の指導法							○			○		◎	
教育相談	◎						○	○					
教育方法論							○			◎			
生徒指導論	○						○		○				◎
学校栄養教育実習の事前事後指導						◎	○					○	
学校栄養教育実習	○				○		◎					○	
教職実践演習（栄養）	○				○		○	◎				○	

2024年度入学生 グローバル・スタディーズ学科 カリキュラム・マップ

【グローバル・スタディーズ学科】ディプロマ・ポリシー

DP1 〈普遍的知識と教養〉 グローバル社会における複雑な構造やシステムおよび多様な文化的事象を理解するために必要な専門的知識を身につけ、豊かな教養を備えている。

- ① グローバル社会についての幅広い教養
- ② 現代社会の諸問題に関する幅広い教養

DP2 〈汎用的知識と技術〉 グローバル時代に活躍するために必要な日本語表現能力、情報処理の基礎技能を有し、キャリアについての基本的知識とアプローチの方法を理解している。

- ① 日本語リテラシーおよびコミュニケーション・スキル
- ② 情報処理能力
- ③ キャリア形成のための知識

DP3 〈専門的知識と技術〉 英語をはじめとする外国語の運用能力や実践的コミュニケーション能力を身につけ、その言語を育んだ文化的背景と歴史的意義を理解している。

- ① 外国語リテラシーおよびコミュニケーション・スキル
- ② 英語圏および東アジアの文化や歴史に関する専門的知識の修得

DP4 〈統合的な学習経験と創造的思考〉 グローバル社会・文化の理解と同時に、自らの枠にとらわれない客観的な判断力を持ち、問題解決のための創造力や行動力を有する。

- ① 知識・技能・態度の総合的な活用力
- ② 問題解決力
- ③ 創造的思考力

授業科目	DP1		DP2			DP3		DP4		
	①	②	①	②	③	①	②	①	②	③
English IA						◎		○		
English IB						◎		○		
English IIA						◎		○		
English IIB						◎		○		
English IIIA						◎		○		
English IIIB						◎		○		
English IVA						◎		○		
English IVB						◎		○		
グローバル・スタディーズ総合演習Ⅰ ※	○	○						○	◎	○
グローバル・スタディーズ総合演習Ⅱ ※	○	○						○	◎	○
グローバル・スタディーズ総合演習Ⅲ ※	○	○						○	○	◎
グローバル・スタディーズ総合演習Ⅳ ※	○	○						○	○	◎
卒業研究								○	○	◎
比較文化論 ※	○	○					◎			
ヨーロッパの歴史と文化Ⅰ	○	○					◎			
ヨーロッパの歴史と文化Ⅱ	○	○					◎			
アメリカの歴史と文化Ⅰ	○	○					◎			
アメリカの歴史と文化Ⅱ	○	○					◎			
イギリスの文学 ※	○						◎			
アメリカの文学 ※	○						◎			
児童文学論 ※	○						◎			
言語文化論Ⅰ	○						◎			
言語文化論Ⅱ	○						◎			
アジアの歴史と文化Ⅰ	○	○					◎			
アジアの歴史と文化Ⅱ	○	○					◎			
アジアの歴史と文化Ⅲ	○	○					◎			
日本の社会と文学		○	○				◎			
日本語と日本文化		○	◎				○			
東北の伝統と文化		○					◎			
イスラム社会と文化	◎	○					○			
多文化社会論	○	◎					○		○	
国際関係論 ※	◎	○					○		○	
国際協力・援助論 ※	◎	○					○			
国際平和論Ⅰ	◎	○					○			
国際平和論Ⅱ	◎	○					○			
家族の社会学	○	◎							○	
社会病理学 ※	○	◎							○	
生涯学習支援論		○			◎			○		
学習社会と市民活動支援論		○			◎			○		
現代社会と法		◎						○	○	
人文地理学Ⅰ							◎	○		
人文地理学Ⅱ							◎	○		
地誌							◎	○		
経営学概論	○	◎						○		
国際経済学 ※	○	◎								
国際経済開発論 ※	○	○							◎	
情報社会と倫理 ※	○	◎								
生涯学習論Ⅰ		○			◎			○		
生涯学習論Ⅱ		○			◎			○		
社会教育経営論Ⅰ		○			○			◎		
社会教育経営論Ⅱ		○			○			◎		

授業科目	DP1		DP2			DP3		DP4		
	①	②	①	②	③	①	②	①	②	③
ビジネス法規		◎			○			○		
国際ビジネス論	○	◎								
マーケティング論		◎						○	○	
ビジネス実務総論	○	◎						○		
ビジネス・イングリッシュ					○	◎				
コンピュータ活用演習A				◎	○			○		
コンピュータ活用演習B				◎	○			○		
国際観光論	○				◎		○			
観光ホスピタリティ	○				◎		○			
観光の社会学	○	◎					○	○		
ビジネス実務		○	◎		○					
ビジネス実務総合演習		○	◎		○					
会計学演習				○	◎			○		
ビジネス文書			◎	○				○		
国際プロトコール			◎	○				○		
応用文書処理演習				◎	○			○		
応用表計算演習				◎	○			○		
ITパスポート I				◎	○			○		
ITパスポート II				◎	○			○		
トラベル実務					◎		○	○		
観光ガイド英語					○	◎		○		
日本語教育研究 I			◎		○			○		
日本語教育研究 II			◎		○			○		
日本語教育法 I			◎		○			○		
日本語教育法 II			◎		○			○		
児童英語教育法					○	◎		○		
児童英語教育演習					○	◎		○		
異文化体験	○					◎	○			
グローバル・インターンシップ	○				◎	○			○	
インターンシップ・リテラシー I		○			◎				○	
インターンシップ・リテラシー II		○			◎				○	
フィールド・スタディ論		○		○				◎	○	
フィールド・スタディ I		○		○				○	○	◎
フィールド・スタディ II		○		○				◎	○	○
NPO・NGO・社会教育インターンシップ		○		○					◎	
日本語教育実習			◎		○			○		
児童英語教育実習					○	◎		○		
プレゼンテーション演習 I			◎		○					○
プレゼンテーション演習 II			◎		○					○
English Pronunciation ※					○	◎		○		
Oral English I						◎		○		
Oral English II						◎		○		
Oral English III						◎		○		
Oral English IV						◎		○		
English Grammar						◎		○		
TOEIC Preparation I					○	◎		○		
TOEIC Preparation II					○	◎		○		
STEP Preparation ※					○	◎		○		
English Writing					○	◎		○		
Media English		○				◎		○		
Advanced Reading						◎		○		

授業科目	DP1		DP2			DP3		DP4		
	①	②	①	②	③	①	②	①	②	③
English Tutorial I						◎		○		
English Tutorial II						◎		○		
中国語コミュニケーションI						◎	○	○		
中国語コミュニケーションII						◎	○	○		
中国語コミュニケーションIII						◎	○	○		
中国語コミュニケーションIV						◎	○	○		
中国語演習I						◎	○	○		
中国語演習II						◎	○	○		
韓国語コミュニケーションI						◎	○	○		
韓国語コミュニケーションII						◎	○	○		
韓国語コミュニケーションIII						◎	○	○		
韓国語コミュニケーションIV						◎	○	○		
韓国語演習I						◎	○	○		
韓国語演習II						◎	○	○		
日本語学 I			◎		○			○		
日本語学 II			◎		○			○		
日本語学 III			◎		○			○		
日本語学 IV			◎		○			○		
教職論 ※		○			◎			○		
教育・学校心理学 ※		○			◎			○		
教育行政学 ※		○			◎			○		
特別支援教育論 ※		○			◎			○		
教育課程論 ※		○			◎			○		
道徳教育の指導法 ※					◎			○		○
総合的な学習の時間の指導法 ※					◎			○		○
特別活動の指導法 ※					◎			○		○
教育相談 ※					◎			○	○	
教育方法論 ※		○			◎			○		
生徒指導・進路指導論 ※					◎			○		○
教職実践演習（中・高） ※					◎			○	○	
教育実習の事前事後指導 ※					◎			○	○	
教育実習 I					◎			○	○	
教育実習 II ※					◎			○	○	
中等英語教育法 I ※					◎	○		○		
中等英語教育法 II ※					◎	○		○		
中等英語教育法 III ※					◎	○		○		
中等英語教育法 IV ※					◎	○		○		
中等社会教育法 I（社会）		○			◎			○		
中等社会教育法 II（社会）		○			◎			○		
中等社会教育法 III（社会・公民） ※		○			◎			○		
中等社会教育法 IV（社会・公民） ※		○			◎			○		

【人間学部】ディプロマ・ポリシー

DP1〈建学の精神の理解〉 イエス・キリストによる福音と、その福音的価値観に基づく「人間の尊厳」について理解する。現代社会の諸問題をキリスト教の精神に照らして総合的に理解し、その解決に向けて具体的行動を起こすことができる。

- ① キリスト教的人間観・世界観の理解
- ② キリスト教の精神に基づく現代社会の諸問題の理解
- ③ 課題解決に向けた具体的行動

DP2〈普遍的知識と教養〉 人間や社会、自然、環境に関する幅広い教養、自国と異文化への理解、女性が自律的に生きるための素地を身につけている。

- ① 人間に関する幅広い教養
- ② 社会に関する幅広い教養
- ③ 自然・環境に関する幅広い教養
- ④ 自国と異文化への理解
- ⑤ 女性が自律的に生きるための素地

DP3〈汎用的知識と技術〉 社会人・職業人にとって必要な言語力、コミュニケーション・スキル、情報を扱う技術、キャリア形成に資する知識を身につけている。

- ① 日本語および外国語でのコミュニケーション・スキル
- ② 情報処理能力
- ③ キャリア形成のための知識

DP4〈態度・志向性〉 多様な人々と対話し、協働し、社会に貢献するために自分自身で考え、積極的に行動することができる。

- ① 多様な人々と対話し、協働する力
- ② 社会に貢献するために自分自身で考え、積極的に行動する力
- ③ 自律性・主体性
- ④ 自分と異なる他者への共感力
- ⑤ 人間への関心

DP5〈統合的な学習経験と創造的思考力〉 獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた課題を掘り下げ、調査、研究して課題を解決することができる。

- ① 知識・技能・態度の総合的な活用力
- ② 創造的思考力
- ③ 課題発見・解決力

授業科目	学科				DP1					DP2					DP3			DP4					DP5		
	子	心	健	G	①	②	③	①	②	③	④	⑤	①	②	③	①	②	③	④	⑤	①	②	③		
キリスト教学ⅠA	○	○	○	○	◎	○	○												○						
キリスト教学ⅠB	○	○	○	○	◎	○	○												○						
キリスト教学Ⅱ	○	○	○	○	◎	○	○												○						
人間論	○	○	○	○	○	◎	○	○												○					
英語Ⅰ	○	○	○							○		◎													
英語Ⅱ	○	○	○							○		◎													
オーラル・コミュニケーションⅠ	○	○	○							○		◎													
オーラル・コミュニケーションⅡ	○	○	○							○		◎													
フランス語ⅠA	○	○	○	○						○		◎													
フランス語ⅠB	○	○	○	○						○		◎													
フランス語ⅡA	○	○	○	○						○		◎													
フランス語ⅡB	○	○	○	○						○		◎													
ドイツ語ⅠA	○	○	○	○						○		◎													
ドイツ語ⅠB	○	○	○	○						○		◎													
ドイツ語ⅡA	○	○	○	○						○		◎													
ドイツ語ⅡB	○	○	○	○						○		◎													
スペイン語ⅠA	○	○	○	○						○		◎													
スペイン語ⅠB	○	○	○	○						○		◎													
スペイン語ⅡA	○	○	○	○						○		◎													
スペイン語ⅡB	○	○	○	○						○		◎													
中国語ⅠA	○	○	○	○						○		◎													
中国語ⅠB	○	○	○	○						○		◎													
中国語ⅡA	○	○	○	○						○		◎													
中国語ⅡB	○	○	○	○						○		◎													
韓国語ⅠA	○	○	○	○						○		◎													
韓国語ⅠB	○	○	○	○						○		◎													
韓国語ⅡA	○	○	○	○						○		◎													
共通基礎演習	○	○	○	○											◎	○	○	○	○	○	○	○	○		
日本語表現Ⅰ	○	○	○	○						○		◎													
日本語表現Ⅱ	○	○	○	○						○		◎													
キャリア・デザインⅠ	○	○	○	○											◎		○								
キャリア・デザインⅡ	○	○	○	○											◎		○								
キャリア・デザインⅢ	○	○	○	○											○	○	◎	○			○	○	○		
哲学（東洋哲学を含む）	○	○	○	○						◎	○														
文学	○	○	○	○						◎		○													
宗教と文学	○	○	○	○	○					◎		○													
宗教と音楽	○	○	○	○	○					◎		○													
宗教と美術	○	○	○	○	○					◎		○													
宗教学	○	○	○	○	○					◎		○													
日本史Ⅰ	○	○	○	○						◎	○	○													
日本史Ⅱ		○	○	○						◎	○	○													
外国史Ⅰ	○	○	○	○						◎	○	○													
外国史Ⅱ		○	○	○						◎	○	○													
心理学概論 ※	○		○	○						◎	○								○	○					
子どもの心理 ※				○						◎	○								○	○					
子ども論 ※				○						◎	○	○							○	○					
児童文化論 ※				○						◎		○							○	○					
情報社会と倫理 ※	○									○					◎				○						
コミュニケーション論 ※	○			○						○					◎				○	○					
食文化論			○	○						○		◎													
食と健康の英語			○							○		◎													

授業科目	学科				DP1			DP2					DP3			DP4					DP5		
	子	心	健	G	①	②	③	①	②	③	④	⑤	①	②	③	①	②	③	④	⑤	①	②	③
ジェンダー論	○	○	○	○				○	○			◎			○	○	○	○	○				
経済学	○	○	○	○					◎			○											
国際関係論 ※	○	○	○						◎		○				○								
社会福祉学	○		○	○				○	◎						○			○	○				
法学	○	○	○	○					◎														
日本国憲法	○	○	○	○					◎														
教育学概論 ※		○	○	○				○	◎											○			
社会学概論				○				○	◎		○												
社会学 ※	○		○					○	◎		○												
政治学		○		○					◎														
消費生活論			○						◎		○												
環境科学	○	○	○	○				○	◎						○								
健康科学	○	○	○	○				○	◎		○												
数学	○	○	○	○					◎			○											
統計学	○	○	○	○					◎			○											
生命科学	○	○	○	○				○	◎														
情報科学	○	○	○	○								◎	○										
自然地理学				○				○	○	◎													
情報処理概論	○	○	○	○								◎	○										
情報処理 I	○	○	○	○								◎	○										
情報処理 II	○	○	○	○								◎	○									○	
健康とスポーツA	○	○	○	○				○						○		◎							
健康とスポーツB	○	○	○	○				○						○		◎							

授業科目	学科				DP1			DP2					DP3			DP4					DP5		
	子	心	健	G	①	②	③	①	②	③	④	⑤	①	②	③	①	②	③	④	⑤	①	②	③
子ども教育入門	○														◎	○	○	○	○				
子ども教育基礎演習 I ※	○														○	◎	○	○	○	○	○	○	○
子ども教育基礎演習 II ※	○														○	◎	○	○	○	○	○	○	○
子ども教育総合演習 I ※	○																				◎	○	○
子ども教育総合演習 II ※	○																				◎	○	○
子ども教育総合演習 III ※	○																				○	◎	○
子ども教育総合演習 IV ※	○																				○	◎	○
心理福祉基礎演習 I		○													◎	○	○	○	○				
心理福祉基礎演習 II		○													○	◎	○	○	○	○	○	○	○
心理福祉基礎演習 III		○													○	◎	○	○	○	○	○	○	○
心理福祉専門演習 I ※		○																			◎	○	○
心理福祉専門演習 II ※		○																			◎	○	○
心理福祉専門演習 III ※		○																			○	◎	○
心理福祉専門演習 IV ※		○																			○	◎	○
健康栄養基礎演習			○												○	◎	○	○	○	○	○	○	○
健康栄養研究法 I ※			○												○	○	○				◎	○	
健康栄養研究法 II ※			○												○	○	○				○	◎	○
グローバル・スタディーズ基礎演習				○																	◎	○	○
グローバル・スタディーズ総合演習 I ※				○																	○	◎	○
グローバル・スタディーズ総合演習 II ※				○																	○	◎	○
グローバル・スタディーズ総合演習 III ※				○																	○	◎	○
グローバル・スタディーズ総合演習 IV ※				○																	○	◎	○
卒業研究	○	○	○	○																	○	○	◎

2023年度入学生 子ども教育学科 カリキュラム・マップ

【子ども教育学科】ディプロマ・ポリシー

DP1教育に関する様々な専門領域の学修を通じて、人間科学としての教育学の基礎を身につけている。（学校教育コース）

① 人間科学としての教育学の基礎

DP2小学校教諭・中学校教諭（英語）を目指す学生は、児童・生徒の成長・発達を支援する専門職として必要な知識・技能を身につけている。特に現代社会で不可欠なグローバルな視点を持ち、教育に携わる立場として十分な英語力を備えている。（学校教育コース）

① 児童・生徒の成長・発達の支援のための専門的知識と技能

② グローバルな視点と英語力

DP3社会人として必要なコミュニケーション能力、および職業人として必要な使命感や責任感を身につけ、実践できる能力がある。（学校教育コース）

① コミュニケーション能力

② 使命感と責任感に基づく実践力

DP4教育者の資質として必要な、子どもへの豊かな愛情とヒューマニズムの精神を身につけ、それを発揮する力を備えている。（学校教育コース）

① 子どもへの豊かな愛情とヒューマニズムの精神

② 総合的な活用力

DP5保育・幼児教育に関する専門領域の学修を通じて、人間科学としての保育学・幼児教育学の基礎を身につけている。（幼児教育コース）

① 人間科学としての保育学・幼児教育学の基礎

DP6保育士・幼稚園教諭を目指す学生は、子どもの成長・発達を支援する専門職として必要な知識・技能を身につけている。また、グローバルな視点を持ち、幼児英語教育に対応できる英語力を身につけている。（幼児教育コース）

① 子どもの成長・発達の支援のための専門的知識と技能

② グローバルな視点と英語力

DP7社会人として必要なコミュニケーション能力、および職業人として必要な使命感や責任感を身につけ、実践できる能力がある。（幼児教育コース）

① コミュニケーション能力

② 使命感と責任感に基づく実践力

DP8保育者、幼児教育者の資質として必要な、子どもへの豊かな愛情とヒューマニズムの精神を身につけ、それを発揮する力を備えている。（幼児教育コース）

① 子どもへの豊かな愛情とヒューマニズムの精神

② 総合的な活用力

授業科目	学校 教育	幼児 教育	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8
教育学概論 ※	○	○	◎	○		○	◎	○		○
保育学概論	○	○	◎	○		○	◎	○		○
子ども教育基礎演習Ⅰ ※	○	○	○		◎	○	○		◎	○
子ども教育基礎演習Ⅱ ※	○	○	○		◎	○	○		◎	○
子ども教育総合演習Ⅰ ※	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎
子ども教育総合演習Ⅱ ※	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎
子ども教育総合演習Ⅲ ※	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎
子ども教育総合演習Ⅳ ※	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎
卒業研究	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎	○
学校教育基礎演習A	○		○	○	◎	○				
学校教育基礎演習B	○		○	○	◎	○				
幼児教育基礎演習A		○					○	○	◎	○
幼児教育基礎演習B		○					○	○	◎	○
保育者論	○	○	○	◎	○	○	○	◎	○	○
教職論 ※	○		○	◎	○	○				
教育・学校心理学 ※	○	○	◎	○		○	◎	○		○
教育行政学 ※	○	○	◎	○		○	◎	○		○
特別支援教育論 ※	○	○	◎	○		○	◎	○		○
教育課程論 ※	○	○	◎	○		○	◎	○		○
教育方法論 ※	○	○	◎	○		○	◎	○		○
子どもの理解と援助		○					○	◎		○
教育とICT活用	○		○	◎		○				
生徒指導・進路指導論 ※	○		◎	○		○				
教育相談 ※	○		◎	○		○				
初等教科教育法（国語）	○		○	◎						
初等教科教育法（社会）	○		○	◎						
初等教科教育法（算数）	○		○	◎						
初等教科教育法（理科）	○		○	◎						
初等教科教育法（生活）	○		○	◎						
初等教科教育法（音楽）	○		○	◎						
初等教科教育法（図画工作）	○		○	◎						
初等教科教育法（家庭）	○		○	◎						
初等教科教育法（体育）	○		○	◎						
初等教科教育法（英語）	○		○	◎						
道德教育の指導法 ※	○		○	◎						
総合的な学習の時間の指導法 ※	○		○	◎						
特別活動の指導法 ※	○		○	◎						
中等英語教育法Ⅰ ※	○		○	◎						
中等英語教育法Ⅱ ※	○		○	◎						
中等英語教育法Ⅲ ※	○		○	◎						
中等英語教育法Ⅳ ※	○		○	◎						
保育内容総論		○					○	◎		
保育内容（健康）		○					○	◎		
保育内容（人間関係）		○					○	◎		
保育内容（環境）		○					○	◎		
保育内容（言葉）		○					○	◎		
保育内容（表現（音楽））		○					○	◎		
保育内容（表現（造形））		○					○	◎		
保育内容（表現（身体））		○					○	◎		
指導法の研究		○					○	◎		
子どもと健康		○					○	◎		

授業科目	学校 教育	幼児 教育	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8
子どもと人間関係		○					○	◎		
子どもと環境		○					○	◎		
子どもと言葉		○					○	◎		
子どもと音楽		○					○	◎		
子どもと造形		○					○	◎		
教育実習の事前事後指導（小・中）A	○		○	○	◎	○				
教育実習の事前事後指導（小・中）B	○		○	○	◎	○				
教育実習（小・中）	○		○	○	◎	○				
教職実践演習（小・中）	○		○	○	◎	○				
教育実習の事前事後指導（幼稚園）A		○					○	○	◎	○
教育実習の事前事後指導（幼稚園）B		○					○	○	◎	○
教育実習（幼稚園）		○					○	○	◎	○
保育・教職実践演習（幼稚園）		○					○	○	◎	○
小学校国語	○		○	◎						
小学校社会	○		○	◎						
小学校算数	○		○	◎						
小学校理科	○		○	◎						
小学校生活	○		○	◎						
小学校音楽	○		○	◎						
ピアノⅠA	○	○	○	◎			○	◎		
ピアノⅠB	○	○	○	◎			○	◎		
ピアノⅡ	○	○	○	◎			○	◎		
声楽・器楽	○	○	○	◎			○	◎		
ピアノ入門A	○	○	○	◎			○	◎		
ピアノ入門B	○	○	○	◎			○	◎		
音楽入門	○	○	○	◎			○	◎		
造形入門	○	○	○	◎			○	◎		
小学校図画工作	○		○	◎						
小学校家庭	○		○	◎						
小学校体育	○		○	◎						
小学校英語	○		○	◎						
English Pronunciation ※	○		○	◎						
English Grammar	○		○	◎						
English Linguistics	○		○	◎						
イギリスの文学 ※	○		○	◎						
アメリカの文学 ※	○		○	◎						
英作文Ⅰ	○		○	◎						
英文講読Ⅰ	○		○	◎						
英会話Ⅰ	○		○	◎						
英作文Ⅱ	○		○	◎						
英文講読Ⅱ	○		○	◎						
英会話Ⅱ	○		○	◎						
比較文化論 ※	○		○	◎						
子ども家庭福祉		○					○	◎	○	○
社会的養護Ⅰ		○					○	◎	○	○
保育の心理学		○					○	◎	○	○
子ども家庭支援の心理学		○					○	◎	○	○
子どもの保健		○					○	◎	○	○
子どもの健康と安全		○					○	◎	○	○
子どもの食と栄養		○					○	◎	○	○
保育の計画と評価		○					○	◎	○	○

授業科目	学校 教育	幼児 教育	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8
乳児保育 I		○					○	◎	○	○
乳児保育 II		○					○	◎	○	○
障害児保育演習		○					○	◎	○	○
社会的養護 II		○					○	◎	○	○
子ども家庭支援論		○					○	◎	○	○
子育て支援		○					○	◎	○	○
保育実習 I		○					○	○	◎	○
保育実習指導 I A		○					○	○	◎	○
保育実習指導 I B		○					○	○	◎	○
保育実習 II		○					○	○	◎	○
保育実習指導 II		○					○	○	◎	○
子ども論 ※	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎
発達障害論 ※	○	○	○	◎	○	○	○	◎	○	○
教科教育研究演習	○		○	◎						
教科教育実践演習	○		○	◎						
保育表現演習		○					○	◎	○	○
子どもの食と栄養実習		○					○	◎	○	○
幼保こ小一貫教育論	○	○	○	◎	○	○	○	◎	○	○
小中一貫教育論	○		○	◎	○	○				
現代教育課題研究 I	○		○	◎						
現代教育課題研究 II	○		○	◎						
教育評価の理論と方法	○		○	◎						
プログラミング教育基礎演習	○	○	○	◎			○	◎		
障害者・障害児心理学 ※	○	○	○	◎		○	○	◎		○
発達心理学 ※	○	○		◎		○		◎		○
子どもの心理 ※	○	○		◎		○		◎		○
児童文学論 ※	○	○	◎	○			◎	○		
児童文化論 ※	○	○	◎	○			◎	○		
子どもと絵本	○	○		◎	○	○		◎	○	○
人権と教育	○	○		○	○	◎		○	○	◎
地域保育演習		○						○	◎	○
レクリエーション論 ※		○						◎	○	○
レクリエーション実習 ※		○						○	◎	○
英語発音入門		○					○	◎		
Listening Comprehension	○	○	○	◎			○	◎		
児童英語概論	○	○	○	◎			○	◎		
児童英語教授法演習	○	○	○	◎			○	◎		
STEP Preparation ※	○	○	○	◎			○	◎		
TOEIC Preparation I	○	○	○	◎			○	◎		
TOEIC Preparation II	○	○	○	◎			○	◎		
学校と地域社会教育実習	○		○	○	◎	○				
子どもと地域文化実習	○		○	○	◎	○				
児童英語海外教育研修	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎	○
比較教育体験実習	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎	○

2023年度入学生 心理福祉学科 カリキュラム・マップ

【心理福祉学科】ディプロマ・ポリシー

DP1 〈統合的な学習経験と創造的思考〉 人間と社会に対する関心と理解のもと、心理・福祉の専門性を以って人間と社会の課題を解決し、よりよい未来を創造する力を身につけている。

(学科共通)

- ① 人間と社会に対する関心と理解
- ② 人間や社会の課題を解決する力
- ③ 未来を切り開く創造力

DP2 〈汎用的知識と技術〉 他者との関わり合いの中で、自己と他者の力を互いに引き出し合いながら協調・協働する能力を身につけている。(学科共通)

- ① 自己の力を引き出す能力
- ② 他者と協調・協働する能力

DP3 〈態度・志向性〉 心理学・社会福祉学を学ぶことを通して、多様な価値観を理解し、物事を客観的にとらえる態度と人に対する倫理的配慮を身につけている(学科共通)

- ① 多様な価値観の理解
- ② 客観的態度
- ③ 倫理的配慮

DP4 〈専門的知識と技術〉 心理学の多様な視点(生理・認知・社会)から、人の心のはたらきと行動を科学的に理解するための知識を身につけ、現代社会の様々な問題にそれらを応用することができる。(心理コース)

- ① 心理学の様々な領域の専門的知識
- ② 心理学の多様な視点
- ③ 心理学的知識の応用力

DP5 〈汎用的知識と技術〉 人間理解のための科学的な研究の方法や結果の解釈の方法を身につけ、その内容を適切に報告したり議論したりすることができる。(心理コース)

- ① 基本的な科学的研究法
- ② 統計の技術
- ③ レポートにまとめる力
- ④ 科学的なプレゼンテーション・コミュニケーション能力

DP6 〈汎用的知識と技術〉 社会の安定と個人の幸福とは何かを追求するために必要となる、社会福祉に関連する総合的な知識と論理的な思考と考察を行う技術を身につけている。(福祉コース・一般)

- ① 社会福祉に関する総合的な知識
- ② 量的研究法と質的研究法に関する基礎知識

③ プレゼンテーションと論文を書く力

DP7〈専門的知識と技術〉 社会福祉学の専門的な知識を踏まえ、マイクロ・メゾ・マクロレベルのソーシャルワークの展開ができる態度と能力を身につけている。（福祉コース・専門）

① 社会福祉学に関する総合的な理解と専門知識の習得

② ソーシャルワークに関する総合的な理解（理論と技術と価値）と実践能力

授業科目	DP1			DP2		DP3			DP4			DP5				DP6			DP7	
	①	②	③	①	②	①	②	③	①	②	③	①	②	③	④	①	②	③	①	②
心理福祉入門	◎					○			○							○				
心理福祉専門演習Ⅰ ※		◎														○			○	
心理福祉専門演習Ⅱ ※		◎														○			○	
心理福祉専門演習Ⅲ ※		◎														○			○	
心理福祉専門演習Ⅳ ※			◎													○			○	
卒業研究			◎													○			○	
心理学概論 ※	○					○			◎	○										
心理学基礎論	○					○			○	◎										
社会福祉の原理と政策Ⅰ	○					○											◎			
社会福祉の原理と政策Ⅱ	○																◎			
心理学統計法Ⅰ						○						○	◎							
心理学統計法Ⅱ						○						○	◎							
心理調査概論												◎	○							
心理学研究法A(観察法・実験法)												◎	○	○	○					
心理学研究法B(調査法・面接法)												◎	○	○	○					
心理的アセスメント						○	○	○	◎	○										
心理学基礎演習Ⅰ(論文講読)									○	◎			○	○						
心理学基礎演習Ⅱ(英文講読)													○	◎						
心理学実験Ⅰ												◎	○	○						
心理学実験Ⅱ												◎	○	○						
心理査定実習						○	○	○	○	○	◎	○		○	○					
公認心理師の職責	○								◎	○	○									
知覚・認知心理学	○								◎	○	○									
学習・言語心理学	○								◎	○	○									
神経・生理心理学Ⅰ	○								◎	○	○									
神経・生理心理学Ⅱ	○								◎	○	○									
発達心理学 ※	○								◎	○	○									
子どもの心理 ※	○								◎	○	○									
青年・成人の心理	○								◎	○	○									
高齢者の心理と支援	○								◎	○	○									
教育・学校心理学 ※	○								◎	○	○									
臨床心理学概論	○								◎	○	○									
感情・人格心理学	○								◎	○	○									
健康・医療心理学	○								◎	○	○									
心理学的支援法(講義)									○	○	◎			○	○					
心理学的支援法(演習)									○	○	◎			○	○					
障害者・障害児心理学 ※	○								◎	○	○									
福祉心理学	○								◎	○	○									
司法・犯罪心理学	○								◎	○	○									
社会・集団・家族心理学A(社会心理学)	○								◎	○	○									
社会・集団・家族心理学B(家族心理学)	○								◎	○	○									
産業・組織心理学	○								◎	○	○									
生活と健康A		◎				○														
生活と健康B		◎				○														
生活と健康C	○	◎																		
生活と健康D		◎				○														
コミュニケーション論 ※	○			◎	○															
心理演習Ⅰ		○				○	○	○	○	○	◎			○	○					
心理演習Ⅱ		○				○	○	○	○	○	◎			○	○					
心理実習			○			○	○	○	○	○	◎			○	○					
社会保障Ⅰ	○															◎				○

授業科目	DP1			DP2		DP3			DP4			DP5				DP6			DP7	
	①	②	③	①	②	①	②	③	①	②	③	①	②	③	④	①	②	③	①	②
社会保障Ⅱ	○															◎			○	
地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	○															◎			○	
地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	○															◎			○	
ソーシャルワークの基盤と専門職						○										○			◎	○
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)						○										○			○	◎
精神保健福祉の原理Ⅰ	○					○										◎			○	
精神保健福祉の原理Ⅱ	○					○										◎			○	
児童・家庭福祉		○				○										◎			○	
高齢者福祉		○				○										◎			○	
貧困に対する支援		○				○										◎			○	
障害者福祉		○				○										◎			○	
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ																○			◎	○
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ																○			◎	○
ソーシャルワーク論Ⅰ																○			◎	○
ソーシャルワーク論Ⅱ																○			◎	○
ソーシャルワークの理論と方法(専門)A																○			◎	○
ソーシャルワークの理論と方法(専門)B																○			◎	○
権利擁護を支える法制度	○															○			◎	
保健医療と福祉	○															○			◎	
社会調査論	○							○									◎			
福祉サービスの組織と経営	○															○			◎	
刑事司法と福祉	○															○			◎	
ソーシャルワーク演習		○				○	○	○								◎		○	○	○
ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ		○				○	○	○										○	○	◎
ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ		○				○	○	○										○	○	◎
ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ		○				○	○	○										○	○	◎
社会福祉援助技術実習			○			○	○	○										○	○	◎
社会福祉援助技術実習指導Ⅰ			○			○	○	○										○	○	◎
社会福祉援助技術実習指導Ⅱ			○			○	○	○										○	○	◎
現代の精神保健の課題と支援Ⅰ		○														○			◎	
現代の精神保健の課題と支援Ⅱ		○														○			◎	
精神疾患とその治療Ⅰ	○	◎				○										○			○	
精神疾患とその治療Ⅱ	○	◎				○										○			○	
精神障害リハビリテーション論	○															○			◎	
精神保健福祉制度論		○														○			◎	
精神保健福祉援助演習(基礎)		○				○	○	○								○		○	○	◎
精神保健福祉援助演習Ⅰ		○				○	○	○								○		○	○	◎
精神保健福祉援助演習Ⅱ		○				○	○	○								○		○	○	◎
精神保健福祉援助実習			○			○	○	○								○		○	○	◎
精神保健福祉援助実習指導Ⅰ			○			○	○	○					○			○		○	○	◎
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ			○			○	○	○					○			○		○	○	◎
人体の構造と機能及び疾病	◎								○							○				
社会学 ※	◎					○														
関係行政論	◎								○	○										
社会福祉研究法								○	○									◎	○	
社会福祉研究法演習								○	○									○	◎	
専門職連携セミナー		◎	○	○	○	○					○									○
コミュニケーション演習				○	◎	○														
レクリエーション論 ※		◎		○	○															
レクリエーション演習		◎		○	○															
レクリエーション実習 ※		○	◎	○	○															

授業科目	DP1			DP2		DP3			DP4			DP5				DP6			DP7		
	①	②	③	①	②	①	②	③	①	②	③	①	②	③	④	①	②	③	①	②	
質的調査法		◎													○	○		○	○		
社会調査実習		◎													○	○		○	○		
国際福祉論 I																		◎			○
国際福祉論 II																		◎			○
心理福祉国際体験実習	○				◎	○															
国際福祉フィールドワーク		○	○		◎	○											○				
国際協力・援助論 ※	○	◎				○															
国際経済開発論 ※	○	◎				○															
国際経済学 ※	◎	○				○															
発達障害論 ※	○	○				○			◎	○	○										
社会病理学 ※	◎	○				○															

授業科目	DP1			DP2		DP3			DP4			DP5				DP6			DP7		
	①	②	③	①	②	①	②	③	①	②	③	①	②	③	④	①	②	③	①	②	
教職論 ※	◎																				
教育行政学 ※	◎																				
特別支援教育論 ※	○	◎				○					○										
中等社会教育法Ⅲ（社会・公民） ※	○	◎									○										
中等社会教育法Ⅳ（社会・公民） ※	○	◎									○										
教育課程論 ※	◎																				
特別活動の指導法 ※	○	◎																			
総合的な学習の時間の指導法 ※	○	◎																			
教育相談 ※	○	◎				○					○										
教育方法論 ※	○	◎									○										
生徒指導・進路指導論 ※	○	◎				○					○										
教育実習の事前事後指導 ※			◎			○	○				○										
教育実習Ⅱ ※			◎			○	○				○										
教職実践演習（中・高） ※			◎																		

2023年度入学生 健康栄養学科 カリキュラム・マップ

【健康栄養学科】ディプロマ・ポリシー

DP1 〈汎用的知識と技術〉 人間の食行動と食環境を把握しエビデンスに基づく基準に照らして、健康・栄養課題への支援や対策の実践的方法の基礎を身に付ける。

- ①多様な価値観や社会の構造を理解し、円滑なコミュニケーションを図れる。
- ②健康・栄養に関わる社会制度や法規を理解し、公衆栄養活動の実践ができる。
- ③健常者、傷病者、要介護者、障がい者等に対する栄養管理の実践ができる。

DP2 〈専門的知識と技術〉 健康や食に関する多種の専門分野から得意分野を併せ持った管理栄養士としての自覚を持つことができる。

- ①管理栄養士としての基本的な資質・能力を身につけている。
- ②栄養管理の実践のために必要な基礎科学を身につけている。
- ③社会環境における集団の栄養管理に必要な疫学の知識・技術を身につけている。

DP3 〈態度・志向性〉 ヒューマニズムと倫理観を持って社会に貢献し、人々との信頼関係（または、良好な人間関係）を築く素養を身に付ける。

- ①管理栄養士に求められる倫理観や使命感について理解している。
- ②人々のQOL向上をめざし、健康の維持・増進、疾病の予防・治療に貢献する意欲がある。
- ③主体性を持って多様な人々と協働して学べる態度を身につけている。
- ④様々な問題に対して、正しい判断ができ、責任ある行動をとることができる。

DP4 〈統合的な学習経験と創造的思考〉 人の健康と栄養および出兵の成り立ちに関する専門基礎知識を身に付けている。

- ①大学で学んだことを総合的に活用し、様々な問題点を把握し、その解決法を創造できる。
- ②栄養の専門職として誇りを持ち、生涯にわたり学び続ける意欲・計画を持っている。
- ③自らが生涯に渡って取り組みたい栄養学的研究テーマをもっている。

授業科目	DP1			DP2			DP3				DP4		
	①	②	③	①	②	③	①	②	③	④	①	②	③
健康栄養論				○			◎						
健康栄養研究法Ⅰ ※											○	○	◎
健康栄養研究法Ⅱ ※											○	○	◎
卒業研究											○	○	◎
管理栄養演習Ⅰ											◎	○	○
管理栄養演習Ⅱ											◎	○	○
管理栄養演習Ⅲ											◎	○	○
栄養疫学		○				○		◎					
栄養と身体活動		○				○		◎					
公衆衛生学		◎				○		○					
衛生法規		◎				○		○					
健康管理概論		◎				○		○					
社会保障論		◎				○		○					
有機化学				○	◎								
生化学Ⅰ				○	◎								
生化学Ⅱ				○	◎								
生化学実験				○	◎								
微生物学				○	◎								
解剖生理学Ⅰ				◎				○					
解剖生理学Ⅱ				◎				○					
解剖生理学実験Ⅰ				◎				○					
解剖生理学実験Ⅱ				◎				○					
病気と栄養Ⅰ				◎				○					
病気と栄養Ⅱ				◎				○					
食品学Ⅰ				○	◎								
食品学Ⅱ				○	◎								
食品機能論				○	◎								
食品学実験Ⅰ				○	◎								
食品学実験Ⅱ				○	◎								
食品加工学				○	◎								
食品加工学実習				○	◎								
食品衛生学				○	◎								
食品衛生学実験				○	◎								
食事設計論					○			◎	○				
調理科学					○			◎	○				
調理学実習Ⅰ					○			◎	○				
調理学実習Ⅱ					○			◎	○				
調理学実験					○			◎	○				
基礎栄養学				○	○								
基礎栄養学実験				○	○								
応用栄養学Ⅰ			◎		○								
応用栄養学Ⅱ			◎		○								
応用栄養学実習			◎		○								
スポーツ科学と栄養			◎		○								
栄養教育論Ⅰ	◎			○	○								
栄養教育論Ⅱ	◎			○	○								
栄養教育論実習	◎			○	○								
栄養カウンセリング論	◎			○	○								
臨床栄養学Ⅰ			○		○							◎	
臨床栄養学Ⅱ			○		○							◎	
臨床栄養学実習Ⅰ			○		○							◎	

授業科目	DP1			DP2			DP3				DP4		
	①	②	③	①	②	③	①	②	③	④	①	②	③
臨床栄養学実習Ⅱ			○		○					◎			
栄養アセスメント			○		○					◎			
栄養療法			○		○					◎			
公衆栄養学Ⅰ		○				◎		○					
公衆栄養学Ⅱ		○				◎		○					
公衆栄養学実習		○				◎		○					
給食経営管理Ⅰ								○	◎	○			
給食経営管理Ⅱ								○	◎	○			
給食経営管理実習								○	◎	○			
総合演習Ⅰ											○	◎	○
総合演習Ⅱ											○	◎	○
臨地実習指導（給食経営管理論）	○			○					◎	○			
臨地実習指導（臨床栄養学）	○			○					◎	○			
臨地実習指導（公衆栄養学）	○			○					◎	○			
給食経営管理論臨地実習Ⅰ	○			○					○	◎			
給食経営管理論臨地実習Ⅱ	○			○					○	◎			
臨床栄養学臨地実習Ⅰ	○			○					○	◎			
臨床栄養学臨地実習Ⅱ	○			○					○	◎			
公衆栄養学臨地実習	○			○					○	◎			
食事介助演習			◎	○									
食品開発論				○	◎								
フードシステム論				○	◎								
フードコーディネーター論				○	◎								
フードスペシャリスト論				○	◎								
食品の官能評価・鑑別論				○	◎								
学校栄養教育論	○							◎			○		
学校栄養教育法	○							◎			○		

授業科目	DP1			DP2			DP3				DP4		
	①	②	③	①	②	③	①	②	③	④	①	②	③
教職論							○				◎		
教育・学校心理学	○			◎			○						
教育行政学		◎					○						
特別支援教育論			◎				○						
教育課程論						◎	○						
道徳教育の指導法				◎			○						
特別活動の指導法			○				○		◎				
総合的な学習の時間の指導法							○			○		◎	
教育相談	◎						○	○					
教育方法論							○			◎			
生徒指導論	○						○		○				◎
学校栄養教育実習の事前事後指導						◎	○					○	
学校栄養教育実習	○						◎					○	
教職実践演習（栄養）	○						○	◎				○	

2023年度入学生 グローバル・スタディーズ学科 カリキュラム・マップ

【グローバル・スタディーズ学科】ディプロマ・ポリシー

DP1 〈普遍的知識と教養〉 グローバル社会における複雑な構造やシステムおよび多様な文化的事象を理解するために必要な専門的知識を身につけ、豊かな教養を備えている。

- ① グローバル社会についての幅広い教養
- ② 現代社会の諸問題に関する幅広い教養

DP2 〈汎用的知識と技術〉 グローバル時代に活躍するために必要な日本語表現能力、情報処理の基礎技能を有し、キャリアについての基本的知識とアプローチの方法を理解している。

- ① 日本語リテラシーおよびコミュニケーション・スキル
- ② 情報処理能力
- ③ キャリア形成のための知識

DP3 〈専門的知識と技術〉 英語をはじめとする外国語の運用能力や実践的コミュニケーション能力を身につけ、その言語を育んだ文化的背景と歴史的意義を理解している。

- ① 外国語リテラシーおよびコミュニケーション・スキル
- ② 英語圏および東アジアの文化や歴史に関する専門的知識の修得

DP4 〈統合的な学習経験と創造的思考〉 グローバル社会・文化の理解と同時に、自らの枠にとらわれない客観的な判断力を持ち、問題解決のための創造力や行動力を有する。

- ① 知識・技能・態度の総合的な活用力
- ② 問題解決力
- ③ 創造的思考力

授業科目	DP1		DP2			DP3		DP4		
	①	②	①	②	③	①	②	①	②	③
English IA						◎		○		
English IB						◎		○		
English IIA						◎		○		
English IIB						◎		○		
English IIIA						◎		○		
English IIIB						◎		○		
English IVA						◎		○		
English IVB						◎		○		
グローバル・スタディーズ総合演習Ⅰ ※	○	○						○	◎	○
グローバル・スタディーズ総合演習Ⅱ ※	○	○						○	◎	○
グローバル・スタディーズ総合演習Ⅲ ※	○	○						○	○	◎
グローバル・スタディーズ総合演習Ⅳ ※	○	○						○	○	◎
卒業研究								○	○	◎
比較文化論 ※	○	○					◎			
ヨーロッパの歴史と文化Ⅰ	○	○					◎			
ヨーロッパの歴史と文化Ⅱ	○	○					◎			
アメリカの歴史と文化Ⅰ	○	○					◎			
アメリカの歴史と文化Ⅱ	○	○					◎			
イギリスの文学 ※	○						◎			
アメリカの文学 ※	○						◎			
児童文学論 ※	○						◎			
言語文化論Ⅰ	○						◎			
言語文化論Ⅱ	○						◎			
アジアの歴史と文化Ⅰ	○	○					◎			
アジアの歴史と文化Ⅱ	○	○					◎			
アジアの歴史と文化Ⅲ	○	○					◎			
日本の社会と文学		○	○				◎			
日本語と日本文化		○	◎				○			
東北の伝統と文化		○					◎			
イスラム社会と文化	◎	○					○			
多文化社会論	○	◎					○		○	
国際関係論 ※	◎	○					○		○	
国際協力・援助論 ※	◎	○					○			
国際平和論Ⅰ	◎	○					○			
国際平和論Ⅱ	◎	○					○			
家族の社会学	○	◎							○	
社会病理学 ※	○	◎							○	
生涯学習支援論		○			◎			○		
学習社会と市民活動支援論		○			◎			○		
現代社会と法		◎						○	○	
人文地理学Ⅰ							◎	○		
人文地理学Ⅱ							◎	○		
地誌							◎	○		
経営学入門	○	◎						○		
国際経済学 ※	○	◎								
国際経済開発論 ※	○	○							◎	
情報社会と倫理 ※	○	◎								
生涯学習論Ⅰ		○			◎			○		
生涯学習論Ⅱ		○			◎			○		
社会教育経営論Ⅰ		○			○			◎		
社会教育経営論Ⅱ		○			○			◎		

授業科目	DP1		DP2			DP3		DP4		
	①	②	①	②	③	①	②	①	②	③
ビジネス法規		◎			○			○		
国際ビジネス論	○	◎								
マーケティング論		◎						○	○	
ビジネス実務総論	○	◎						○		
ビジネス・イングリッシュ					○	◎				
コンピュータ活用演習A				◎	○			○		
コンピュータ活用演習B				◎	○			○		
国際観光論	○				◎		○			
観光ホスピタリティ	○				◎		○			
観光の社会学	○	◎					○	○		
ビジネス実務		○	◎		○					
ビジネス実務演習		○	◎		○					
会計学演習				○	◎			○		
ビジネス文書			◎	○				○		
国際プロトコール			◎	○				○		
応用文書処理演習				◎	○			○		
応用表計算演習				◎	○			○		
ITパスポート I				◎	○			○		
ITパスポート II				◎	○			○		
トラベル実務					◎		○	○		
観光ガイド英語					○	◎		○		
日本語教育研究 I			◎		○			○		
日本語教育研究 II			◎		○			○		
日本語教育法 I			◎		○			○		
日本語教育法 II			◎		○			○		
児童英語教育法					○	◎		○		
児童英語教育演習					○	◎		○		
異文化体験	○					◎	○			
グローバル・インターンシップ	○				◎	○			○	
ビジネス・インターンシップ I		○			◎				○	
ビジネス・インターンシップ II		○			◎				○	
フィールド・スタディ論		○		○				◎	○	
フィールド・スタディ I		○		○				○	○	◎
フィールド・スタディ II		○		○				◎	○	○
NPO・NGO・社会教育インターンシップ		○		○					◎	
日本語教育実習			◎		○			○		
児童英語教育実習					○	◎		○		
プレゼンテーション演習 I			◎		○					○
プレゼンテーション演習 II			◎		○					○
English Pronunciation ※					○	◎		○		
Oral English I						◎		○		
Oral English II						◎		○		
Oral English III						◎		○		
Oral English IV						◎		○		
English Grammar						◎		○		
TOEIC Preparation I					○	◎		○		
TOEIC Preparation II					○	◎		○		
STEP Preparation ※					○	◎		○		
English Writing					○	◎		○		
Media English		○				◎		○		
Advanced Reading						◎		○		

授業科目	DP1		DP2			DP3		DP4		
	①	②	①	②	③	①	②	①	②	③
English Tutorial I						◎		○		
English Tutorial II						◎		○		
中国語コミュニケーションI						◎	○	○		
中国語コミュニケーションII						◎	○	○		
中国語コミュニケーションIII						◎	○	○		
中国語コミュニケーションIV						◎	○	○		
中国語演習I						◎	○	○		
中国語演習II						◎	○	○		
韓国語コミュニケーションI						◎	○	○		
韓国語コミュニケーションII						◎	○	○		
韓国語コミュニケーションIII						◎	○	○		
韓国語コミュニケーションIV						◎	○	○		
韓国語演習I						◎	○	○		
韓国語演習II						◎	○	○		
日本語学 I			◎		○			○		
日本語学 II			◎		○			○		
日本語学 III			◎		○			○		
日本語学 IV			◎		○			○		
教職論 ※		○			◎			○		
教育・学校心理学 ※		○			◎			○		
教育行政学 ※		○			◎			○		
特別支援教育論 ※		○			◎			○		
教育課程論 ※		○			◎			○		
道徳教育の指導法 ※					◎			○		○
総合的な学習の時間の指導法 ※					◎			○		○
特別活動の指導法 ※					◎			○		○
教育相談 ※					◎			○	○	
教育方法論 ※		○			◎			○		
生徒指導・進路指導論 ※					◎			○		○
教職実践演習（中・高） ※					◎			○	○	
教育実習の事前事後指導 ※					◎			○	○	
教育実習 I					◎			○	○	
教育実習 II ※					◎			○	○	
中等英語教育法 I ※					◎	○		○		
中等英語教育法 II ※					◎	○		○		
中等英語教育法 III ※					◎	○		○		
中等英語教育法 IV ※					◎	○		○		
中等社会教育法 I（社会）		○			◎			○		
中等社会教育法 II（社会）		○			◎			○		
中等社会教育法 III（社会・公民） ※		○			◎			○		
中等社会教育法 IV（社会・公民） ※		○			◎			○		

2022年度入学生 人間学部(学部共通科目、教職に関する科目) カリキュラムマップ

【人間学部】ディプロマポリシー

- (1) 建学の精神に則り、カトリック及びキリスト教について理解しており、その精神に基づいた世界観や人間観及び知識・能力を身につけていることを学位授与の条件とする。
- (2) 建学の精神に則り、全面的・調和的に発達した人間性や幅広い教養と豊かな感性を持ち、創造力、判断力、実践力を有するとともに、人間の真の幸福・平和・福祉に貢献できる女性となることを学位授与の条件とする。
- (3) 人間学部として提供する人間の理解や援助に関する専門的知識と、社会の変化に積極的に対応しうる判断力・思考力・実践力を持っていることを学位授与の条件とする。

授 業 科 目	単位数		学年	学期	種 別	(1)	(2)	(3)
	必修	選択						
キリスト教学 I A	2		1	前期	講義	◎	○	
キリスト教学 I B	2		1	後期	講義	◎	○	
英語 I	1		1	前期	演習 ²	◎	○	○
英語 II	1		1	後期	演習 ²	◎	○	○
フランス語 I A	1		1	前期	演習 ²	◎	○	○
フランス語 I B	1		1	後期	演習 ²	◎	○	○
ドイツ語 I A	1		1	前期	演習 ²	◎	○	○
ドイツ語 I B	1		1	後期	演習 ²	◎	○	○
スペイン語 I A	1		1	前期	演習 ²	◎	○	○
スペイン語 I B	1		1	後期	演習 ²	◎	○	○
中国語 I A	1		1	前期	演習 ²	◎	○	○
中国語 I B	1		1	後期	演習 ²	◎	○	○
韓国語 I A	1		1	前期	演習 ²	◎	○	○
韓国語 I B	1		1	後期	演習 ²	◎	○	○
共通基礎演習	1		1	前期	演習 ¹		◎	○
子ども総合セミナー	2		1	後期	演習 ¹		○	◎
心理福祉基礎演習 I	1		1	後期	演習 ²		◎	○
健康栄養基礎演習	1		1	後期	演習 ¹			◎
日本語表現 I	2		1	後期	講義		○	◎
情報処理概論	2		1	前期	演習 ¹			◎
キャリア・デザイン I	2		1	前・後	講義		○	◎
哲学(東洋哲学を含む)	2		1・2	前期	講義		○	◎
文学	2		1	後期	講義		◎	○
宗教学	2		1・2	後期	講義	○		◎
日本史 I	2		1	前期	講義			◎
日本史 II	2		1	後期	講義			◎
外国史 I	2		1・2	前期	講義			◎
心理学概論	2		1	前期	講義			◎
子どもの心理	2		1・2	後期	講義			◎
子ども論	2		1	前期	講義			◎
情報社会と倫理	2		1	前期	講義			◎
社会学基礎論	2		1	前期	講義			◎
コミュニケーション論	2		1	後期	講義			◎
ジェンダー論	2		1・2	前期	講義		◎	○
経済学	2		1	前・後	講義			◎
社会福祉学	2		1・2	前期	講義		○	◎
法学	2		1	後期	講義			◎
日本国憲法	2		1	前期	講義			◎
政治学	2		1	前期	講義			◎
教育学概論	2		1	前期	講義			◎
社会学	2		1	前期	講義			◎
環境科学	2		1・2・4	後期	講義			◎
健康科学	2		1・2	後期	講義			◎
数学	2		1	前期	講義			◎
統計学	2		1・3	前期	講義			◎
生命科学	2		1・2・4	前・後	講義			◎
情報科学	2		1	前・後	演習 ¹			◎
情報処理 I	1		1	前・後	実験・実習 ¹			◎
健康とスポーツA	1※		1	前期	実験・実習 ¹			◎
健康とスポーツB	1※		1	後期	実験・実習 ¹			◎

教職論	2	1	後期	講義			◎
キリスト教Ⅱ	2	2	前・後	講義	◎	○	
オーラル・コミュニケーションⅠ	1	2	前期	演習 ²	◎	○	○
オーラル・コミュニケーションⅡ	1	2	後期	演習 ²	◎	○	○
フランス語ⅡA	1	2	前期	演習 ²	◎	○	○
フランス語ⅡB	1	2	後期	演習 ²	◎	○	○
ドイツ語ⅡA	1	2	前期	演習 ²	◎	○	○
ドイツ語ⅡB	1	2	後期	演習 ²	◎	○	○
スペイン語ⅡA	1	2	前期	演習 ²	◎	○	○
スペイン語ⅡB	1	2	後期	演習 ²	◎	○	○
中国語ⅡA	1	2	前期	演習 ²	◎	○	○
中国語ⅡB	1	2	後期	演習 ²	◎	○	○
韓国語ⅡA	1	2	前期	演習 ²	◎	○	○
韓国語ⅡB	1	2	後期	演習 ²	◎	○	○
心理福祉基礎演習Ⅱ	1	2	前期	演習 ²		◎	○
心理福祉基礎演習Ⅲ	1	2	後期	演習 ²		◎	○
グローバル・スタディーズ基礎演習	2	2	前期	演習 ¹			◎
日本語表現Ⅱ	2	2	前期	講義		○	◎
キャリア・デザインⅡ	2	2	前・後	講義		○	◎
外国史Ⅱ	2	2	後期	講義			◎
国際関係論	2	2	後期	講義			◎
自然地理学	2	2	前期	講義			◎
情報処理Ⅱ	2	2	前・後	演習 ¹			◎
教育・学校心理学	2	2	前期	講義			◎
教育行政学	2	2・3	前期	講義			◎
中等英語教育法Ⅰ	2	2	後期	講義			◎
中等社会教育法Ⅰ(社会・公民)	2	2	前期	講義			◎
中等社会教育法Ⅱ(社会・公民)	2	2	後期	講義			◎
教育課程論	2	2	前期	講義			◎
道德教育の指導法	2	2・3	前期	講義			◎
特別活動の指導法	2	2	後期	講義			◎
人間論	2	3	前・後	講義	◎	○	
キャリア・デザインⅢ	1	3	通年	実験・実習 ¹		○	◎
宗教と文学	2	3	前期	講義	◎	○	○
宗教と音楽	2	3	前・後	講義	◎	○	○
宗教と美術	2	3	後期	講義	◎	○	○
児童文化論	2	3	前期	講義			◎
食文化論	2	3	前期	講義			◎
食と健康の英語	2	3	前期	講義			◎
消費生活論	2	3	前期	講義			◎
中等英語教育法Ⅱ	2	3	前期	講義			◎
中等英語教育法Ⅲ	2	3	後期	講義			◎
中等社会教育法Ⅲ(社会・公民)	2	3	前期	講義			◎
中等社会教育法Ⅳ(社会・公民)	2	3	後期	講義			◎
総合的な学習の時間の指導法	2	3	前期	講義			◎
教育相談	2	3	前期	講義			◎
教育方法論	2	3	後期	講義			◎
生徒指導論	2	3	前期	講義			◎
生徒指導・進路指導論	2	3	前期	講義			◎
教育実習の事前事後指導	1	3・4	3前~4後	演習 ²		○	◎
学校栄養教育実習の事前事後指導	1	3・4	3前~4後	演習 ²			◎
中等英語教育法Ⅳ	2	4	前期	講義			◎
教育実習Ⅰ	4	4	前期	実験・実習 ¹		○	◎
教育実習Ⅱ	2	4	前期	実験・実習 ¹		○	◎
学校栄養教育実習	1	4	後期	実験・実習 ²			◎
教職実践演習(中・高)	2	4	後期	演習 ¹		○	◎
教職実践演習(栄養)	2	4	後期	演習 ¹			◎

※心理福祉学科、健康栄養学科は必修

2022年度入学生 人間発達学科 カリキュラムマップ

【ディプロマポリシー】

- (1) 教育・保育に関する様々な専門領域の学習を通して、人間科学としての教育学・保育学の基礎を身につけている。
- (2) 保育士、幼稚園教諭、小学校教諭等の教育・保育に関する職業をめざす学生は、子どもの成長発達を支える専門職として必要な知識・技能を十分身につけている。
- (3) 社会人として必要なコミュニケーション能力や人間関係能力、および、職業人として必要な使命感や責任感を身につけている。
- (4) 教育者・保育者として必要な、子どもへの豊かな愛情とヒューマンズムの精神を身につけている。

授 業 科 目	単位数		年 次	学 期	種 別	(1)	(2)	(3)	(4)
	必修	選択							
教育学概論(初等)	2		1	前期	講義	◎	◎	○	◎
子ども論	2		1	前期	講義	◎	◎	○	◎
音楽入門		2	1	前期	演習 ¹	○	◎	○	○
保育原理		2	1	前期	講義	○	◎	○	○
教職論(幼稚園)		2	1	前期	講義	○	◎	○	○
発達心理学		2	1	前期	講義	○	◎	○	○
ピアノ入門A		1	1	前期	演習 ¹		◎		
ピアノ入門B		1	1	後期	演習 ¹		◎		
幼児教育論	2		1	前期	講義	◎	◎	○	◎
幼児教育基礎演習A		1	1	後期	演習 ²	◎	○	○	
教職論(小学校)		2	1	後期	講義	◎	◎	◎	○
初等国語		2	1	後期	講義	○	◎	○	○
初等算数		2	1	後期	講義	○	◎	○	○
小学校理科		2	1	後期	講義	○	◎	○	○
初等生活		2	1	後期	講義	○	◎	○	○
子どもと造形A		1	1	後期	演習 ¹	○	◎		
保育者論		2	1	後期	講義	○	◎	○	○
子どもの保健		2	1	後期	講義	◎	○	○	○
STEP Preparation		1	1	後期	演習 ²	△	◎	△	△
TOEIC PreparationI		1	1	後期	演習 ²	△	◎	△	△
幼児教育基礎演習B		1	2	前期	演習 ²	◎	○	○	
初等教育基礎演習		2	2	前期	演習 ¹	○	◎	○	○
教育心理学(初等)		2	2	前期	講義	○	◎	○	○
教育行政学(初等)		2	2	後期	講義	◎	○	○	○
保育内容(健康)		2	2	後期	演習 ¹		◎	○	
保育内容(人間関係)		2	2	前期	演習 ¹	○	◎	○	○
保育内容(環境)		2	2	後期	演習 ¹	○	◎	○	○
保育内容(言葉)		2	2	前期	演習 ¹		◎	○	
保育内容(表現(音楽))		2	2	後期	演習 ¹		◎	○	
保育内容(表現(身体))		2	2	後期	演習 ¹		◎	○	
保育内容(表現(造形))		2	2	後期	演習 ¹	◎	◎	○	
初等教科教育法(国語)		2	2	前期	講義	○	◎	○	○
初等教科教育法(社会)		2	2	後期	講義	○	◎	○	○
初等教科教育法(算数)		2	2	前期	講義	○	◎	○	○
初等教科教育法(理科)		2	2	前期	講義	○	◎	○	○
初等教科教育法(生活)		2	2	前期	講義	○	◎	○	○
初等教科教育法(音楽)		2	2	後期	講義		◎		
初等教科教育法(図画工作)		2	2	後期	講義	◎	◎	○	
初等教科教育法(家庭)		2	2	後期	講義	○	◎	○	○
初等教科教育法(体育)		2	2	後期	講義	○	◎	◎	
初等教科教育法(英語)		2	2	後期	講義	○	◎	◎	○
小学校社会		2	2	前期	講義	○	◎	○	○
小学校英語		2	2	前期	講義	○	◎	△	△
子どもと音楽		2	2	前期	演習 ¹	○	◎	○	○
ピアノI A		1	2	前期	演習 ²		◎		
ピアノI B		1	2	後期	演習 ²		◎		
子どもと造形B		1	2	前期	演習 ¹	○	◎		
小学校家庭		2	2	前期	講義	○	◎	○	○
子どもと体育		2	2	前期	演習 ¹	○	◎	○	○
子ども家庭福祉		1	2	前期	講義	○	◎	○	○
社会的養護 I		2	2	前期	講義	○	◎	○	○
保育の心理学		2	2	後期	講義	○	◎		
保育の計画と評価		2	2	前期	講義	○	◎	○	○
乳児保育 I		2	2	前期	講義	○	◎	○	○
乳児保育 II		2	2	後期	演習 ¹	○	○	◎	○
子どもの心理		2	2	後期	講義	◎	○	○	○
English Pronunciation		2	2	後期	講義	△	◎	△	△
児童英語概論		2	2	後期	講義	○	◎	△	△
TOEIC PreparationII		1	2	前期	演習 ²	△	◎	△	△
指導法の研究		2	2	後期	演習 ¹	○	◎	○	○

授 業 科 目	単位数		年 次	学 期	種 別	(1)	(2)	(3)	(4)
	必修	選択							
子ども発達総合演習Ⅰ	2		3	前期	演習 ¹	○	◎	○	○
子ども発達総合演習Ⅱ	2		3	後期	演習 ¹	○	◎	○	○
特別支援教育論(初等)		2	3	後期	講義	◎	○	○	○
教育課程論(初等)		2	3	前期	講義	◎	○	○	○
教育方法論(初等)		2	3	後期	講義	◎	○	○	○
幼児理解論		2	3	前期	講義	○	◎		
生徒指導・進路指導論(初等)		2	3	前期	講義	○	○	○	○
教育相談(初等)		2	3	前期	講義	◎	◎	○	○
道德教育の指導法(初等)		2	3	前期	講義	○	○	○	○
総合的な学習の時間の指導法(初等)		2	3	前期	講義	○	○	○	○
特別活動の指導法(初等)		2	3	前期	講義	○	○	○	○
初等教育実習の事前事後指導A		1	3	前期	演習 ¹	○	○	◎	○
初等教育実習の事前事後指導B		1	3	後期	演習 ¹	○	○	◎	○
初等教育実習		4	3	後期	実験・実習 ¹	○	○	◎	○
書道		2	3	前期	講義	○	◎	○	○
ピアノⅡ		2	3	前期	演習 ¹		◎		
声楽・器楽		2	3	前期	演習 ¹	○	◎	○	○
小学校授業実践演習(文系)		2	3	前期	演習 ¹	○	◎	○	○
小学校授業実践演習(理系)		2	3	後期	演習 ¹	○	◎	○	○
子どもの食と栄養		2	3	前期	演習 ¹	○	◎	○	○
障害児保育演習		2	3	前期	演習 ¹	○	◎	○	○
社会的養護Ⅱ		1	3	前期	演習 ¹	○	◎	○	○
子ども家庭支援論		2	3	後期	講義	○	◎	○	◎
子育て支援		1	3	後期	演習 ¹	○	◎	○	○
保育内容の理解と方法Ⅰ		2	3	前期	演習 ¹	○	◎	○	
保育実習指導ⅠA		1	3	前期	演習 ²	○	○	◎	
保育実習Ⅱ		2	3	後期	実験・実習 ¹		○	◎	○
保育実習指導Ⅱ		1	3	後期	実験・実習 ¹	○	○	◎	
教育政策論		2	3	後期	講義	◎	○	○	○
メディアの教育利用		2	3	後期	講義	◎	○	○	○
障害者・障害児心理学		2	3	前期	講義	○	◎	○	○
児童文化論		2	3	前期	講義	◎	◎	○	◎
地域保育論		2	※	※	講義	◎	○	○	○
Listening Comprehension		2	3	前期	講義	△	◎	△	△
児童英語教授法演習		2	3	前期	演習 ¹	○	◎	△	△
学校と地域社会教育実習		1	3	前期	演習 ²	◎	○	○	○
子どもと地域文化実習		1	3	後期	演習 ²	○	◎	○	○
子ども発達総合演習Ⅲ	2		4	前期	演習 ¹	○	◎	○	○
子ども発達総合演習Ⅳ	2		4	後期	演習 ¹	○	◎	○	○
子ども発達学	2		4	後期	講義	◎	◎	○	◎
卒業研究		4	4	通年	その他	○	◎	○	○
保育内容総論	2		4	前期	演習 ¹	◎	○	○	○
保育・教職実践演習	2		4	後期	演習 ¹	○	○	◎	○
小学校授業研究演習Ⅰ	2		4	前期	演習 ¹	○	◎	○	○
小学校授業研究演習Ⅱ	2		4	後期	演習 ¹	○	◎	○	○
子ども家庭支援の心理学	2		4	前期	講義	○	◎	○	○
子どもの理解と援助	1		4	前期	演習 ¹	○	◎		
子どもの健康と安全	1		4	前期	演習 ¹	○	◎	○	○
保育内容の理解と方法Ⅱ	2		4	前期	演習 ¹	○	◎	○	
保育実習Ⅰ		4	※	※	実験・実習 ¹		○	◎	○
保育実習指導ⅠB		1	4	前期	演習 ¹	○	○	◎	
発達障害論	2		4	前期	講義	○	◎		○
キリスト教と教育	2		4	後期	講義	◎	○	○	○
児童文学論		2	4	前期	講義	◎	○	○	○
人権と教育		2	4	後期	講義	○	◎	○	○

2022年度入学生 心理福祉学科 カリキュラムマップ

【心理福祉学科】ディプロマ・ポリシー

- (1) 心理・福祉の専門性に基づき、様々な立場から人間の理解に基づく支援活動を計画し実践するために必要な意欲・態度および能力を身につけている。
- (2) 他者との関わり合いの中で、自己と他者の力を互いに引き出し合いながら協調・協働する意欲と能力を身につけている。
- (3) 社会福祉学の知識や技能を基盤として、個人と社会を関連づけながら幸福とは何かを追求する能力を身につけている。(福祉コース)
- (4) 社会福祉学の知識を踏まえて、社会福祉の対象者や地域と直接的、間接的にかかわり主体的に行動する態度を身につけている。(福祉コース)
- (5) 地域住民として、女性として、福祉専門職として社会に貢献できる総合的な能力を身につけている。(福祉コース)
- (6) 心理学の多様な視点(生理・認知・社会)から、人の心のはたらきと行動を科学的に理解するための知識を備え、現代社会の様々な問題にそれらを応用することができる。(心理コース)
- (7) 科学的な人間理解のための研究法や、その結果を適切に報告するためのプレゼンテーション能力、議論するためのコミュニケーション能力を備えている。
- (8) 心理学の知識と技法を用いて、自分自身の理解と成長、他者との良好な人間関係づくりに役立てられる。(心理コース)

授 業 科 目	単位数		学年	学期	種 別	ディプロマ・ポリシー									
	必修	選択				(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		
心理福祉入門	2		1	前期	講義	◎									
心理学概論	2		1	前期	講義						◎				
心理学基礎論	2		1	後期	講義						◎				
社会福祉の原理と政策Ⅰ	2		1	前期	講義	◎									
社会福祉の原理と政策Ⅱ	2		1	後期	講義	◎									
心理学統計法Ⅰ		2※	1	前期	講義								◎		
心理学統計法Ⅱ		2※	1	後期	講義								◎		
心理学実験Ⅰ		2※	1	後期	実験・実習 ¹								◎	◎	○
発達心理学	2		1	前期	講義							◎			
子どもの心理	2		1	後期	講義							◎			
コミュニケーション論	2		1	前期	講義				○						○
ソーシャルワークの基盤と専門職	2		1	前期	講義				◎						
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	2		1	後期	講義				◎						
児童・家庭福祉	2		1	前期	講義				◎						
障害者福祉	2		1	後期	講義				◎						
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2		1	後期	講義				◎						
人体の構造と機能及び疾病	2		1	前期	講義				◎						
社会学	2		1	前期	講義				◎						
心理福祉国際体験実習	1		1	後期	実験・実習 ¹	◎	○								
心理調査概論	2		2	前期	講義							○	◎		
心理学研究法A(観察法・実験法)	1		2	後期	演習 ²							○	◎		
心理学研究法B(調査法・面接法)	1		2	後期	演習 ²							○	◎	○	
心理学基礎演習Ⅰ(論文講読)	1		2	前期	演習 ²							○	◎		
心理学実験Ⅱ	2		2	前期	実験・実習 ¹								◎		○
公認心理師の職責	2		2	後期	講義							◎			
知覚・認知心理学	2		2	後期	講義							◎			
神経・生理心理学Ⅰ	2		2	前期	講義							◎			
神経・生理心理学Ⅱ	2		2	後期	講義							◎			
青年・成人の心理	2		2	前期	講義							◎			
高齢者の心理と支援	2		2	後期	講義							◎			
教育・学校心理学	2		2	前期	講義							◎			
臨床心理学概論	2		2	後期	講義							◎			
感情・人格心理学	2		2	後期	講義							◎			
社会・集団・家族心理学A(社会心理学)	2		2	前期	講義							◎			
生活と健康A	2		2	前期	講義			○				◎			
生活と健康B	2		2	後期	講義			○				◎			
社会保障Ⅰ	2		2	前期	講義			◎	○						
社会保障Ⅱ	2		2	後期	講義			◎	○						
地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2		2	前期	講義			◎	○						
地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2		2	後期	講義			◎	○						
精神保健福祉の原理Ⅰ	2		2	前期	講義				◎						
精神保健福祉の原理Ⅱ	2		2	後期	講義				◎						
高齢者福祉	2		2	前期	講義			◎	○						
貧困に対する支援	2		2	後期	講義			◎	○						
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2		2	前期	講義				◎						
ソーシャルワーク論Ⅰ	2		2	後期	講義				◎						
権利擁護を支える法制度	2		2	後期	講義				◎						
ソーシャルワーク演習	1		2	前期	演習 ²	○	○					◎			
ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ	1		2	後期	演習 ²	○	○					◎			
社会福祉援助技術実習指導Ⅰ	1		2	後期	演習 ²	○	○					◎			
現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	2		2	前期	講義					◎					
現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	2		2	後期	講義					◎					
精神保健福祉制度論	2		2	前期	講義				◎						
社会福祉研究法	2		2	前期	講義					◎					
社会福祉研究法演習	1		2	後期	演習 ²				◎			○			
コミュニケーション演習	1		2	前期	演習 ²	○	◎								
レクリエーション論	2		2	前期	講義				◎						
レクリエーション演習	1		2	後期	演習 ²	○	◎								
レクリエーション実習	1		2	後期	実験・実習 ¹	○	◎								
国際福祉論Ⅰ	2		2	前期	講義				◎						
国際福祉論Ⅱ	2		2	後期	講義				◎						
国際福祉フィールドワーク	1		2	後期	実験・実習 ¹				○			◎			
国際協力・援助論	2		2	前期	講義				◎						

授 業 科 目	単位数 必修 選択	学年	学期	種 別	ディプロマ・ポリシー								
					(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	
心理福祉専門演習Ⅰ	1	3	前期	演習 ²	◎	○	○	○	○	○	○	○	○
心理福祉専門演習Ⅱ	1	3	後期	演習 ²	◎	○	○	○	○	○	○	○	○
心理的アセスメント	2	3	前期	講義						○	◎	○	
心理学基礎演習Ⅱ(英文講読)	1	3	前期	演習 ²						○	◎		
心理査定実習	2	3	後期	実験・実習 ¹							◎	○	
学習・言語心理学	2	3	後期	講義						◎			
健康・医療心理学	2	3	後期	講義						◎			
心理学的支援法(講義)	2	3	前期	講義						◎			
心理学的支援法(演習)	1	3	後期	講義							◎	○	
障害者・障害児心理学	2	3	前期	講義						◎			
福祉心理学	2	3	前期	講義						◎			
司法・犯罪心理学	2	3	前期	講義						◎			
社会・集団・家族心理学B(家族心理学)	2	3	前期	講義						◎			
産業・組織心理学	2	3	前期	講義						◎			
生活と健康C	2	3	前期	講義			○			◎			
生活と健康D	2	3	後期	講義			○			◎			
心理演習Ⅰ	1	3	前期	演習 ²	○						◎	○	
心理演習Ⅱ	1	3	後期	演習 ²	○						◎	○	
ソーシャルワーク論Ⅱ	2	3	前期	講義				◎					
ソーシャルワークの理論と方法(専門)A	2	3	前期	講義				◎					
ソーシャルワークの理論と方法(専門)B	2	3	後期	講義				◎					
保健医療と福祉	2	3	前期	講義				◎					
社会調査論	2	3	後期	講義				◎					
ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ	2	3	通年	演習 ²	○	○				◎			
社会福祉援助技術実習	5	3	前期	実験・実習 ²	○	○				◎			
社会福祉援助技術実習指導Ⅱ	2	3	通年	演習 ²	○	○				◎			
精神疾患とその治療Ⅰ	2	3	前期	講義				◎					
精神疾患とその治療Ⅱ	2	3	後期	講義				◎					
精神障害リハビリテーション論	2	3	後期	講義				◎					
精神保健福祉援助演習(基礎)	1	3	前期	演習 ²	○	○				◎			
精神保健福祉援助演習Ⅰ	1	3	後期	演習 ²	○	○				◎			
精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	1	3	後期	演習 ²	○	○				◎			
専門職連携セミナー	1	3	後期	演習 ²	◎					○		○	
質的調査法	2	3	後期	講義	◎							○	
国際経済開発論	2	3	後期	講義				◎					
国際経済学	2	3	前期	講義				◎					
発達障害論	2	3	後期	講義						◎			
社会病理学	2	3	前期	講義	◎		○						
心理福祉専門演習Ⅲ	1	4	前期	演習 ²	◎	○	○	○	○	○	○	○	○
心理福祉専門演習Ⅳ	1	4	後期	演習 ²	◎	○	○	○	○	○	○	○	○
卒業研究	4※	4	後期	その他	◎	○	○	○	○	○	○	○	○
福祉サービスの組織と経営	2	4	前期	講義				◎					
刑事司法と福祉	2	4	前期	講義				◎					
ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ	1	4	前期	演習 ²	○	○				◎			
精神保健福祉援助演習Ⅱ	2	4	通年	演習 ²	○	○				◎			
精神保健福祉援助実習	5	4	通年	実験・実習 ²	○	○				◎			
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	1	4	通年	演習 ²	○	○				◎			
関係行政論	2	4	後期	講義	◎								
社会調査実習	2	4	通年	実験・実習 ¹	◎	○		○				○	
心理実習	2	3・4	3後-4前	実験・実習 ¹	○					○	◎	○	

※福祉コース、心理コースによって必修・選択が異なる

2022年度入学生 健康栄養学科 カリキュラムマップ

【ディプロマポリシー】

1. 人の健康と栄養および疾病の成り立ちに関する専門基礎知識を身につけている。
2. 人間の食行動と食環境を把握しエビデンスに基づく基準に照らして、健康・栄養課題への支援や対策の実践的方法の基礎を身につけている。
3. ヒューマンイズムと倫理観を持って社会に貢献し、人々との信頼関係(又は、良好な人間関係)を築く素養を身につけている。
4. 健康や食に関する多種の専門分野から得意の分野を併せ持った管理栄養士としての自覚を持つことができる。

授業科目	単位数		年次	学期	種別	1. 健康・栄養・疾病の専門基礎知識			2. エビデンスに基づく支援・対策			3. 社会に貢献、信頼関係を気づく			4. 得意の分野を併せもった自覚		
	必修	選択				態度・倫理	技術・方法	知識・理解	態度・倫理	技術・方法	知識・理解	態度・倫理	技術・方法	知識・理解	態度・倫理	技術・方法	知識・理解
健康栄養論	2		1	前期	講義	◎			○	○		◎	○	○	◎	○	○
有機化学	2		1	前期	講義		○	◎							○	○	○
微生物学		2	1	前期	講義		○	◎		○	◎	◎		○	◎	○	○
解剖生理学 I	2		1	後期	講義		○	◎		◎	◎	◎	○	○	◎	○	○
解剖生理学実験 I	1		1	前期	実験・実習		○	◎		◎	◎	◎	○	○	◎	○	○
食品学 I	2		1	前期	講義		○	◎		○	◎	◎		○	○	◎	◎
食品学 II	2		1	後期	講義	○		○	○	◎			○	○		◎	◎
食品学実験 I	1		1	前期	実験・実習		◎	○		◎	◎	◎		○	○	◎	○
食品学実験 II	1		1	後期	実験・実習	○		○	◎	◎	◎		○	○		◎	○
食事設計論	2		1	後期	講義	○	○	◎	○	○	◎	○	○	○		○	○
調理科学	2		1	前期	講義	○	○	◎	○	○	◎		○	○	○	◎	◎
調理学実習 I	1		1	前期	実験・実習	○	◎	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○
調理学実習 II	1		1	後期	実験・実習	○	◎	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○
基礎栄養学	2		1	後期	講義	◎	○	◎		○	○			○	○	○	○
栄養教育論 I	2		1	後期	講義	○	○	◎		◎	○	○		◎		○	○
臨床栄養学 I	2		1	後期	講義	○	○	◎	○	○	◎	○	○	○	○	○	○
栄養疫学		2	2	後期	講義		○	◎		◎	○			○	○	◎	○
栄養と身体活動		1	2	後期	演習				○	○	○			◎	◎	◎	◎
公衆衛生学	2		2	前期	講義	○	○	◎		◎	○	○		◎		○	○
社会保障論	2		2	後期	講義	◎		○	◎		◎	○		◎		○	○
生化学 I	2		2	前期	講義		○	◎	○	○	◎	○	○		○	○	◎
生化学 II	2		2	後期	講義		○	◎	○	○	◎	○	○		○	○	◎
生化学実験	1		2	後期	実験・実習		◎	○	○	◎	○			○	◎	○	○
解剖生理学 II	2		2	前期	講義		○	◎		◎	◎	◎	○	○	◎	○	○
解剖生理学実験 II		1	2	前期	実験・実習		○	◎		◎	◎	◎	○	○	◎	○	○
病気と栄養 I		2	2	後期	講義		○	◎		◎	◎	◎	○	○	◎	○	○
食品加工学	2		2	後期	講義				○	◎	◎		○	○		◎	◎
食品衛生学	2		2	前期	講義		○	◎		○	◎	◎		○	○	◎	◎
食品衛生学実験	1		2	後期	実験・実習		○	◎		○	◎	◎		○	○	◎	◎
基礎栄養学実験		1	2	前期	実験・実習	○	○								○	○	○
応用栄養学 I	2		2	前期	講義	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎
応用栄養学 II	2		2	後期	講義	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎
応用栄養学実習	1		2	前期	実験・実習	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	◎	○	◎
栄養教育論 II	2		2	前期	講義		○	◎			◎			◎		○	○
栄養教育論実習	1		2	前期	実験・実習		◎	○		◎	○	◎		◎		○	○
臨床栄養学 II	2		2	前期	講義	○		◎		○	○			○	○	○	○
臨床栄養学実習 I	1		2	後期	実験・実習	○	◎	○		◎	◎	◎	○	◎	○	◎	◎
栄養アセスメント		2	2	後期	講義	◎	◎	◎		○	○		◎	◎	○	◎	◎
給食経営管理 I	2		2	前期	講義	○	○	◎	○	○	◎		○	○	○	○	○
給食経営管理 II	2		2	後期	講義	○	○	◎	○	○	◎		○	○	○	○	○
給食経営管理実習	2		2	後期	実験・実習	○	○	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
食事介助演習		2	2	前期	演習	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	◎	◎
健康栄養研究法 I		1	3	前期	演習	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	◎	◎
健康栄養研究法 II		1	3	後期	演習	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	◎	◎
管理栄養演習 I		2	3	後期	演習	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	◎	◎
衛生法規		2	3	後期	講義		○	◎			◎			◎		○	○
健康管理概論		2	3	前期	講義	◎	○	◎		◎	○	◎	○				
病気と栄養 II		2	3	前期	講義		○	◎		◎	◎	◎	○	◎	○	○	○
食品機能論		2	3	前期	講義	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎			○
食品加工学実習		1	3	前期	実験・実習					○	◎	○	◎	○		○	○
調理学実験	1		3	前期	実験・実習	○	◎	○		◎	○	◎	○	◎	○	○	○
スポーツ科学と栄養		2	3	前期	講義	○	○	◎	○	○	◎	○	◎	◎	○	◎	◎
栄養カウンセリング論	2		3	後期	講義	◎		◎		○	○			◎		○	○
臨床栄養学実習 II		1	3	前期	実験・実習	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎
栄養療法		2	3	前期	講義	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎
公衆栄養学 I	2		3	前期	講義	◎	◎	◎	○	○	◎	○	○	◎			
公衆栄養学 II		2	3	後期	講義	○	○	◎	○	○	◎	◎	◎	◎			
公衆栄養学実習	1		3	後期	実験・実習	○	○	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎
臨地実習指導(給食経営管理論)		1	3	※通年	演習	○	◎	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
臨地実習指導(臨床栄養学)		1	3	※通年	演習	○	◎	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
給食経営管理論臨地実習 I	1		3	後期	実験・実習	○	◎	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
給食経営管理論臨地実習 II		1	3	後期	実験・実習	○	◎	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
臨床栄養学臨地実習 I		1	3	後期	実験・実習	○	◎	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
臨床栄養学臨地実習 II		1	3	後期	実験・実習	○	◎	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
フードコーディネーター論		2	3	後期	講義	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	◎	◎
食品の官能評価・鑑別論		2	3	後期	講義	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	◎	◎
学校栄養教育論		2	3	前期	講義			◎		○	◎			○		○	○
学校栄養教育法		2	3	後期	講義	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	◎	○	○
卒業研究		4	4	後期	その他	○	○	◎	○	◎	○	○	◎	○	◎	○	○
管理栄養演習 II		2	4	前期	演習	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	◎	◎
管理栄養演習 III		2	4	前期	演習	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	◎	◎
総合演習 I		1	4	前期	演習	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	◎	◎
総合演習 II		1	4	後期	演習	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	◎	◎
臨地実習指導(公衆栄養学)		1	4	※通年	演習	○	○	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
公衆栄養学臨地実習		1	4	後期	実験・実習						◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
食品開発論		2	4	後期	講義	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	◎	◎
フードシステム論		2	4	前期	講義	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	◎	◎
フードスペシャリスト論		2	4	前期	講義	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	◎	◎

2022年度 グローバル・スタディーズ学科 カリキュラムマップ

【GS学科】ディプロマポリシー

(1) グローバル社会における複雑な構造やシステムおよび多様な文化的事象を理解するために必要な専門的知識を身につけ、豊かな教養を備えている。

(2) 英語をはじめとする外国語の運用能力や実践的コミュニケーション能力を身につけ、その言語を育んだ文化的背景と歴史的意義を理解している。

(3) グローバル時代に活躍するために必要な日本語表現能力、情報処理の基礎技能を有し、キャリアについての基本的知識とアプローチの方法を理解している。

(4) グローバル社会・文化の理解と同時に、自らの枠にとらわれない客観的な判断力を持ち、問題解決のための創造力や行動力を有

授業科目	単位数		学年	学期	種別	ディプロマ・ポリシー			
	必修	選択				(1)	(2)	(3)	(4)
English IA	1		1	前期	演習 ²		◎		
English IB	1		1	前期	演習 ²		◎		
English IIA	1		1	後期	演習 ²		◎		
English IIB	1		1	後期	演習 ²		◎		
比較文化論		2	1	前期	講義	◎	○		
アメリカの歴史と文化 I	2(E)	2	1	後期	講義	○	◎		
アジアの歴史と文化 I	2(G)	2	1	前期	講義	○	◎		
アジアの歴史と文化 II	2(G)	2	1	後期	講義	○	◎		
日本の社会と文学	2(G)	2	1	前期	講義	○	◎		
国際平和論 I		2	1	後期	講義	◎			○
家族の社会学		2	1	後期	講義	◎			○
経営学入門		2	1	前期	講義	◎		○	
情報社会と倫理		2	1	前期	講義	◎			○
生涯学習論 I	2(共)	2	1	前期	講義	◎			○
生涯学習論 II		2	1	後期	講義	◎			○
ビジネス法規		2	1	後期	講義			◎	
ビジネス実務総論		2	1	前期	講義			◎	
異文化体験		2	1	後期	実験・実習 ¹	○	◎		○
フィールド・スタディ論	2(共)	2	1	後期	講義	○			◎
プレゼンテーション演習 I		2	1	前期	演習 ¹			◎	
プレゼンテーション演習 II		2	1	後期	演習 ¹			◎	
English Pronunciation	2(イ)	2	1	前期	演習 ¹	○	◎		
TOEIC Preparation I		1	1	後期	演習 ²		◎		
STEP Preparation		1	1	後期	演習 ²		◎		
English Tutorial I	1(イ)	1	1	前期	演習 ²		◎		
English Tutorial II	1(イ)	1	1	後期	演習 ²		◎		
中国語コミュニケーションI		1	1	前期	演習 ²		◎		
中国語コミュニケーションII		1	1	後期	演習 ²		◎		
韓国語コミュニケーションI		1	1	前期	演習 ²		◎		
韓国語コミュニケーションII		1	1	後期	演習 ²		◎		
日本語学 I		2	1	前期	講義		◎	○	
日本語学 II		2	1	後期	講義		◎	○	
教職論		2	1	後期	講義				◎
English IIIA	1		2	前期	演習 ²		◎		
English IIIB	1		2	前期	演習 ²		◎		
English IVA	1		2	後期	演習 ²		◎		
English IVB	1		2	後期	演習 ²		◎		
ヨーロッパの歴史と文化 I	2(イ)	2	2	後期	講義	○	◎		
アメリカの歴史と文化 II		2	2	前期	講義	○	◎		
イギリスの文学		2	2	前期	講義	○	◎		
アメリカの文学		2	2	後期	講義	○	◎		
アジアの歴史と文化 III	2(G)	2	2	前期	講義	○	◎		
日本語と日本文化		2	2	前期	講義	○	◎		
東北の伝統と文化		2	2	後期	講義	○	◎		
多文化社会論	2(共)	2	2	後期	講義	◎			○
国際関係論		2	2	後期	講義	◎			○
国際協力・援助論		2	2	前期	講義	◎			○
国際平和論 II		2	2	前期	講義	◎			○
人文地理学 I		2	2	前期	講義	◎			○
人文地理学 II		2	2	後期	講義	◎			○

授業科目	単位数		学年	学期	種別	ディプロマ・ポリシー			
	必修	選択				(1)	(2)	(3)	(4)
社会教育経営論Ⅰ	2	2	2	前期	講義	◎			○
社会教育経営論Ⅱ	2	2	2	後期	講義	◎			○
ビジネス・イングリッシュ	2	2	2	前期	演習 ¹		◎		
観光ホスピタリティ	2	2	2	前期	講義			◎	
観光の社会学	2	2	2	後期	講義	◎			○
ビジネス実務	2	2	2	前期	演習 ¹			◎	
ビジネス実務演習	2	2	2	後期	演習 ¹			◎	
会計学演習	2	2	2	前期	演習 ¹			◎	
ビジネス文書	2	2	2	前期	演習 ¹			◎	
国際プロトコール	2	2	2	前期	演習 ¹			◎	
応用文書処理演習	2	2	2	前期	演習 ¹			◎	
応用表計算演習	2	2	2	後期	演習 ¹			◎	
ITパスポートⅠ	2	2	2	後期	講義			◎	
トラベル実務	2	2	2	前期	講義			◎	
日本語教育研究Ⅰ	2	2	2	前期	講義		○	◎	
日本語教育研究Ⅱ	2	2	2	後期	講義		○	◎	
グローバル・インターンシップ	2	2	2	後期	実験・実習 ¹	○	◎		○
フィールド・スタディⅠ	2(共)	2	2	前期	演習 ¹	○			◎
フィールド・スタディⅡ	2	2	2	後期	演習 ¹	○			◎
Oral EnglishⅠ	1	2	2	前期	演習 ²		◎		
Oral EnglishⅡ	1	2	2	後期	演習 ²		◎		
English Grammar	2(イ)	2	2	前期	演習 ¹	○	◎		
TOEIC PreparationⅡ	1	2	2	前期	演習 ²		◎		
English Writing	1(イ)	1	2	後期	演習 ²		◎		
Media English	1	2	2	後期	演習 ²		◎		
中国語コミュニケーションⅢ	1	2	2	前期	演習 ²		◎		
中国語コミュニケーションⅣ	1	2	2	後期	演習 ²		◎		
韓国語コミュニケーションⅢ	1	2	2	前期	演習 ²		◎		
韓国語コミュニケーションⅣ	1	2	2	後期	演習 ²		◎		
日本語学Ⅲ	2	2	2	前期	講義		◎	○	
日本語学Ⅳ	2	2	2	後期	講義		◎	○	
教育・学校心理学	2	2	2	前期	講義				◎
教育行政学	2	2	2	前期	講義				◎
教育課程論	2	2	2	後期	講義				◎
道德教育の指導法	2	2	2	前期	講義				◎
特別活動の指導法	2	2	2	後期	講義				◎
中等英語教育法Ⅰ	2	2	2	後期	講義				◎
中等社会教育法Ⅰ(社会)	2	2	2	前期	講義				◎
中等社会教育法Ⅱ(社会)	2	2	2	後期	講義				◎
グローバル・スタディーズ総合演習Ⅰ	2	3	3	前期	演習 ¹	◎	○		
グローバル・スタディーズ総合演習Ⅱ	2	3	3	後期	演習 ¹	◎	○		
ヨーロッパの歴史と文化Ⅱ	2	3	3	前期	講義	○	◎		
児童文学論	2	3	3	後期	講義	◎	○		
言語文化論Ⅰ	2	3	3	前期	講義	◎	○		
言語文化論Ⅱ	2	3	3	後期	講義	◎	○		
イスラム社会と文化	2	3	3	後期	講義	◎			○
社会病理学	2	3	3	前期	講義	◎			○
生涯学習支援論	2	3	3	前期	講義	◎			○
学習社会と市民活動支援論	2	3	3	後期	講義	◎			○
現代社会と法	2	3	3	前期	講義	◎			○
地誌	2	3	3	後期	講義	◎			○
国際経済学	2	3	3	前期	講義	◎			○
国際経済開発論	2	3	3	後期	講義	◎			○
国際ビジネス論	2	3	3	前期	講義			◎	
マーケティング論	2	3	3	後期	講義			◎	
コンピュータ活用演習A	2	3	3	前期	演習 ¹			◎	
コンピュータ活用演習B	2	3	3	後期	演習 ¹			◎	
国際観光論	2	3	3	後期	講義			◎	
ITパスポートⅡ	2	3	3	前期	講義			◎	
観光ガイド英語	1	3	3	後期	演習 ²		○		◎
日本語教育法Ⅰ	2	3	3	前期	講義		○	◎	
日本語教育法Ⅱ	2	3	3	後期	講義		○	◎	

授業科目	単位数		学年	学期	種別	ディプロマ・ポリシー			
	必修	選択				(1)	(2)	(3)	(4)
児童英語教育法	2		3	前期	講義		○		◎
児童英語教育演習	2		3	後期	演習 ¹		○		◎
ビジネス・インターンシップ I	2		3	前期	演習 ¹			◎	
ビジネス・インターンシップ II	2		3	後期	演習 ¹			◎	
NPO・NGO・社会教育インターンシップ	2		3	※通年	演習 ¹	○			◎
Oral English III	1		3	前期	演習 ²		◎		
Oral English IV	1		3	後期	演習 ²		◎		
Advanced Reading	1		3	後期	演習 ²		◎		
中国語演習I	1		3	前期	演習 ²		◎		
中国語演習II	1		3	後期	演習 ²		◎		
韓国語演習I	1		3	前期	演習 ²		◎		
韓国語演習II	1		3	後期	演習 ²		◎		
特別支援教育論	2		3	後期	講義				◎
総合的な学習の時間の指導法	2		3	前期	講義				◎
教育相談	2		3	前期	講義				◎
教育方法論	2		3	前期	講義				◎
生徒指導・進路指導論	2		3	後期	講義				◎
教育実習の事前事後指導	1		3・4	3前～4後	演習 ¹				◎
中等英語教育法 II	2		3	前期	講義				◎
中等英語教育法 III	2		3	後期	講義				◎
中等社会教育法 III(社会・公民)	2		3	前期	講義				◎
中等社会教育法 IV(社会・公民)	2		3	後期	講義				◎
グローバル・スタディーズ総合演習 III	2		4	前期	演習 ¹	◎	○		
グローバル・スタディーズ総合演習 IV	2		4	後期	演習 ¹	◎	○		
卒業研究	4		4		その他	◎	○		
日本語教育実習	2		4	後期	実験・実習 ¹		○	○	◎
児童英語教育実習	1		4	後期	実験・実習 ¹		○		◎
教職実践演習(中・高)	2		4	後期	演習 ¹				◎
教育実習 I	4		4	通年	実験・実習 ¹				◎
教育実習 II	2		4	通年	実験・実習 ¹				◎
中等英語教育法 IV	2		4	前期	講義				◎

※イングリッシュインテンシブ・スタディコース、共生社会スタディコース、グローバル文化スタディコースによって必修・選択が異なる。(詳細は学生便覧を参照)

2021年度入学生 人間学部(共通開設科目、教職に関する科目) カリキュラムマップ

【人間学部】ディプロマポリシー

- (1) 建学の精神に則り、カトリック及びキリスト教について理解しており、その精神に基づいた世界観や人間観及び知識・能力を身につけていることを学位授与の条件とする。
- (2) 建学の精神に則り、全面的・調和的に発達した人間性や幅広い教養と豊かな感性を持ち、創造力、判断力、実践力を有するとともに、人間の真の幸福・平和・福祉に貢献できる女性となることを学位授与の条件とする。
- (3) 人間学部として提供する人間の理解や援助に関する専門的知識と、社会の変化に積極的に対応しうる判断力・思考力・実践力を持っていることを学位授与の条件とする。

授 業 科 目	単位数		学年	学期	種 別	(1)	(2)	(3)
	必修	選択						
キリスト教学 I A	2		1	前期	講義	◎	○	
キリスト教学 I B	2		1	後期	講義	◎	○	
英語 I	1		1	前期	演習 ²	◎	○	○
英語 II	1		1	後期	演習 ²	◎	○	○
フランス語 I A	1		1	前期	演習 ²	◎	○	○
フランス語 I B	1		1	後期	演習 ²	◎	○	○
ドイツ語 I A	1		1	前期	演習 ²	◎	○	○
ドイツ語 I B	1		1	後期	演習 ²	◎	○	○
スペイン語 I A	1		1	前期	演習 ²	◎	○	○
スペイン語 I B	1		1	後期	演習 ²	◎	○	○
中国語 I A	1		1	前期	演習 ²	◎	○	○
中国語 I B	1		1	後期	演習 ²	◎	○	○
韓国語 I A	1		1	前期	演習 ²	◎	○	○
韓国語 I B	1		1	後期	演習 ²	◎	○	○
共通基礎演習	1		1	前期	演習 ¹		◎	○
子ども総合セミナー	2		1	後期	演習 ¹		○	◎
心理福祉基礎演習 I	1		1	後期	演習 ²		◎	○
健康栄養基礎演習	1		1	後期	演習 ¹			◎
日本語表現 I	2		1	後期	講義		○	◎
情報処理概論	2		1	前期	演習 ¹			◎
キャリア・デザイン I	2		1	前・後	講義		○	◎
哲学(東洋哲学を含む)	2		1・2	前期	講義		○	◎
文学	2		1	後期	講義		◎	○
宗教学	2		1・2	後期	講義	○		◎
日本史 I	2		1	前期	講義			◎
日本史 II	2		1	後期	講義			◎
外国史 I	2		1・2	前期	講義			◎
心理学概論	2		1	前期	講義			◎
子どもの心理	2		1・2	後期	講義			◎
子ども論	2		1	前期	講義			◎
情報社会と倫理	2		1	前期	講義			◎
社会学基礎論	2		1	前期	講義			◎
コミュニケーション論	2		1	後期	講義			◎
ジェンダー論	2		1・2	前期	講義		◎	○
経済学	2		1	前・後	講義			◎
国際関係論	2		1	後期	講義			◎
社会福祉学	2		1・2	前期	講義		○	◎
法学	2		1	後期	講義			◎
日本国憲法	2		1	前期	講義			◎
教育学概論	2		1	前期	講義			◎
社会学	2		1	前期	講義			◎
環境科学	2		1・2・4	後期	講義			◎
健康科学	2		1・2	後期	講義			◎
数学	2		1	前期	講義			◎
統計学	2		1・3	前期	講義			◎
生命科学	2		1・2・4	前・後	講義			◎
情報科学	2		1	前・後	演習 ¹			◎
情報処理 I	1		1	前・後	実験・実習 ¹			◎
健康とスポーツA	1※		1	前期	実験・実習 ¹			◎
健康とスポーツB	1※		1	後期	実験・実習 ¹			◎

教職論	2	1	後期	講義			◎
キリスト教Ⅱ	2	2	前・後	講義	◎	○	
オーラル・コミュニケーションⅠ	1	2	前期	演習 ²	◎	○	○
オーラル・コミュニケーションⅡ	1	2	後期	演習 ²	◎	○	○
フランス語ⅡA	1	2	前期	演習 ²	◎	○	○
フランス語ⅡB	1	2	後期	演習 ²	◎	○	○
ドイツ語ⅡA	1	2	前期	演習 ²	◎	○	○
ドイツ語ⅡB	1	2	後期	演習 ²	◎	○	○
スペイン語ⅡA	1	2	前期	演習 ²	◎	○	○
スペイン語ⅡB	1	2	後期	演習 ²	◎	○	○
中国語ⅡA	1	2	前期	演習 ²	◎	○	○
中国語ⅡB	1	2	後期	演習 ²	◎	○	○
韓国語ⅡA	1	2	前期	演習 ²	◎	○	○
韓国語ⅡB	1	2	後期	演習 ²	◎	○	○
心理福祉基礎演習Ⅱ	1	2	前期	演習 ²		◎	○
心理福祉基礎演習Ⅲ	1	2	後期	演習 ²		◎	○
グローバル・スタディーズ基礎演習	2	2	前期	演習 ¹			◎
日本語表現Ⅱ	2	2	前期	講義		○	◎
キャリア・デザインⅡ	2	2	前・後	講義		○	◎
外国史Ⅱ	2	2	後期	講義			◎
政治学	2	2	前期	講義			◎
自然地理学	2	2	前期	講義			◎
情報処理Ⅱ	2	2	前・後	演習 ¹			◎
教育・学校心理学	2	2	前期	講義			◎
教育行政学	2	2・3	前期	講義			◎
中等英語教育法Ⅰ	2	2	後期	講義			◎
中等社会教育法Ⅰ(社会・公民)	2	2	前期	講義			◎
中等社会教育法Ⅱ(社会・公民)	2	2	後期	講義			◎
教育課程論	2	2	前期	講義			◎
道德教育の指導法	2	2・3	前期	講義			◎
特別活動の指導法	2	2	後期	講義			◎
人間論	2	3	前・後	講義	◎	○	
キャリア・デザインⅢ	1	3	通年	実験・実習 ¹		○	◎
宗教と文学	2	3	前期	講義	◎	○	○
宗教と音楽	2	3	前・後	講義	◎	○	○
宗教と美術	2	3	後期	講義	◎	○	○
児童文化論	2	3	前期	講義			◎
食文化論	2	3	前期	講義			◎
食と健康の英語	2	3	前期	講義			◎
消費生活論	2	3	前期	講義			◎
中等英語教育法Ⅱ	2	3	前期	講義			◎
中等英語教育法Ⅲ	2	3	後期	講義			◎
中等社会教育法Ⅲ(社会・公民)	2	3	前期	講義			◎
中等社会教育法Ⅳ(社会・公民)	2	3	後期	講義			◎
総合的な学習の時間の指導法	2	3	前期	講義			◎
教育相談	2	3	前期	講義			◎
教育方法論	2	3	後期	講義			◎
生徒指導論	2	3	前期	講義			◎
生徒指導・進路指導論	2	3	前期	講義			◎
教育実習の事前事後指導	1	3・4	3前~4後	演習 ²		○	◎
学校栄養教育実習の事前事後指導	1	3・4	3前~4後	演習 ²			◎
中等英語教育法Ⅳ	2	4	前期	講義			◎
教育実習Ⅰ	4	4	前期	実験・実習 ¹		○	◎
教育実習Ⅱ	2	4	前期	実験・実習 ¹		○	◎
学校栄養教育実習	1	4	後期	実験・実習 ²			◎
教職実践演習(中・高)	2	4	後期	演習 ¹		○	◎
教職実践演習(栄養)	2	4	後期	演習 ¹			◎

※心理福祉学科、健康栄養学科は必修

2021年度入学生 人間発達学科 カリキュラムマップ

【ディプロマポリシー】

- (1) 教育・保育に関する様々な専門領域の学習を通して、人間科学としての教育学・保育学の基礎を身につけている。
- (2) 保育士、幼稚園教諭、小学校教諭等の教育・保育に関する職業をめざす学生は、子どもの成長発達を支える専門職として必要な知識・技能を十分身につけている。
- (3) 社会人として必要なコミュニケーション能力や人間関係能力、および、職業人として必要な使命感や責任感を身につけている。
- (4) 教育者・保育者として必要な、子どもへの豊かな愛情とヒューマンイズムの精神を身につけている。

授 業 科 目	単位数		年 次	学 期	種 別	(1)	(2)	(3)	(4)
	必修	選択							
教育学概論(初等)	2		1	前期	講義	◎	◎	○	◎
子ども論	2		1	前期	講義	◎	◎	○	◎
音楽入門		2	1	前期	演習 ¹	○	◎	○	○
保育原理		2	1	前期	講義	○	◎	○	○
教職論(幼稚園)		2	1	前期	講義	○	◎	○	○
発達心理学		2	1	前期	講義	○	◎	○	○
ピアノ入門A		1	1	前期	演習 ¹		◎		
ピアノ入門B		1	1	後期	演習 ¹		◎		
幼児教育論	2		1	前期	講義	◎	◎	○	◎
幼児教育基礎演習A		1	1	後期	演習 ²	◎	○	○	
教職論(小学校)		2	1	後期	講義	◎	◎	◎	○
初等国語		2	1	後期	講義	○	◎	○	○
初等算数		2	1	後期	講義	○	◎	○	○
小学校理科		2	1	後期	講義	○	◎	○	○
初等生活		2	1	後期	講義	○	◎	○	○
子どもと造形A		1	1	後期	演習 ¹	○	◎		
保育者論		2	1	後期	講義	○	◎	○	○
子どもの保健		2	1	後期	講義	◎	○	○	○
STEP Preparation		1	1	後期	演習 ²	△	◎	△	△
TOEIC PreparationI		1	1	後期	演習 ²	△	◎	△	△
幼児教育基礎演習B		1	2	前期	演習 ²	◎	○	○	
初等教育基礎演習		2	2	前期	演習 ¹	○	◎	○	○
教育心理学(初等)		2	2	前期	講義	○	◎	○	○
教育行政学(初等)		2	2	後期	講義	◎	○	○	○
保育内容(健康)		2	2	後期	演習 ¹		◎	○	
保育内容(人間関係)		2	2	前期	演習 ¹	○	◎	○	○
保育内容(環境)		2	2	後期	演習 ¹	○	◎	○	○
保育内容(言葉)		2	2	前期	演習 ¹		◎	○	
保育内容(表現(音楽))		2	2	後期	演習 ¹		◎	○	
保育内容(表現(身体))		2	2	後期	演習 ¹		◎	○	
保育内容(表現(造形))		2	2	後期	演習 ¹	◎	◎	○	
初等教科教育法(国語)		2	2	前期	講義	○	◎	○	○
初等教科教育法(社会)		2	2	後期	講義	○	◎	○	○
初等教科教育法(算数)		2	2	前期	講義	○	◎	○	○
初等教科教育法(理科)		2	2	前期	講義	○	◎	○	○
初等教科教育法(生活)		2	2	前期	講義	○	◎	○	○
初等教科教育法(音楽)		2	2	後期	講義		◎		
初等教科教育法(図画工作)		2	2	後期	講義	◎	◎	○	
初等教科教育法(家庭)		2	2	後期	講義	○	◎	○	○
初等教科教育法(体育)		2	2	後期	講義	○	◎	◎	
初等教科教育法(英語)		2	2	後期	講義	○	◎	◎	○
小学校社会		2	2	前期	講義	○	◎	○	○
小学校英語		2	2	前期	講義	○	◎	△	△
子どもと音楽		2	2	前期	演習 ¹	○	◎	○	○
ピアノI A		1	2	前期	演習 ²		◎		
ピアノI B		1	2	後期	演習 ²		◎		
子どもと造形B		1	2	前期	演習 ¹	○	◎		
小学校家庭		2	2	前期	講義	○	◎	○	○
子どもと体育		2	2	前期	演習 ¹	○	◎	○	○
子ども家庭福祉		1	2	前期	講義	○	◎	○	○
社会的養護 I		2	2	前期	講義	○	◎	○	○
保育の心理学		2	2	後期	講義	○	◎		
保育の計画と評価		2	2	前期	講義	○	◎	○	○
乳児保育 I		2	2	前期	講義	○	◎	○	○
乳児保育 II		2	2	後期	演習 ¹	○	○	◎	○
子どもの心理		2	2	後期	講義	◎	○	○	○
English Pronunciation		2	2	後期	講義	△	◎	△	△
児童英語概論		2	2	後期	講義	○	◎	△	△
TOEIC PreparationII		1	2	前期	演習 ²	△	◎	△	△
指導法の研究		2	2	後期	演習 ¹	○	◎	○	○

授 業 科 目	単位数		年 次	学 期	種 別	(1)	(2)	(3)	(4)
	必修	選択							
子ども発達総合演習Ⅰ	2		3	前期	演習 ¹	○	◎	○	○
子ども発達総合演習Ⅱ	2		3	後期	演習 ¹	○	◎	○	○
特別支援教育論(初等)		2	3	後期	講義	◎	○	○	○
教育課程論(初等)		2	3	前期	講義	◎	○	○	○
教育方法論(初等)		2	3	後期	講義	◎	○	○	○
幼児理解論		2	3	前期	講義	○	◎		
生徒指導・進路指導論(初等)		2	3	前期	講義	○	○	○	○
教育相談(初等)		2	3	前期	講義	◎	◎	○	○
道德教育の指導法(初等)		2	3	前期	講義	○	○	○	○
総合的な学習の時間の指導法(初等)		2	3	前期	講義	○	○	○	○
特別活動の指導法(初等)		2	3	前期	講義	○	○	○	○
初等教育実習の事前事後指導A		1	3	前期	演習 ¹	○	○	◎	○
初等教育実習の事前事後指導B		1	3	後期	演習 ¹	○	○	◎	○
初等教育実習		4	3	後期	実験・実習 ¹	○	○	◎	○
書道		2	3	前期	講義	○	◎	○	○
ピアノⅡ		2	3	前期	演習 ¹		◎		
声楽・器楽		2	3	前期	演習 ¹	○	◎	○	○
小学校授業実践演習(文系)		2	3	前期	演習 ¹	○	◎	○	○
小学校授業実践演習(理系)		2	3	後期	演習 ¹	○	◎	○	○
子どもの食と栄養		2	3	前期	演習 ¹	○	◎	○	○
障害児保育演習		2	3	前期	演習 ¹	○	◎	○	○
社会的養護Ⅱ		1	3	前期	演習 ¹	○	◎	○	○
子ども家庭支援論		2	3	後期	講義	○	◎	○	◎
子育て支援		1	3	後期	演習 ¹	○	◎	○	○
保育内容の理解と方法Ⅰ		2	3	前期	演習 ¹	○	◎	○	
保育実習指導ⅠA		1	3	前期	演習 ²	○	○	◎	
保育実習Ⅱ		2	3	後期	実験・実習 ¹		○	◎	○
保育実習指導Ⅱ		1	3	後期	実験・実習 ¹	○	○	◎	
教育政策論		2	3	後期	講義	◎	○	○	○
メディアの教育利用		2	3	後期	講義	◎	○	○	○
障害者・障害児心理学		2	3	前期	講義	○	◎	○	○
児童文化論		2	3	前期	講義	◎	◎	○	◎
地域保育論		2	※	※	講義	◎	○	○	○
Listening Comprehension		2	3	前期	講義	△	◎	△	△
児童英語教授法演習		2	3	前期	演習 ¹	○	◎	△	△
学校と地域社会教育実習		1	3	前期	演習 ²	◎	○	○	○
子どもと地域文化実習		1	3	後期	演習 ²	○	◎	○	○
子ども発達総合演習Ⅲ	2		4	前期	演習 ¹	○	◎	○	○
子ども発達総合演習Ⅳ	2		4	後期	演習 ¹	○	◎	○	○
子ども発達学	2		4	後期	講義	◎	◎	○	◎
卒業研究		4	4	通年	その他	○	◎	○	○
保育内容総論	2		4	前期	演習 ¹	◎	○	○	○
保育・教職実践演習	2		4	後期	演習 ¹	○	○	◎	○
小学校授業研究演習Ⅰ	2		4	前期	演習 ¹	○	◎	○	○
小学校授業研究演習Ⅱ	2		4	後期	演習 ¹	○	◎	○	○
子ども家庭支援の心理学	2		4	前期	講義	○	◎	○	○
子どもの理解と援助	1		4	前期	演習 ¹	○	◎		
子どもの健康と安全	1		4	前期	演習 ¹	○	◎	○	○
保育内容の理解と方法Ⅱ	2		4	前期	演習 ¹	○	◎	○	
保育実習Ⅰ	4	※	※		実験・実習 ¹		○	◎	○
保育実習指導ⅠB	1		4	前期	演習 ¹	○	○	◎	
発達障害論	2		4	前期	講義	○	◎		○
キリスト教と教育	2		4	後期	講義	◎	○	○	○
児童文学論		2	4	前期	講義	◎	○	○	○
人権と教育		2	4	後期	講義	○	◎	○	○

2021年度入学生 心理福祉学科 カリキュラムマップ

【心理福祉学科】ディプロマ・ポリシー

- (1) 心理・福祉の専門性に基づき、様々な立場から人間の理解に基づく支援活動を計画し実践するために必要な意欲・態度および能力を身につけている。
- (2) 他者との関わり合いの中で、自己と他者の力を互いに引き出し合いながら協調・協働する意欲と能力を身につけている。
- (3) 社会福祉学の知識や技能を基盤として、個人と社会を関連づけながら幸福とは何かを追求する能力を身につけている。(福祉コース)
- (4) 社会福祉学の知識を踏まえて、社会福祉の対象者や地域と直接的、間接的にかかわり主体的に行動する態度を身につけている。(福祉コース)
- (5) 地域住民として、女性として、福祉専門職として社会に貢献できる総合的な能力を身につけている。(福祉コース)
- (6) 心理学の多様な視点(生理・認知・社会)から、人の心のはたらきと行動を科学的に理解するための知識を備え、現代社会の様々な問題にそれらを応用することができる。(心理コース)
- (7) 科学的な人間理解のための研究法や、その結果を適切に報告するためのプレゼンテーション能力、議論するためのコミュニケーション能力を備えている。
- (8) 心理学の知識と技法を用いて、自分自身の理解と成長、他者との良好な人間関係づくりに役立てられる。(心理コース)

授 業 科 目	単位数		学年	学期	種 別	ディプロマ・ポリシー									
	必修	選択				(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		
心理福祉入門	2		1	前期	講義	◎									
心理学概論	2		1	前期	講義						◎				
心理学基礎論	2		1	後期	講義						◎				
社会福祉の原理と政策Ⅰ	2		1	前期	講義	◎									
社会福祉の原理と政策Ⅱ	2		1	後期	講義	◎									
心理学統計法Ⅰ		2※	1	前期	講義								◎		
心理学統計法Ⅱ		2※	1	後期	講義								◎		
心理学実験Ⅰ		2※	1	後期	実験・実習 ¹								◎	◎	○
発達心理学	2		1	前期	講義							◎			
子どもの心理	2		1	後期	講義							◎			
コミュニケーション論	2		1	前期	講義				○						○
ソーシャルワークの基盤と専門職	2		1	前期	講義				◎						
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	2		1	後期	講義				◎						
児童・家庭福祉	2		1	前期	講義				◎						
障害者福祉	2		1	後期	講義				◎						
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2		1	後期	講義				◎						
人体の構造と機能及び疾病	2		1	前期	講義				◎						
社会学	2		1	前期	講義				◎						
心理福祉国際体験実習	1		1	後期	実験・実習 ¹	◎	○								
心理調査概論	2		2	前期	講義							○	◎		
心理学研究法A(観察法・実験法)	1		2	後期	演習 ²							○	◎		
心理学研究法B(調査法・面接法)	1		2	後期	演習 ²							○	◎	○	
心理学基礎演習Ⅰ(論文講読)	1		2	前期	演習 ²							○	◎		
心理学実験Ⅱ	2		2	前期	実験・実習 ¹								◎		○
公認心理師の職責	2		2	後期	講義							◎			
知覚・認知心理学	2		2	後期	講義							◎			
神経・生理心理学Ⅰ	2		2	前期	講義							◎			
神経・生理心理学Ⅱ	2		2	後期	講義							◎			
青年・成人の心理	2		2	前期	講義							◎			
高齢者の心理と支援	2		2	後期	講義							◎			
教育・学校心理学	2		2	前期	講義							◎			
臨床心理学概論	2		2	後期	講義							◎			
感情・人格心理学	2		2	後期	講義							◎			
社会・集団・家族心理学A(社会心理学)	2		2	前期	講義							◎			
生活と健康A	2		2	前期	講義			○				◎			
生活と健康B	2		2	後期	講義			○				◎			
社会保障Ⅰ	2		2	前期	講義			◎	○						
社会保障Ⅱ	2		2	後期	講義			◎	○						
地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2		2	前期	講義			◎	○						
地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2		2	後期	講義			◎	○						
精神保健福祉の原理Ⅰ	2		2	前期	講義				◎						
精神保健福祉の原理Ⅱ	2		2	後期	講義				◎						
高齢者福祉	2		2	前期	講義			◎	○						
貧困に対する支援	2		2	後期	講義			◎	○						
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2		2	前期	講義				◎						
ソーシャルワーク論Ⅰ	2		2	後期	講義				◎						
権利擁護を支える法制度	2		2	後期	講義				◎						
ソーシャルワーク演習	1		2	前期	演習 ²	○	○					◎			
ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ	1		2	後期	演習 ²	○	○					◎			
社会福祉援助技術実習指導Ⅰ	1		2	後期	演習 ²	○	○					◎			
現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	2		2	前期	講義					◎					
現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	2		2	後期	講義					◎					
精神保健福祉制度論	2		2	前期	講義				◎						
社会福祉研究法	2		2	前期	講義							○			
社会福祉研究法演習	1		2	後期	演習 ²				◎			○			
コミュニケーション演習	1		2	前期	演習 ²	○	◎								
レクリエーション論	2		2	前期	講義				◎						
レクリエーション演習	1		2	後期	演習 ²	○	◎								
レクリエーション実習	1		2	後期	実験・実習 ¹	○	◎								
国際福祉論Ⅰ	2		2	前期	講義				◎						
国際福祉論Ⅱ	2		2	後期	講義				◎						
国際福祉フィールドワーク	1		2	後期	実験・実習 ¹				○			◎			
国際協力・援助論	2		2	後期	講義				◎						

授 業 科 目	単位数		学年	学期	種 別	ディプロマ・ポリシー							
	必修	選択				(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
心理福祉専門演習Ⅰ	1		3	前期	演習 ²	◎	○	○	○	○	○	○	○
心理福祉専門演習Ⅱ	1		3	後期	演習 ²	◎	○	○	○	○	○	○	○
心理的アセスメント	2		3	前期	講義					○	◎	○	
心理学基礎演習Ⅱ(英文講読)	1		3	前期	演習 ²					○	◎		
心理査定実習	2		3	後期	実験・実習 ¹						◎	○	
学習・言語心理学	2		3	後期	講義					◎			
健康・医療心理学	2		3	後期	講義					◎			
心理学的支援法(講義)	2		3	前期	講義					◎		○	○
心理学的支援法(演習)	1		3	後期	講義						◎	○	○
障害者・障害児心理学	2		3	前期	講義					◎			
福祉心理学	2		3	前期	講義					◎			
司法・犯罪心理学	2		3	前期	講義					◎			
社会・集団・家族心理学B(家族心理学)	2		3	前期	講義					◎			
産業・組織心理学	2		3	前期	講義					◎			
生活と健康C	2		3	前期	講義			○		◎			
生活と健康D	2		3	後期	講義			○		◎			
心理演習Ⅰ	1		3	前期	演習 ²	○					◎	○	
心理演習Ⅱ	1		3	後期	演習 ²	○					◎	○	
ソーシャルワーク論Ⅱ	2		3	前期	講義				◎				
ソーシャルワークの理論と方法(専門)A	2		3	前期	講義				◎				
ソーシャルワークの理論と方法(専門)B	2		3	後期	講義				◎				
保健医療と福祉	2		3	前期	講義				◎				
社会調査論	2		3	後期	講義				◎				
ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ	2		3	通年	演習 ²	○	○			◎			
社会福祉援助技術実習	5		3	前期	実験・実習 ²	○	○			◎			
社会福祉援助技術実習指導Ⅱ	2		3	通年	演習 ²	○	○			◎			
精神疾患とその治療Ⅰ	2		3	前期	講義				◎				
精神疾患とその治療Ⅱ	2		3	後期	講義				◎				
精神障害リハビリテーション論	2		3	後期	講義				◎				
精神保健福祉援助演習(基礎)	1		3	前期	演習 ²	○	○			◎			
精神保健福祉援助演習Ⅰ	1		3	後期	演習 ²	○	○			◎			
精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	1		3	後期	演習 ²	○	○			◎			
専門職連携セミナー	1		3	後期	演習 ²	◎				○		○	
質的調査法	2		3	後期	講義	◎						○	
国際経済開発論	2		3	後期	講義				◎				
国際経済学	2		3	前期	講義				◎				
発達障害論	2		3	後期	講義					◎			
社会病理学	2		3	前期	講義	◎		○					
心理福祉専門演習Ⅲ	1		4	前期	演習 ²	◎	○	○	○	○	○	○	○
心理福祉専門演習Ⅳ	1		4	後期	演習 ²	◎	○	○	○	○	○	○	○
卒業研究	4※		4	後期	その他	◎	○	○	○	○	○	○	○
福祉サービスの組織と経営	2		4	前期	講義				◎				
刑事司法と福祉	2		4	前期	講義				◎				
ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ	1		4	前期	演習 ²	○	○			◎			
精神保健福祉援助演習Ⅱ	2		4	通年	演習 ²	○	○			◎			
精神保健福祉援助実習	5		4	通年	実験・実習 ²	○	○			◎			
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	1		4	通年	演習 ²	○	○			◎			
関係行政論	2		4	後期	講義	◎							
社会調査実習	2		4	通年	実験・実習 ¹	◎	○		○			○	
心理実習	2		3・4	3後-4前	実験・実習 ¹	○					○	◎	○

※福祉コース、心理コースによって必修・選択が異なる

2021年度入学生 健康栄養学科 カリキュラムマップ

【ディプロマポリシー】

1. 人の健康と栄養および疾病の成り立ちに関する専門基礎知識を身につけている。
2. 人間の食行動と食環境を把握しエビデンスに基づく基準に照らして、健康・栄養課題への支援や対策の実践的方法の基礎を身につけている。
3. ヒューマンイズムと倫理観を持って社会に貢献し、人々との信頼関係(又は、良好な人間関係)を築く素養を身につけている。
4. 健康や食に関する多種の専門分野から得意の分野を併せ持った管理栄養士としての自覚を持つことができる。

授業科目	単位数		年次	学期	種別	1. 健康・栄養・疾病の専門基礎知識			2. エビデンスに基づく支援・対策			3. 社会に貢献、信頼関係を気づく			4. 得意の分野を併せもった自覚		
	必修	選択				態度・倫理	技術・方法	知識・理解	態度・倫理	技術・方法	知識・理解	態度・倫理	技術・方法	知識・理解	態度・倫理	技術・方法	知識・理解
健康栄養論	2		1	前期	講義	◎			○	○		◎	○	○	◎	○	○
有機化学	2		1	前期	講義		○	◎							○	○	○
微生物学		2	1	前期	講義		○	◎		○	◎	◎		○	◎	○	○
解剖生理学 I	2		1	後期	講義		○	◎		◎	◎	◎	○	◎	○	○	○
解剖生理学実験 I	1		1	前期	実験・実習		○	◎		◎	◎	◎	○	◎	○	○	○
食品学 I	2		1	前期	講義		○	◎		○	◎	◎		○	○	◎	◎
食品学 II	2		1	後期	講義	○		○	○	◎			○	○	◎		◎
食品学実験 I	1		1	前期	実験・実習		◎	○		◎	◎	◎	○		○	◎	○
食品学実験 II	1		1	後期	実験・実習	○		○	◎	◎	◎		○		○	◎	○
食事設計論	2		1	後期	講義	○	○	◎	○	○	◎	○	○	○	○	○	○
調理科学	2		1	前期	講義	○	○	◎	○	○	◎			○	○	○	◎
調理学実習 I	1		1	前期	実験・実習	○	◎	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○
調理学実習 II	1		1	後期	実験・実習	○	◎	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○
基礎栄養学	2		1	後期	講義	◎	○	◎		○	○			○	○	○	○
栄養教育論 I	2		1	後期	講義	○	○	◎		◎	○	○		◎		○	○
臨床栄養学 I	2		1	後期	講義	○	○	◎	○	○	◎	○	○	○	○	○	○
栄養疫学		2	2	後期	講義		○	◎		◎	○			○		◎	○
栄養と身体活動		1	2	後期	演習				○	○	○				◎	◎	◎
公衆衛生学	2		2	前期	講義	○	○	◎		◎	○	○		◎		○	○
健康管理概論		2	2	後期	講義		◎	○		◎	◎	◎	○				○
社会保障論	2		2	後期	講義	◎		○	◎		○	○		◎		○	○
生化学 I	2		2	前期	講義		○	◎		○	◎	○		○	○	◎	◎
生化学 II	2		2	後期	講義		○	◎		○	◎	○		○	○	◎	◎
生化学実験	1		2	後期	実験・実習		◎	○	○	◎	○	○		○	○	◎	○
解剖生理学 II	2		2	前期	講義		○	◎		◎	◎	◎	○	◎	○	○	○
解剖生理学実験 II		1	2	前期	実験・実習			◎		◎	◎	◎	○	◎	○	○	○
病気と栄養 I		2	2	後期	講義		○	◎		◎	◎	◎	○	◎	○	○	○
食品加工学	2		2	後期	講義				○	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎
食品衛生学	2		2	前期	講義		○	◎		○	◎	◎		○	○	◎	◎
食品衛生学実験	1		2	後期	実験・実習			◎		○	◎	◎		○	○	◎	◎
基礎栄養学実験		1	2	前期	実験・実習		○	○							○	○	○
応用栄養学 I	2		2	前期	講義		○	◎		○	◎	◎	○	◎	○	○	◎
応用栄養学 II	2		2	後期	講義		○	◎		○	◎	◎	○	◎	○	○	◎
応用栄養学実習	1		2	前期	実験・実習		○	◎		◎	◎	◎	○	◎	○	◎	◎
栄養教育論 II	2		2	前期	講義		○	◎		◎	◎	◎		◎		○	○
栄養教育論実習	1		2	前期	実験・実習		◎	○		◎	◎	◎	○	◎		◎	○
臨床栄養学 II	2		2	前期	講義	○		◎			○	○		○	○	○	○
臨床栄養学実習 I	1		2	後期	実験・実習		○	◎		◎	◎		◎	◎	○	◎	◎
栄養アセスメント		2	2	後期	講義	◎	◎	◎		○	○		◎	◎	○	◎	◎
給食経営管理 I	2		2	前期	講義		○	◎		○	◎			○	○	○	○
給食経営管理 II	2		2	後期	講義		○	◎		○	◎			○	○	○	○
給食経営管理実習	2		2	後期	実験・実習		○	◎		○	◎		◎	◎	○	◎	◎
食事介助演習		2	2	前期	演習		○	◎		○	◎		○	◎	○	◎	◎
健康栄養研究法 I	1		3	前期	演習		○	◎		◎	○	○		◎	○	◎	◎
健康栄養研究法 II	1		3	後期	演習		○	◎		◎	○	○		◎	○	◎	◎
管理栄養演習 I	2		3	後期	演習		○	◎		○	◎		○	◎	○	◎	◎
衛生法規		2	3	前期	講義		○	◎			◎	◎		◎	○	◎	◎
病気と栄養 II		2	3	前期	講義		○	◎		◎	◎	◎	○	◎	○	◎	◎
食品機能論	2		3	前期	講義	◎	○	◎		◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎
食品加工学実習		1	3	前期	実験・実習					○	◎	◎	○	◎	○	◎	◎
調理学実験	1		3	前期	実験・実習		○	◎		○	◎	◎	○	◎	○	◎	◎
スポーツ科学と栄養		2	3	前期	講義		○	◎		○	◎		◎	◎	○	◎	◎
栄養カウンセリング論	2		3	後期	講義	◎		○	◎		○	◎		◎		○	◎
臨床栄養学実習 II		1	3	前期	実験・実習		◎	◎		◎	◎		◎	◎	○	◎	◎
栄養療法		2	3	前期	講義	◎	◎	◎		◎	◎	◎		◎	○	◎	◎
公衆栄養学 I	2		3	前期	講義	◎	◎	◎		○	○	○		○	○	○	○
公衆栄養学 II		2	3	後期	講義	○	○	◎		○	○	◎		◎		○	◎
公衆栄養学実習	1		3	後期	実験・実習		○	◎		○	◎		◎	◎	○	◎	◎
臨地実習指導(給食経営管理論)		1	3	※通年	演習		○	◎		○	◎		◎	◎	○	◎	◎
臨地実習指導(臨床栄養学)		1	3	※通年	演習		○	◎		○	◎		◎	◎	○	◎	◎
給食経営管理論臨地実習 I	1		3	後期	実験・実習		○	◎		○	◎		◎	◎	○	◎	◎
給食経営管理論臨地実習 II		1	3	後期	実験・実習		○	◎		○	◎		◎	◎	○	◎	◎
臨床栄養学臨地実習 I		1	3	後期	実験・実習		○	◎		○	◎		◎	◎	○	◎	◎
臨床栄養学臨地実習 II		1	3	後期	実験・実習		○	◎		○	◎		◎	◎	○	◎	◎
フードコーディネーター論	2		3	後期	講義		○	◎		○	◎		○	◎	○	◎	◎
食品の官能評価・鑑別論	2		3	後期	講義		○	◎		○	◎		○	◎	○	◎	◎
学校栄養教育論	2		3	前期	講義			◎		○	◎			○	○	○	○
学校栄養教育法	2		3	後期	講義		○	◎		○	◎		○	◎	○	◎	◎
卒業研究		4	4	後期	その他		○	◎		○	◎		○	◎	○	◎	◎
管理栄養演習 II	2		4	前期	演習		○	◎		○	◎		○	◎	○	◎	◎
管理栄養演習 III	2		4	前期	演習		○	◎		○	◎		○	◎	○	◎	◎
総合演習 I		1	4	前期	演習		○	◎		○	◎		○	◎	○	◎	◎
総合演習 II		1	4	後期	演習		○	◎		○	◎		○	◎	○	◎	◎
臨地実習指導(公衆栄養学)		1	4	※通年	演習		○	◎		○	◎		◎	◎	○	◎	◎
公衆栄養学臨地実習		1	4	後期	実験・実習								◎	◎	◎	◎	◎
食品開発論	2		4	後期	講義		○	◎		○	◎		○	◎	○	◎	◎
フードシステム論	2		4	前期	講義		○	◎		○	◎		○	◎	○	◎	◎
フードスペシャリスト論		2	4	前期	講義		○	◎		○	◎		○	◎	○	◎	◎

2021年度 グローバル・スタディーズ学科 カリキュラムマップ

【GS学科】ディプロマポリシー

- (1) グローバル社会における複雑な構造やシステムおよび多様な文化的事象を理解するために必要な専門的知識を身につけ、豊かな教養を備えている。
 (2) 英語をはじめとする外国語の運用能力や実践的コミュニケーション能力を身につけ、その言語を育んだ文化的背景と歴史的意義を理解している。
 (3) グローバル時代に活躍するために必要な日本語表現能力、情報処理の基礎技能を有し、キャリアについての基本的知識とアプローチの方法を理解している。
 (4) グローバル社会・文化の理解と同時に、自らの枠にとられない客観的な判断力を持ち、問題解決のための創造力や行動力を有す

授業科目	単位数		学年	学期	種別	ディプロマ・ポリシー			
	必修	選択				(1)	(2)	(3)	(4)
English IA	1		1	前期	演習 ²		◎		
English IB	1		1	前期	演習 ²		◎		
English IIA	1		1	後期	演習 ²		◎		
English IIB	1		1	後期	演習 ²		◎		
比較文化論		2	1	前期	講義	◎	○		
アメリカの歴史と文化 I	2(E)	2	1	後期	講義	○	◎		
アジアの歴史と文化 I	2(G)	2	1	前期	講義	○	◎		
アジアの歴史と文化 II	2(G)	2	1	後期	講義	○	◎		
日本の社会と文学	2(G)	2	1	前期	講義	○	◎		
国際関係論		2	1	後期	講義	◎			○
国際平和論 I		2	1	後期	講義	◎			○
家族の社会学		2	1	後期	講義	◎			○
経営学入門		2	1	前期	講義	◎		○	
情報社会と倫理		2	1	前期	講義	◎			○
生涯学習論 I	2(共)	2	1	前期	講義	◎			○
生涯学習論 II		2	1	後期	講義	◎			○
ビジネス法規		2	1	後期	講義			◎	
ビジネス実務総論		2	1	前期	講義			◎	
異文化体験		2	1	後期	実験・実習 ¹	○	◎		○
フィールド・スタディ論	2(共)	2	1	後期	講義	○			◎
プレゼンテーション演習 I		2	1	前期	演習 ¹			◎	
プレゼンテーション演習 II		2	1	後期	演習 ¹			◎	
English Pronunciation	2(イ)	2	1	前期	演習 ¹	○	◎		
TOEIC Preparation I		1	1	後期	演習 ²		◎		
STEP Preparation		1	1	後期	演習 ²		◎		
English Tutorial I	1(イ)	1	1	前期	演習 ²		◎		
English Tutorial II	1(イ)	1	1	後期	演習 ²		◎		
中国語コミュニケーションI		1	1	前期	演習 ²		◎		
中国語コミュニケーションII		1	1	後期	演習 ²		◎		
韓国語コミュニケーションI		1	1	前期	演習 ²		◎		
韓国語コミュニケーションII		1	1	後期	演習 ²		◎		
日本語学 I		2	1	前期	講義		◎	○	
日本語学 II		2	1	後期	講義		◎	○	
教職論		2	1	後期	講義				◎
English IIIA	1		2	前期	演習 ²		◎		
English IIIB	1		2	前期	演習 ²		◎		
English IVA	1		2	後期	演習 ²		◎		
English IVB	1		2	後期	演習 ²		◎		
ヨーロッパの歴史と文化 I	2(イ)	2	2	後期	講義	○	◎		
アメリカの歴史と文化 II		2	2	前期	講義	○	◎		
イギリスの文学		2	2	前期	講義	○	◎		
アメリカの文学		2	2	後期	講義	○	◎		
アジアの歴史と文化 III	2(G)	2	2	前期	講義	○	◎		
日本語と日本文化		2	2	前期	講義	○	◎		
東北の伝統と文化		2	2	後期	講義	○	◎		
多文化社会論	2(共)	2	2	後期	講義	◎			○
国際協力・援助論		2	2	後期	講義	◎			○
国際平和論 II		2	2	前期	講義	◎			○
人文地理学 I		2	2	前期	講義	◎			○
人文地理学 II		2	2	後期	講義	◎			○

授業科目	単位数		学年	学期	種別	ディプロマ・ポリシー			
	必修	選択				(1)	(2)	(3)	(4)
社会教育経営論Ⅰ	2		2	前期	講義	◎			○
社会教育経営論Ⅱ	2		2	後期	講義	◎			○
ビジネス・イングリッシュ	2		2	前期	演習 ¹		◎		
観光ホスピタリティ	2		2	前期	講義			◎	
観光の社会学	2		2	後期	講義	◎			○
ビジネス実務	2		2	前期	演習 ¹			◎	
ビジネス実務演習	2		2	後期	演習 ¹			◎	
会計学演習	2		2	前期	演習 ¹			◎	
ビジネス文書	2		2	前期	演習 ¹			◎	
国際プロトコール	2		2	前期	演習 ¹			◎	
応用文書処理演習	2		2	前期	演習 ¹			◎	
応用表計算演習	2		2	後期	演習 ¹			◎	
ITパスポートⅠ	2		2	後期	講義			◎	
トラベル実務	2		2	前期	講義			◎	
日本語教育研究Ⅰ	2		2	前期	講義		○	◎	
日本語教育研究Ⅱ	2		2	後期	講義		○	◎	
グローバル・インターンシップ	2		2	後期	実験・実習 ¹	○	◎		○
フィールド・スタディⅠ	2(共)		2	前期	演習 ¹	○			◎
フィールド・スタディⅡ	2		2	後期	演習 ¹	○			◎
Oral EnglishⅠ	1		2	前期	演習 ²		◎		
Oral EnglishⅡ	1		2	後期	演習 ²		◎		
English Grammar	2(イ)		2	前期	演習 ¹	○	◎		
TOEIC PreparationⅡ	1		2	前期	演習 ²		◎		
English Writing	1(イ)		2	後期	演習 ²		◎		
Media English	1		2	後期	演習 ²		◎		
中国語コミュニケーションⅢ	1		2	前期	演習 ²		◎		
中国語コミュニケーションⅣ	1		2	後期	演習 ²		◎		
韓国語コミュニケーションⅢ	1		2	前期	演習 ²		◎		
韓国語コミュニケーションⅣ	1		2	後期	演習 ²		◎		
日本語学Ⅲ	2		2	前期	講義		◎	○	
日本語学Ⅳ	2		2	後期	講義		◎	○	
教育・学校心理学	2		2	前期	講義				◎
教育行政学	2		2	前期	講義				◎
教育課程論	2		2	後期	講義				◎
道徳教育の指導法	2		2	前期	講義				◎
特別活動の指導法	2		2	後期	講義				◎
中等英語教育法Ⅰ	2		2	後期	講義				◎
中等社会教育法Ⅰ(社会)	2		2	前期	講義				◎
中等社会教育法Ⅱ(社会)	2		2	後期	講義				◎
グローバル・スタディーズ総合演習Ⅰ	2		3	前期	演習 ¹	◎	○		
グローバル・スタディーズ総合演習Ⅱ	2		3	後期	演習 ¹	◎	○		
ヨーロッパの歴史と文化Ⅱ	2		3	前期	講義	○	◎		
言語文化論Ⅰ	2		3	前期	講義	◎	○		
言語文化論Ⅱ	2		3	後期	講義	◎	○		
イスラム社会と文化	2		3	後期	講義	◎			○
社会病理学	2		3	前期	講義	◎			○
生涯学習支援論	2		3	前期	講義	◎			○
学習社会と市民活動支援論	2		3	後期	講義	◎			○
現代社会と法	2		3	前期	講義	◎			○
地誌	2		3	後期	講義	◎			○
国際経済学	2		3	前期	講義	◎			○
国際経済開発論	2		3	後期	講義	◎			○
国際ビジネス論	2		3	前期	講義			◎	
マーケティング論	2		3	後期	講義			◎	
コンピュータ活用演習A	2		3	前期	演習 ¹			◎	
コンピュータ活用演習B	2		3	後期	演習 ¹			◎	
国際観光論	2		3	後期	講義			◎	
ITパスポートⅡ	2		3	前期	講義			◎	
観光ガイド英語	1		3	後期	演習 ²		○		◎
日本語教育法Ⅰ	2		3	前期	講義		○	◎	
日本語教育法Ⅱ	2		3	後期	講義		○	◎	

授業科目	単位数		学年	学期	種別	ディプロマ・ポリシー			
	必修	選択				(1)	(2)	(3)	(4)
児童英語教育法	2		3	前期	講義		○		◎
児童英語教育演習	2		3	後期	演習 ¹		○		◎
ビジネス・インターンシップ I	2		3	前期	演習 ¹			◎	
ビジネス・インターンシップ II	2		3	後期	演習 ¹			◎	
NPO・NGO・社会教育インターンシップ	2		3	※通年	演習 ¹	○			◎
Oral English III	1		3	前期	演習 ²		◎		
Oral English IV	1		3	後期	演習 ²		◎		
Advanced Reading	1		3	後期	演習 ²		◎		
中国語演習I	1		3	前期	演習 ²		◎		
中国語演習II	1		3	後期	演習 ²		◎		
韓国語演習I	1		3	前期	演習 ²		◎		
韓国語演習II	1		3	後期	演習 ²		◎		
特別支援教育論	2		3	後期	講義				◎
総合的な学習の時間の指導法	2		3	前期	講義				◎
教育相談	2		3	前期	講義				◎
教育方法論	2		3	前期	講義				◎
生徒指導・進路指導論	2		3	後期	講義				◎
教育実習の事前事後指導	1		3・4	3前～4後	演習 ¹				◎
中等英語教育法Ⅱ	2		3	前期	講義				◎
中等英語教育法Ⅲ	2		3	後期	講義				◎
中等社会教育法Ⅲ(社会・公民)	2		3	前期	講義				◎
中等社会教育法Ⅳ(社会・公民)	2		3	後期	講義				◎
グローバル・スタディーズ総合演習Ⅲ	2		4	前期	演習 ¹	◎	○		
グローバル・スタディーズ総合演習Ⅳ	2		4	後期	演習 ¹	◎	○		
卒業研究	4		4		その他	◎	○		
児童文学論	2		4	前期	講義	◎	○		
日本語教育実習	2		4	後期	実験・実習 ¹		○	○	◎
児童英語教育実習	1		4	後期	実験・実習 ¹		○		◎
教職実践演習(中・高)	2		4	後期	演習 ¹				◎
教育実習Ⅰ	4		4	通年	実験・実習 ¹				◎
教育実習Ⅱ	2		4	通年	実験・実習 ¹				◎
中等英語教育法Ⅳ	2		4	前期	講義				◎

※イングリッシュインテンシブ・スタディコース、共生社会スタディコース、グローバル文化スタディコースによって必修・選択が異なる。(詳細は学生便覧を参照)

大学等名	仙台白百合女子大学	申請レベル	リテラシーレベル
教育プログラム名	数理・データサイエンス・AI教育プログラム	申請年度	令和 6 年度

取組概要

【プログラムの目的】

全学生を対象に、数理・データサイエンス・AIの基礎知識を学修し、データ分析の技術を修得します。さらに、データ・AI活用における留意点についても理解を深めます。これにより、数理・データサイエンス・AIを日常生活や仕事で活用することができる基礎的素養を身につけます。また、表計算ソフトを使用したデータ分析の演習を通して、データサイエンスの核となる統計学の知識と情報処理スキルを修得します。

【プログラムの修了要件】教養共通科目「AI・データサイエンス入門」（必修：2単位）及び基礎教育科目「情報リテラシー基礎」（必修：2単位）を修得すること。

【プログラムの改善や自己点検・評価を行う組織】教育・研究推進委員会 - データサイエンス教育運営会議

モデルカリキュラム/対象科目	導入 社会におけるデータ・AI活用						基礎 データリテラシー			心得 データ・AI活用における留意事項	
	1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2
	社会で起きている変化	社会で活用されているデータ	データ・AIの活用領域	データ・AI利活用のための技術	データ・AI利活用の現場	データ・AI利活用の最新動向	データを読む	データを説明する	データを扱う	データ・AIを扱う上での留意事項	データを守る上での留意事項
AI・データサイエンス入門 (2単位)	第1講 第2講	第4講 第5講	第5講	第5講 第6講	第4講	第2講 第3講	第6～10講 第13～15講	第6～10講 第13～15講	第6～10講 第13～15講	第11講 第12講	第11講 第12講
情報リテラシー基礎 (2単位)	第10講		第10講					第8講	第6～9講	第11講	第11講

学修成果

- ・ 社会におけるAI・データ利活用の事例や、社会で起きている変化、AI活用領域について説明できる。
- ・ AI・データを活用するうえでのルールやモラル、個人情報を守るための注意点について説明できる。
- ・ 基本的な数学知識や統計学をデータ分析に活用できる。
- ・ 表計算ソフトを用いたデータの整理、加工、分析、可視化など適切なデータ分析ができる。